

Reference-level Music Player & DAC for Audiophiles

Feel great and dynamic sound created by SABRE PRO
Flagship ES9038PRO DAC and OPA627BP Precision
High-Speed OP Amp

cocktail Audio X45 Pro



DSD
Direct Stream Digital

DXD
Digital eXtream Definition

HD MUSIC
32Bit/768Khz
High Resolution Audio

HD MUSIC
32Bit/384Khz
High Resolution Audio

MQA

DSD	DXD	PCM	flac
WAV	WMA	M4A	
MP3	Ogg	M3U	PLS
CAF	ALAC	AIFF	AIF
MP3	APE/CUE	HD MUSIC 32Bit/384Khz High Resolution Audio	
HD FLAC (24bit/192KHz)			
HD WAV (24bit/192KHz)			

Rev 1.0

Ver.2.4

注意：録音した音楽は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用してはいけません。

目次

製品を安全にお使いいただくために.....	8
1. 製品の概要.....	10
1-1. フロントパネル.....	10
1-2. リアパネル	10
1-3. リモコンと各キーの機能.....	11
2. 準備.....	12
2-1. 内容物の確認.....	12
2-2. リモコンの電池交換方法.....	12
2-3. 別売ハードディスクの交換方法.....	12
2-4. RAIDモード(X50D X50Proのみ).....	13
2-4-1. RAIDモード(OFF/ Big Mode/ RAID0)について.....	13
2-4-2. RAIDモードの設定方法.....	13
3. 電源を入れて起動する.....	14
3-1. 初期設定(セットアップアシスタント).....	14
3-2. 通常の起動方法.....	14
4. セットアップ(設定).....	15
4-1. Music DB.....	15
4-1-1. Music DBについて.....	15
4-1-1-1. Music DBに既存の音楽ファイルを追加するには.....	15
4-1-1-2. Music DBのフォルダ表示.....	16
4-1-1-3. Music DBからアルバムを削除するには.....	16
4-1-1-4. Music DBを初期化(全削除)するには.....	16
4-1-2. ディスプレイモード.....	17
4-1-3. アルバム表示.....	17
4-1-4. トラックナンバリング.....	17
4-1-5. アーティストをアルバム表示に追加.....	17
4-1-6. アーティストをアルバムトラックに追加.....	17
4-1-7. テキストリストにサムネイルを追加する.....	17
4-2. CDリッピング.....	18
4-2-1. リッピングのビットレートと品質の設定.....	18
4-2-2. Audio Format (リッピングフォーマットの変更).....	19
4-2-3. Free DBのインストール.....	19
4-2-4. Free DBのアップデート.....	19
4-2-5. Free DBの削除.....	20
4-2-6. Auto Rip(オートリッピング).....	20
4-3. Audio(オーディオ).....	20
4-3-1. Player View(プレイヤー表示).....	20
4-3-2. USB/HDMIオーディオ出力.....	21

4-3-3. DSD信号タイプ.....	21
4-3-4. アナログボリューム(X35 X45 X45Proのみ).....	21
4-3-5. アナログ出力ボリューム(X35 X45 X45Proのみ).....	21
4-3-6. アナログ出力(X35 X45 X45Proのみ).....	22
4-3-7. アナログXLR出力(X45 X45Proのみ).....	22
4-3-8. レコーディングサンプルレート.....	22
4-3-9. デジタル出力ボリューム.....	23
4-3-10. デジタル出力.....	23
4-3-11. AES/EBU.....	23
4-3-12. SPDIF.....	23
4-3-13. I ² S出力によるDSD(X50D X50Proのみ).....	23
4-3-14. スピーカー出力(X35のみ).....	24
4-3-15. ギャップレス再生.....	24
4-3-16. スライドショー効果.....	24
4-3-17. スライドショーの表示時間.....	24
4-3-18. リプレイゲイン.....	25
4-3-18-1. リプレイゲインとは.....	24
4-3-18-2. 再生ゲインについて.....	24
4-3-18-3. 各音楽ファイルのメタデータに「再生ゲイン情報」を追加する.....	25
4-3-18-4. 各音楽ファイルのメタデータから「再生ゲイン情報」を削除する.....	26
4-3-19. オーディオ変換の最大サンプリングレート.....	27
4-4. ネットワーク.....	27
4-4-1. 有線接続設定.....	27
4-4-1-1. DHCP(IPの自動取得設定).....	27
4-4-1-2. 固定IP設定.....	28
4-4-2. 無線接続.....	28
4-4-3. ネットワーク情報の確認.....	29
4-4-4. Wake On LAN.....	29
4-5. ネットワークサービス.....	29
4-5-1. Sambaサーバー.....	29
4-5-2. ネットワーク共有(Sambaクライアント).....	31
4-5-3. UPnPサーバー.....	33
4-5-4. FTPサーバー.....	34
4-5-5. シェアプレイ(Airplay).....	34
4-6. インターネットサービス.....	35
4-7. システム.....	36
4-7-1. OSD Language (ディスプレイ表示言語).....	36
4-7-2. FMラジオ/DAB.....	36
4-7-3. FM放送バンド.....	36
4-7-4. 自動再生.....	37

4-7-5. レジューム再生.....	37
4-7-6. ブラウザ再生(Play in Browser)	37
4-7-7. 工場出荷時リセット.....	37
4-7-8. HDDスリープ.....	38
4-7-9. ストレージのフォーマット.....	38
4-7-10. ファイルシステムの修正	38
4-7-11. 画面の明るさの設定	39
4-7-12. アラーム	39
4-7-13. オートシャットダウン.....	40
4-7-14. スクロール速度.....	41
4-7-15. リスト行数表示.....	41
4-7-16. ユーザーフォント.....	41
4-7-17. ブラウザ表示.....	41
4-7-18. ERPの規制.....	42
4-8. 時間設定.....	42
4-8-1. 時間形式.....	42
4-8-2. 時間設定(インターネット).....	42
4-8-3. 時間設定(マニュアル).....	43
4-9. ファームウェア.....	43
4-9-1. 現在のバージョン.....	43
4-9-2. マニュアルで更新(マニュアルによるファームウェア アップデート).....	43
4-9-3. 自動的に更新(ネットワークによる自動ファームウェア アップデート).....	44
4-9-4. ネットワークによる自動ファームウェア アップデート.....	45
4-9-5. 新しいファームウェアを確認する.....	45
5. FreeDB Gracenoteについて.....	46
5-1. FreeDB.....	46
5-2. Gracenote.....	48
6. CDリッピング.....	49
6-1. インターネットに接続している場合.....	49
6-1-1. 全曲リッピング.....	49
6-1-2. トラックごとのリッピング.....	50
6-1-3. CDリッピング時のタグ編集画面.....	51
6-1-4. 2枚組以上のCDアルバムを1つのアルバムとして、1つのフォルダに入れる.....	52
6-1-5. 別々のフォルダに保存した2枚組以上のアルバムを1つのフォルダに統合する.....	53
6-1-6. 自動リッピング.....	54
6-2. インターネットに接続していない場合.....	55
6-2-1. 全曲リッピング.....	56
6-2-2. トラックごとのリッピング.....	56
6-3. CDリッピング変換後のステータスの確認.....	56
7. Music DBの使い方.....	57

7-1. Music DBからの再生.....	57
7-2. 検索機能.....	58
7-3. Music DBの管理と編集.....	59
7-3-1. Music DBの音楽データの削除とリネーム.....	59
7-3-1-1. Music DBからアルバムを削除するには.....	59
7-3-1-2. Music DBを初期化(全削除)するには.....	59
7-3-2. カバーアート.....	59
7-3-3. 2枚組以上のアルバム編集.....	60
7-3-4. 履歴機能.....	61
7-3-5. セクション再生(セクションリピート)機能の設定.....	61
8. Music DB内のTAG情報を編集する.....	62
9. CDのダイレクト再生.....	62
9-1. インターネットに接続している場合.....	62
9-2. インターネットに接続していない場合.....	63
10. データCDのダイレクト再生.....	63
11. Playlist.....	64
11-1. Playlist.....	64
11-1-1. Playlistの作成方法.....	64
11-1-2. アルバム、ジャンルまたはアーティストに含まれる全曲のPlaylistの作成.....	65
11-1-3. 再生中の曲をPlaylistに追加する.....	66
11-1-4. MusicDB内の曲を既存のPlaylistに追加する.....	66
11-1-5. Playlistの再生.....	66
11-1-6. Playlist内の曲順を変更する.....	67
11-1-7. Playlistの編集.....	67
11-2. My Playlist (バーチャル Playlist).....	67
11-3. 高度なMy Playlist (バーチャル Playlist).....	68
12. i-Service(インターネットラジオ).....	69
12-1. インターネットラジオ.....	69
12-1-1 インターネットラジオの再生.....	69
12-1-2 お気に入りのステーションをFavoritesに追加する.....	70
12-1-3 インターネットラジオステーションの検索.....	70
12-1-4. インターネットラジオの録音.....	70
12-1-4-1. 録音方法.....	70
12-1-4-2. 録音したファイルの収納先.....	71
12-1-4-3. 録音したファイル名について.....	71
12-1-4-4. 録音したファイルのデータ編集.....	71
12-1-5. 録音予約機能.....	72
12-1-5-1. 録音予約の設定.....	72
12-1-5-2. 予約録音の開始方法.....	73

13. FM ラジオ	73
13-1. FMラジオの再生	74
13-2. FMラジオの録音	75
14. USB ポート	75
15. Browser	75
15-1. 音楽データが記録されたデータCDの再生	75
15-2. ファイルマネージメント機能	76
15-2-1. HDD, USB, フォルダまたはファイルの状況確認	76
15-2-2. タグ編集	77
15-2-3. MusicDBに追加するには	77
15-2-4. ファイルのコピー	78
15-2-5. ファイルの移動	78
15-2-6. ファイルの削除	79
15-2-7. インターネットラジオステーションのためのPLSまたはM3Uファイル	79
15-2-8. 音楽ファイルのフォーマット変換	79
15-2-9. 録音されたファイルのカット機能	80
15-2-10. フォルダの作成	81
16. Input(入力)	81
16-1. 入力を經由して外部機器を再生する	81
16-2. 録音	82
16-3. 録音されたデータの保管場所	82
16-4. 録音ファイルのデータ編集	83
16-5. 録音したファイルを別のフォーマット(MP3, FLAC, Ogg等)に変換する	84
16-6. USB DAコンバーター(DAC)として使用する(X45 X45Proのみ)	85
16-6-1. Windows PCにUSBオーディオドライバソフトウェアをインストールする	85
16-6-2. Windows PC上のDSDファイル用のソフトウェア(Player)	86
17. 特殊機能	88
17-1. 左右の音量バランス調整	88
17-2. 外部ディスプレイへの画面出力	88
17-3. 写真のスライドショー	88
17-4. アルバムカバーアート表示とテキスト表示	89
17-5. 歌詞の表示機能	89
17-6. ブックマーク	89
17-7. レジューム再生	90
17-8. 時計表示機能およびディスプレイOFF機能	90
17-9. 再生モードの変更	91
17-10. アラーム機能の設定	91
17-11. オートシャットダウン	92
17-12. スリープモード	92

17-13. オートプレイ.....	93
17-14. ショートカット検索.....	93
17-15. 再生画面での検索機能.....	93
17-16. 別のフォーマット(MP3, FLAC,Ogg等)に変換する.....	94
17-17. 録音済みファイルのカッティング.....	94
17-18. オーディオCD作成機能.....	96
17-19. 再生画面の曲にジャンプする機能.....	98
17-20. プリセット イコライザー(X35のみ).....	98
17-21. カスタム イコライザー(X35のみ).....	98
18. Multi-room (Group Play) 機能.....	99
18-1. マルチルーム(グループプレイ)対応ファイル形式とサンプルレート.....	100
18-2. Group Play.....	100
18-3. デバイス名とホスト名.....	100
18-4. デバイスごとの基本設定.....	100
18-4-1. デバイスをサーバーデバイスとして設定するには.....	100
18-4-2. Auto Join (自動参加).....	100
18-4-3. Manual Join (手動参加).....	100
18-4-4. 再生画面.....	101
18-5 MusicX NEO での設定	101
18-5-1 Group Playで利用できるデバイスを探すには.....	101
18-5-2 サーバーデバイスとして曲の再生を開始の設定をする.....	102
18-5-3. Group Playにクライアントデバイスを手動で追加する.....	102
18-5-4. コントロール機能.....	103
19. MusicX NEO.....	104
20. 仕様.....	106
21.トラブルシューティング.....	108

この度は カクテルオーディオ製品をお買い求め頂きまして 誠に有難うございます。本機の機能を十分にお楽しみ頂くためにも、ご使用前に本書を良くお読み頂き、正しくご使用ください。なお安全にお使いいただくために「安全上のご注意」を必ずお読みください。また、本書は保証書とともに 大切に保管してください。

安全上のご注意



警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると火災や感電による重大な人身事故の原因となります。

- ・絶対にボンネットを開けないでください。故障や感電の原因となります。

特に本機は内部に高電圧を使用しています。

内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いません。

- ・万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので、直ちに弊社へ修理をご依頼ください。
電源プラグを容易にコンセントから抜くことができるように設置してください。
 - ・煙が出たり、異臭がする
 - ・落したり、本体を破損した
 - ・本機の内部に水(その他の液体)や異物が入った
- ・必ず接地接続を行ってください。
- ・接地接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・本機を交流(AC)100V以外の電源で使用しないでください。
それ以外の電源電圧や船舶等の直流(DC)電源には直接接続しないでください。
故障や火災、感電の原因となります。
- ・電源ケーブルを傷つけないでください。(重い物の下敷きになる／無理にねじ曲げたり引っ張ったりする／加工する／加熱する) 電源コードが破損(芯線が露出、断線)すると火災や感電の原因となります。
また、電源プラグにホコリがたまらない様にしてください。
プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。
定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いてください。
- ・以下の内容をお守りください。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。
 - ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
 - ・本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない
 - ・本機を改造しない
 - ・本機の放熱を妨げないように周囲に十分な空間を確保する
 - ・本機に新聞、テーブルクロス、カーテンなど放熱を妨げるものを被せない



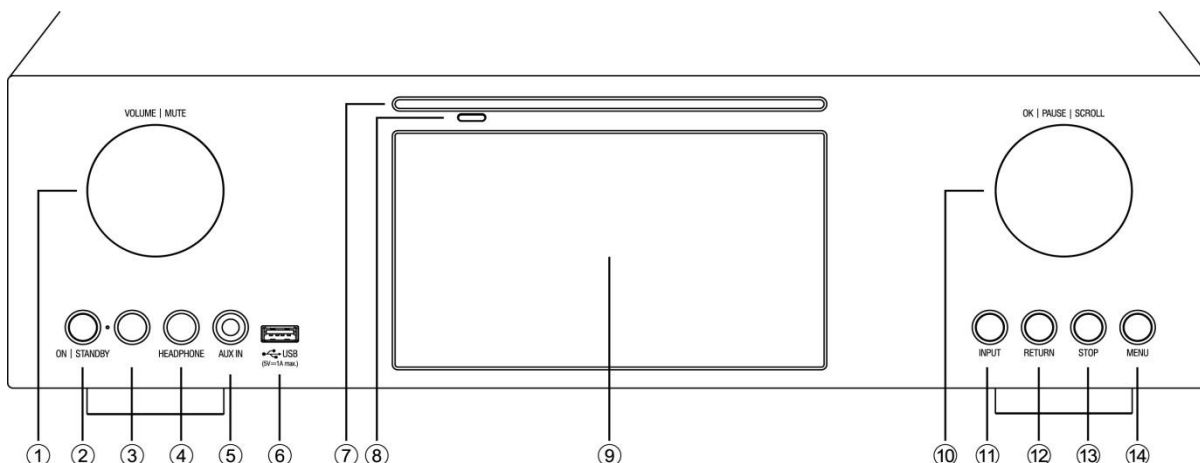
注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

- ・設置したときに揺れてしまう、傾いてしまう所などの不安定な場所や、水滴又は飛沫がかかる場所、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所に設置しないでください。落下等により怪我や発煙、発火の原因になります。
- ・電源ケーブルは以下の様な取扱いはしないでください。
破損による感電や発火の原因になります。
 - ・プラグを抜く時にケーブルを引っ張る・濡れた手でプラグを抜き差しする。
 - ・熱器具のそばに近づけて設置する。
- ・ヒューズは必ず規定の物をお使いください。
規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。
- ・長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
また移動やお手入れの時は、電源を切り真空管が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・電源を入れる時は音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。また、ご使用時は適切な音量でご鑑賞ください。
長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。
- ・付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器では使用できません。

1. 製品の概要

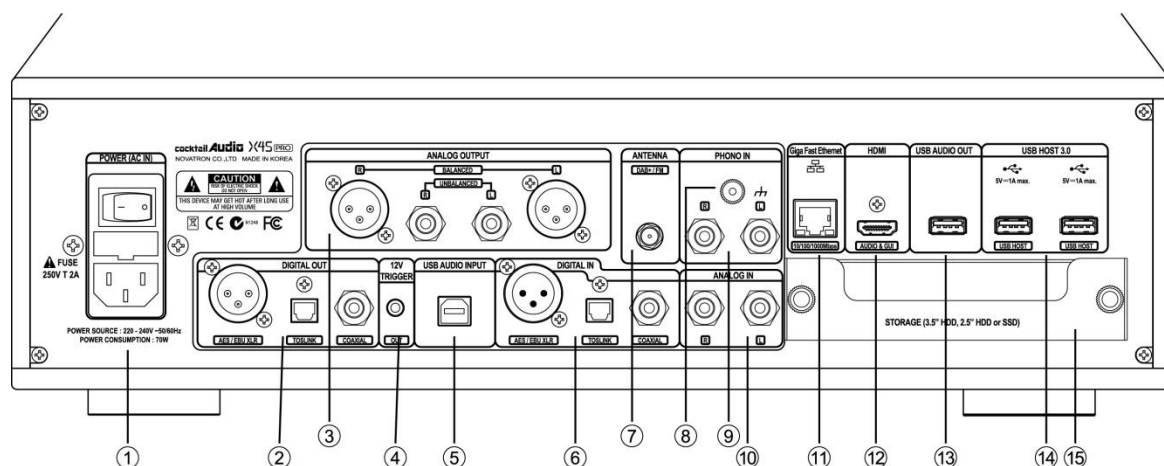
1-1. フロントパネル



- ① ボリューム/ミュートノブ
- ② 電源/スタンバイボタン
- ③ リモコン受信部
- ④ ヘッドフォン出力端子
- ⑤ AUX入力端子
- ⑥ USB 2.0 ホストポート
- ⑦ CD ドライブスロット
- ⑧ CD 取り出しボタン
- ⑨ 液晶表示画面

- ⑩ 決定/ポーズ/スクロールノブ
- ⑪ 入力メニューボタン
- ⑫ 戻るボタン
- ⑬ ストップボタン
- ⑭ メニューボタン

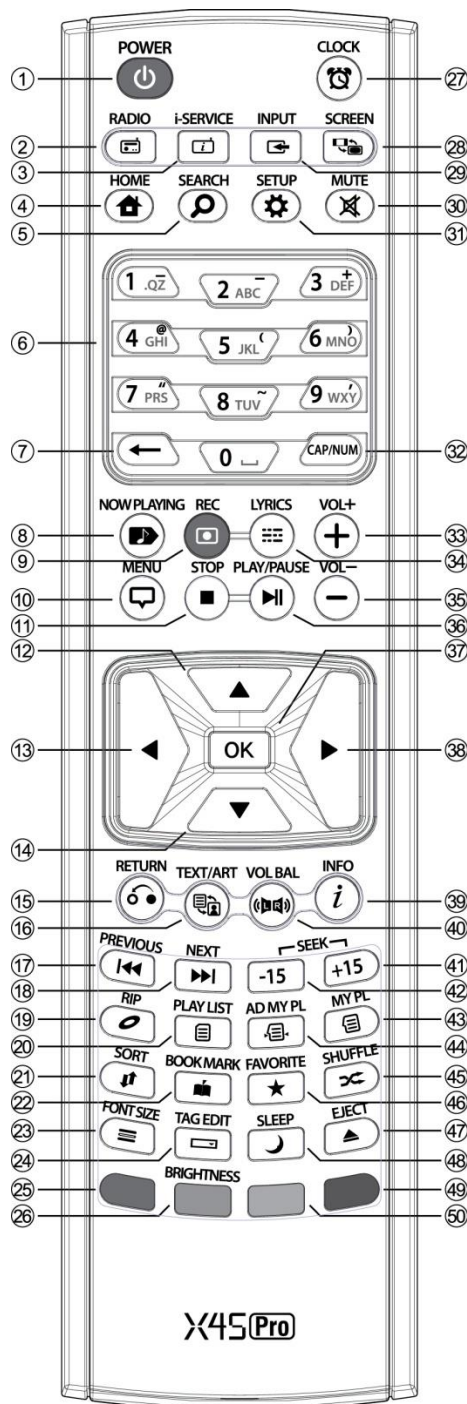
1-2. リアパネル



- ① 電源スイッチ (ON:I / OFF:O)
電源入力 (ヒューズボックス付)
- ② デジタル出力 (AES/EBU/光/同軸)
- ③ アナログ出力 (XLR/バランス/RCA)
- ④ 12Vトリガー出力
- ⑤ USBオーディオ入力 (USB DAC)
- ⑥ デジタル入力 (AES/EBU/光/同軸)
- ⑦ FM/DAB+ アンテナ

- ⑧ アース端子
- ⑨ PHONO(MM)入力
- ⑩ アナログ入力 (RCA)
- ⑪ Ethernet LAN端子
- ⑫ HDMI出力 (外部ディスプレイ/音声出力)
- ⑬ USB 2.0 オーディオ出力
- ⑭ USB 3.0ホストポート
- ⑮ ストレージデッキ (記録媒体用スロット)

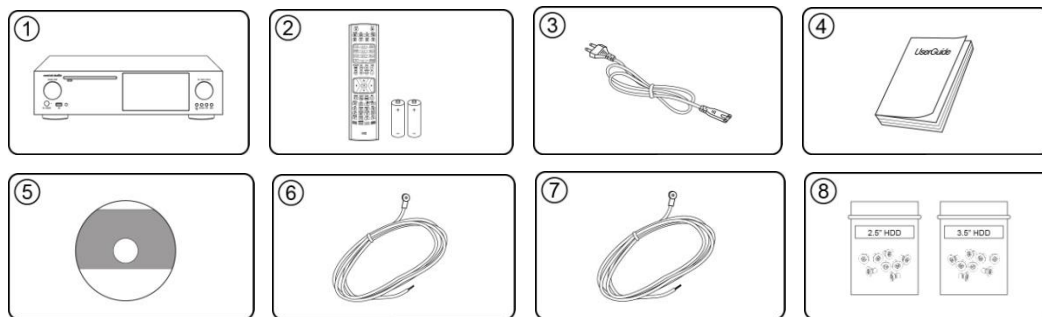
1-3. リモコンと各キーの機能



1. POWER: 電源ON/OFF
2. RADIO: DAB +に移動
3. i-SERVICE: i-サービス画面に移行
4. HOME: ホーム画面に移動
5. SEARCH: 検索メニューをポップアップ
6. 英数字: 数字とアルファベットを入力
/プレースクリーンモードで探す
7. ←: 入力されたアルファベットを削除する
8. NOW PLAYING: 再生画面に移動
9. REC: 録音する
10. MENU: ポップアップメニュー画面
11. STOP: 再生停止
12. ▲: カーソルを上移動する
13. 矢印(左): カーソルを左に移動する
14. ▼: カーソルを下移動する
15. RETURN: ひとつ前の画面に戻る
16. TEXT/ART: テキスト/アルバムアートモード切替
17. PREVIOUS: 前の曲を再生する
18. NEXT: 次の音楽を再生する
19. RIP: リッピングメニューをポップアップ
20. PLAYLIST: プレイリスト画面に移行
21. SORT: ファイルリストを分類する
22. BOOK MARK: ブックマークを作る
23. LIST LINE: テキスト行番号(サイズ)を変更する
24. TAG EDIT: ポップアップタグ編集画面
25. RED key: 使用しない
26. BRIGHTNESS: 画面の明るさを調節する
27. CLOCK: デジタル時計表示/OFF画面
28. SCREEN: LCDまたはHDMI画面を切り替える
29. INPUT: 入力メニューを開く
30. MUTE: ミュート/ミュート解除
31. SETUP: セットアップに移動
32. CAP/NUM: 数字キー・アルファベットキー
特殊文字の切り替え
33. VOL+: 音量を上げる
34. LYRICS: 画面に歌詞を表示する
35. VOL-: 音量を下げる
36. PLAY/PAUSE: 再生と一時停止を切り替える
37. OK: 決定する
38. 矢印(右): カーソルを右に移動する
39. INFO: さらに詳しい情報を入手する
40. VOL BAL: ボリュームバランスをコントロールする
41. SEEK/+15: 15秒早送りする
42. SEEK/-15: 15秒巻き戻しする
43. MY PL: マイプレイリストを作成する
44. AD MY PL: 高度なマイプレイリストを作成する
45. SHUFFLE: プレイモードを変更する
46. FAVORITE: お気に入りのフォルダに iRadioの
ステーション、または曲を追加する
47. EJECT: CDを取り出す
48. SLEEP: スリープモードに入る
49. BLUE key: 予備キー(使用しない)
50. YELLOW key: 予備キー(使用しない)

2. 準備

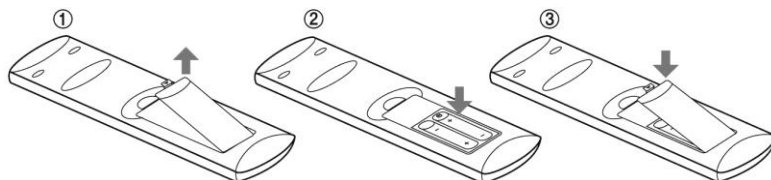
2-1. 内容物の確認



- | | |
|-----------------|----------------------|
| ① 本体 | ⑤ Free DB データ CD |
| ② リモコン+単4電池x 2個 | ⑥ FMラジオアンテナ |
| ③ 電源コード | ⑦ DABアンテナ(※付属していません) |
| ④ 取扱説明書(本書) | ⑧ ネジ(ストレージ取り付け用) |

※ DABとは、Digital Audio Broadcast のことで、ヨーロッパで開発された方式です。
主にヨーロッパの一部とオーストラリアで使用されていますが、日本では未対応です。
そのためDABアンテナは付属していません。

2-2. リモコンの電池交換方法



リモコンの裏蓋を外し電池を交換します。

2-3. 別売ハードディスクの交換

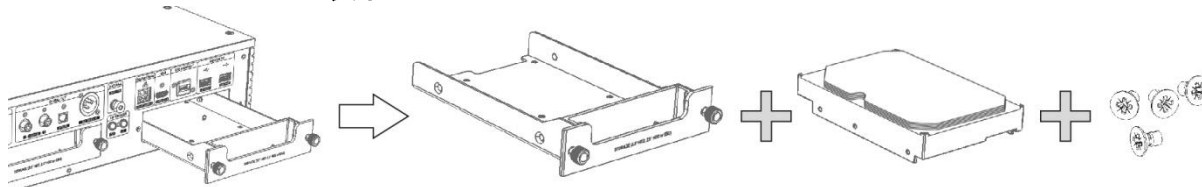
3.5または2.5インチのSATAハードディスク、またはSSDが必要です。

下図のように装着します。

新たに装着したストレージはフォーマットが必要です。

フォーマットについては、4-7-9 ストレージのフォーマット(38ページ)を参照してください。

ハードディスクの装着方法



- ※ 無理に強く差し込むと接続端子が破損してしまう恐れがあります。
- ※ 3.5インチ又は 2.5インチ SATA ハードディスクおよびSSDに対応しています。
- ※ ハードディスク、SSDの頻繁な抜き差しはお控えください。

2-4. RAID モード(X50D X50Proのみ)

X50D X50Proは、内部ストレージのRAID機能を設定することができます。

2-4-1 RAIDモード(OFF/ Big Mode/ RAID0)について

1) OFF (Normal Mode): 初期設定

- ストレージ#1または#2は独立しており、HDD1またはHDD2と認識されます。
- 1基のストレージのみでも、正しく動作します。

2) BIG mode

- BIGモードで使用させるためには、2つのストレージを装着する必要があります。
- 2台のHDDが連結され、1台のディスクとして認識されます。
- 例えば、500GBのHDDと250GBのHDDを装着すると、750GBの単一ディスクとして認識されます。

3) RAID-0 mode (Stripped mode)

- ストライプモードで動作させるためには、2つのストレージを装着する必要があります。
- パフォーマンスを向上させるために、2つのディスク間でデータを均等に分割(ストライプ化)します。
- 合計サイズは、容量が小さい方のディスク容量を2倍にしたものになります。

例えば、320GBと250GBをインストールすると、合計サイズは500GBになります。

※データ回復機能はありません。1つのディスクに障害が発生すると、すべてのデータが失われます。

2-4-2 RAIDモードの設定方法

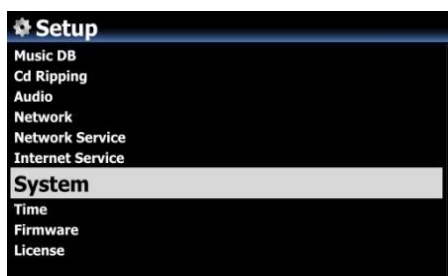


①ドライブベイにHDDを正しく取り付けたら、
SETUP(設定)→システムの「RAID モード」へ進みます。

② BIG modeもしくはRAID-0 modeを選択します。

② 例えば、「RAID0(Stripped)」を選択した場合、
以下のような警告メッセージが表示されることがあります。

※RAIDモードにした場合、RAIDを解除するまで絶対にHDD
を抜かないでください



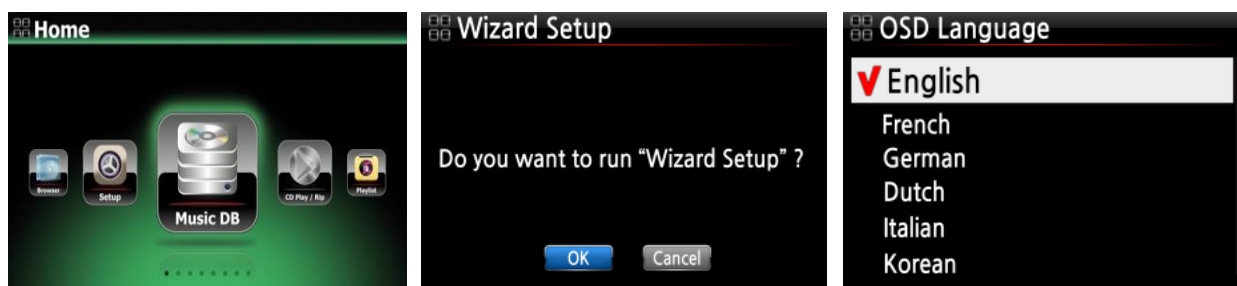
※RAID1(mirrorモード)について

カクテルオーディオではRAID1を使用することにより不具合が発生したことを受けてRAID1モードを使用することを禁止しました。RAID1は使用しないでください。

3. 電源を入れて起動する

3-1. 初期設定（セットアップアシスタント）

最初に起動するとき、または工場出荷リセットを行った後の再起動時、以下のように、Wizard Setup（初期設定）を実行します。[OK]を選択すると、ウィザードセットアップを開始します。



＜注意＞

初期設定では使用言語、CDリッピングフォーマット、ネットワーク設定、時間設定、HDDフォーマットを設定します。
※もし初期設定画面が出ない場合でも後から設定で変更できます。

【 TIP 】 搭載されたストレージがフォーマットされていない場合のみ、フォーマットの案内が出ます。

3-2. 通常の起動方法

背面にある主電源スイッチをオンにします(10ページ1-2リアパネル①参照)。電源LEDが緑色に点灯します。リモコン、または前面にある電源ボタンを押して、電源を入れます。

電源LEDの色は青色に変わり、起動します。(WOLが機能している場合は常に青色のスタンバイ状態になります)
起動する際、ネットワークが接続されているかどうかを調べるため、約30～40秒かかります。

完全に立ち上がると、以下の画面が順番に表示されます。

立ち上げ中画面



起動完了後のホーム画面



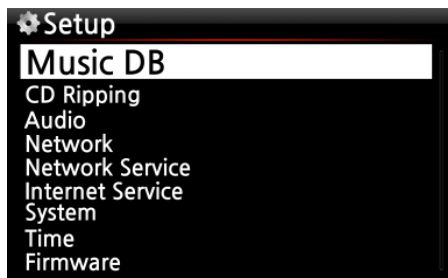
基本画面(ホーム画面)の説明

- Music DB: Music DBから再生する
- CD Play/Rip: CDを再生/リッピング開始
- Playlist: プレイリストの作成、再生する
- iService: インターネットラジオ、またはオンライン音楽再生サービス
- FM Radio: FM放送ラジオ再生
- DAB: DAB再生(*日本では未対応)
- Browser: 内蔵ストレージ、外部ストレージ、ネットワークストレージの内容を見る
- Setup: 設定変更
- Input: 入力切り替え
- GroupPlay: グループプレイ機能

4.セットアップ(設定)

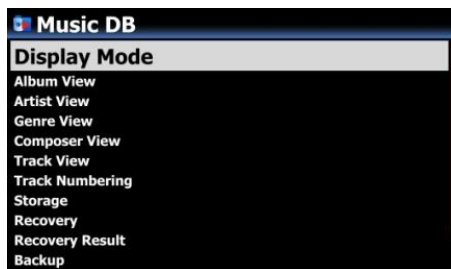
ホーム画面からまたはリモコンを使用しセットアップ(設定)から設定画面に移動できます。

ここでは各種設定を行うことができます。初期設定が設定できなかった場合もここで変更することが可能です。



矢印キーで各項目を選択し、OKボタンで確定することができます。それぞれの機能を順に説明します。

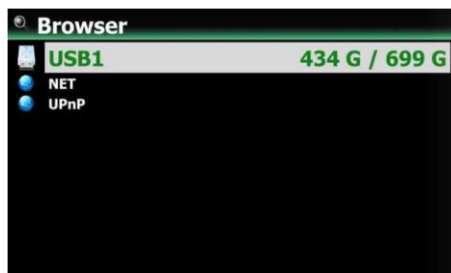
4-1. Music DB



設定→Music DBではMusic DB関連の設定が行えます。

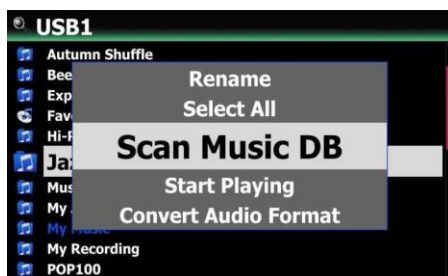
4-1-1 Music DBについて

4-1-1-1. Music DBに既存の音楽ファイルを追加するには

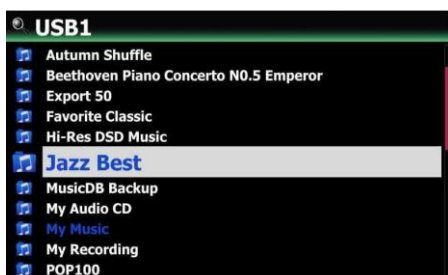


①Music DBに追加したいフォルダがあるHDDやUSBをブラウザから探します。

②追加したいフォルダ画面にカーソルを合わせ、MENUボタンを押します。



③Scan Music DBを選ぶとバックグラウンドでスキャンが開始されます。



④Scan Music DB で選択したフォルダは、左図のように青色に変わります。

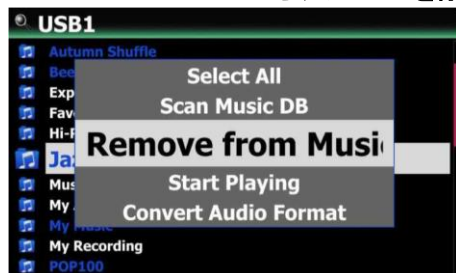
4-1-1-2. Music DBのフォルダ表示

Music DB内でMENUボタンを押しビューを選択するとアルバムやアーティストを選べる中にFolderが選べるようになり、選択するとFolderのリスト表示になります。



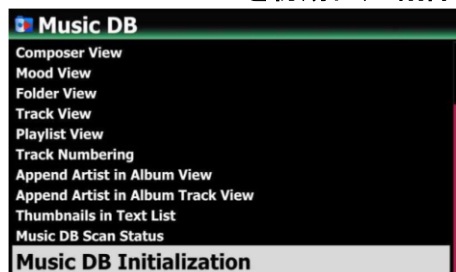
また初期設定にするには設定→Music DB→ディスプレイモードからFolder(フォルダ)を選択すると変更されます。

4-1-1-3. Music DBからアルバムを削除するには

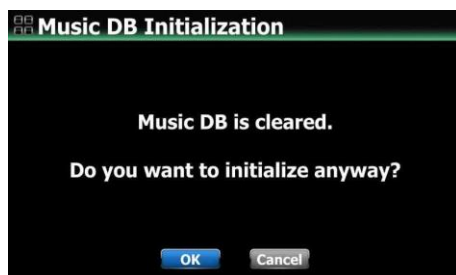


- ①ブラウザから削除したいフォルダを選択します。
- ②MENUボタンを押しRemove from Music DBを選択します。
- ③バックグラウンドで削除が開始されます。

4-1-1-4. Music DBを初期化(全削除)するには



- ①設定→Music DB → Music DB Initialization (Music DC の初期化)を選択します。
- ②確認画面が表示されOKを選択すると全初期化します。
一度初期化すると再スキャンするまで復元できません。



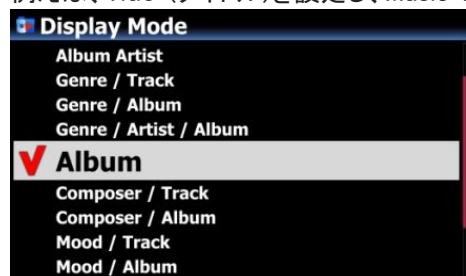
※ Music DBを初期化した後、自動的に再起動し初期化が完了します。

※ 注意:Music DBはすべて消去されてしまいますが、My music内の音楽ファイルの消去はされません。

4-1-2. ディスプレイモード

表示ディスプレイの並び方を変更することができます。

例えば、Title (タイトル)を設定し、Music DB に移動すると、Music DB にタイトル(曲)のリストが表示されます。



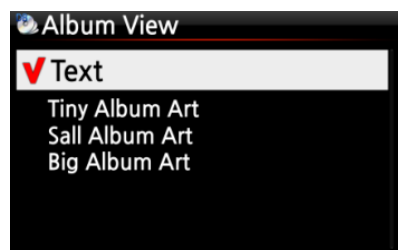
※初期設定: Album(アルバム)

※【例】・アーティスト/トラック : アーティストリスト→タイトル(曲)リスト

・アーティスト/アルバム : アーティストリスト→アーティストのアルバムリスト→アルバムのトラック(ソング)リスト

4-1-3. アルバム表示

アルバム名(テキスト)またはそれぞれの画面表示サイズをMusic DBのリスト表示を設定できます。



(設定画面)



(テキスト表示)



(画像中表示)



(画面大表示)

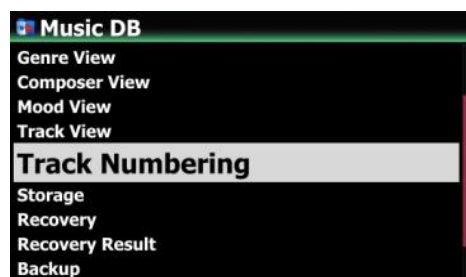


(画像小表示)

(※初期設定: Text(テキスト))

※アーティスト表示、ジャンル表示、作曲家表示、トラック表示も、設定可能です。

4-1-4. トラックナンバー



SETUP(設定)のTrack Numbering(トラックナンバー)オプションを使用すると、CDをリッピングする時にトラックごとに、タイトルの先頭にトラック番号を追加することができるようになります。

※初期設定: On

4-1-5. アーティストをアルバム表示に追加

アーティストをアルバム表示に追加するかを選択ができます。※初期設定On

4-1-6. アーティストをアルバムトラックに追加

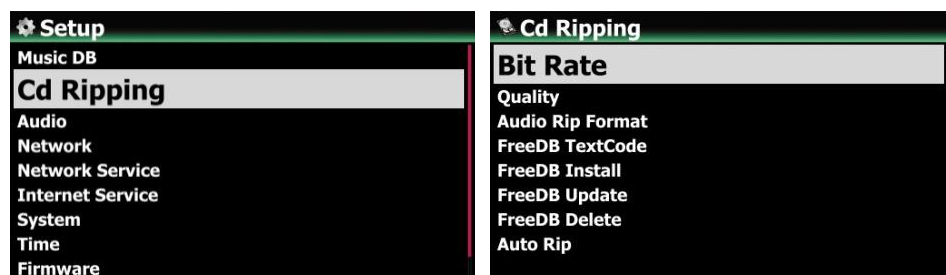
アーティストをアルバムトラックに表示するかを選択が行えます。※初期設定On

4-1-7. テキストリストにサムネイルを追加する

テキストリストにサムネイル(カバーアート)を追加するかを選択ができます。※初期設定Off

4-2. CDリッピング

設定→CDリッピングを選択し、OKボタンで確定しますと、以下の項目が表示されます。



4-2-1 リッピングのビットレートと品質の設定

MP3にリッピングするためのビットレートと品質レベルを選択できます。

次の2つの項目があります。

- 圧縮率 : 128k / 192k / 320k [初期設定]: 192k
- 品質レベル: Excellent(超高品質) / Best(高品質) / Good(普通) / Fast(高速) / Very fast(超高速) [初期設定]: Very fast

上記のうち1つを選択し、リモコンの[OK]ボタンを押し、決定してください。

【 TIP ① 】 各品質レベルのオプションに基づいて、CDをMP3フォーマットにリッピングするのに必要なおよその時間は以下の通りです。所要時間は容量やフォーマットにより異なります。

Quality Level(品質の選択肢)	通常再生時間	MP3へ変換時の所要時間
Excellent(超高品質)	CDで音楽を再生するのに必要な時間	X 1.5 (150%)
Best(高品質)		X 1.08 (108%)
Good(普通)		X 1 (100%)
Fast(高速)		X 3/4 (75%)
Very fast(超高速) [初期設定]		X 1/3 (33.3%)

※ 品質レベルは、音質を考慮したMP3やoggのリッピング、ファイルサイズを考慮したFLACのリッピングに影響します。

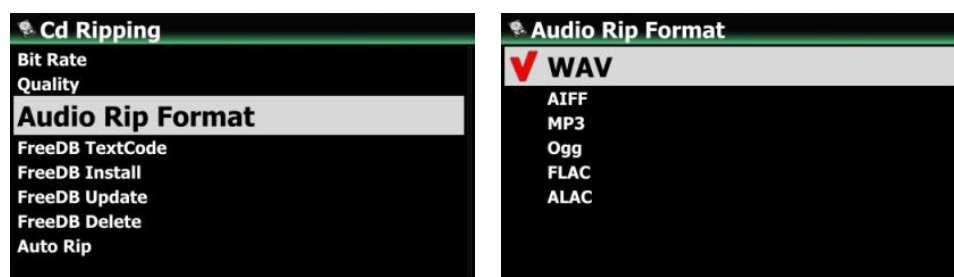
【 TIP ② 】 ストレージ容量とリッピング条件(概要)

CD Ripping option		500GB HDD	1 TB HDD	2 TB HDD	4 TB HDD
WAV (uncompressed)		CD 650 枚	CD 1,300 枚	CD 2,600 枚	CD 5,200 枚
MP3 /ogg	Compressed Rate				
	128k	CD 7,500 枚	CD 15,000 枚	CD 30,000 枚	CD 60,000 枚
	192k	CD 5,000 枚	CD 10,000 枚	CD 20,000 枚	CD 40,000 枚
	320k	CD 3,000 枚	CD 6,000 枚	CD 12,000 枚	CD 24,000 枚

※これらの数字は、CDのトラック数やデータ容量によって若干異なる場合があります。

4-2-2. Audio Format (リッピングフォーマットの変更)

CDリッピング時のリッピングフォーマットを選択できます。



※初期設定:WAV

4-2-3. FreeDBのインストール

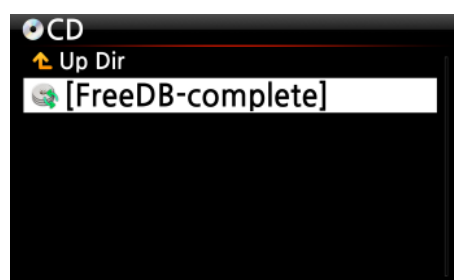
FreeDBデータは、製造元から提供されたFreeDBデータ(DVD)として、ストレージにインストールすることができます。FreeDBデータをインストールすると、インターネットに接続しなくても、挿入されたCD情報(タイトル、アルバム名、アーティスト名など)のメタデータが、画面に表示されます。



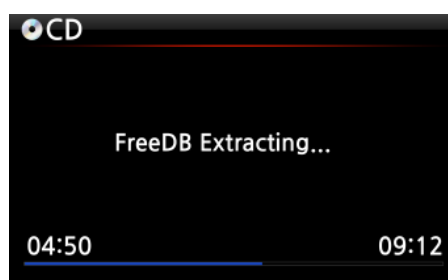
① 設定からFree DBインストールを選択



② Free DBがインストールされたCDまたはUSBを選択



③ Free DBデータを選択



④ インストールにはしばらく時間がかかります

FreeDBデータをハードディスクにインストールするには

Cocktail AudioのWebサイト(www.cocktailaudio.com)またはトライオードのホームページ

(<http://triode.co.jp/brand/coctailaudio/index.html>)のダウンロードサポートから、FreeDBのアップデートデータを手入れしUSBメモリーなどにコピーしてカクテルオーディオ本体のUSBホストに挿入します。

またはFreeDBデータDVDをCDスロットに挿入し、設定に進みFreeDBインストールを選択します。

CDが表示され、[OK]ボタンを選択して確定します。

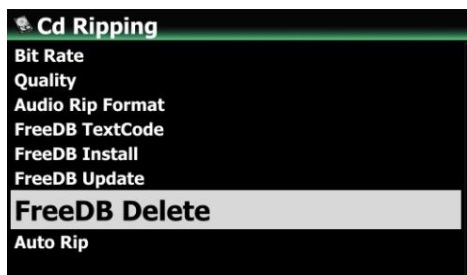
自動でシャットダウンして再起動し、FreeDBデータの自動インストールを開始します。

4-2-4. FreeDBのアップデート

Cocktail AudioのWebサイト(www.cocktailaudio.com)からFree DBアップデートファイルをダウンロードしコピーします。SETUP(設定)に移動し、FreeDB Update(FreeDBアップデート)を選択して、OKボタンを押します。USBメモリが表示され、OKボタンで選択すると、Free DBアップデートファイルが見つかります。OKボタンを押して、アップデートを開始してください。

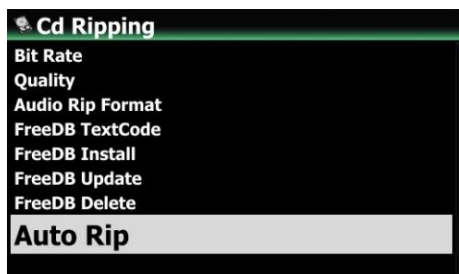
※無効なファイルと表示される場合はFree DBインストールを選択してください

4-2-5. FreeDB 削除



FreeDBをインストールした場合でも、データを削除することができます。

4-2-6. Auto Rip(オートリッピング)



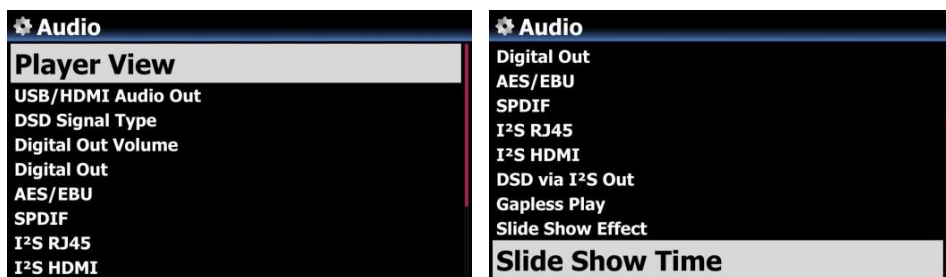
多くのCDをリッピングする時に便利な機能です。
Auto RipがONに設定されていると、CDを挿入すれば、自動的にCDをリッピングし、キーを押さなくても、リッピングを終了してCDをイジェクトします。

※タグ情報を読み込まない場合リッピングせず排出してしまいます。

※初期設定: OFF

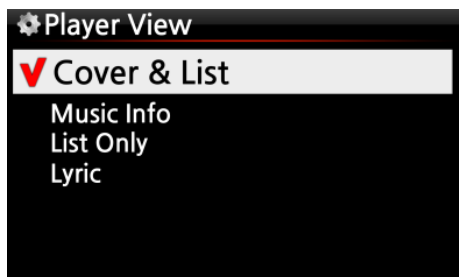
4-3. Audio(オーディオ)

Setup(設定)→Audio(オーディオ)を選択すると、オーディオに関する設定の変更が行えます。



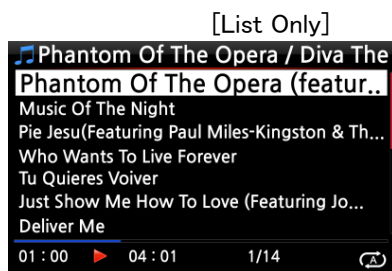
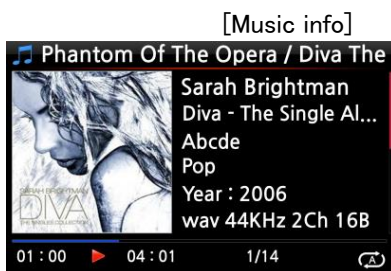
4-3-1. Player View(プレイヤー表示)

カバー&リスト、詳細表示、リスト、Lyricから選択することができます。



※NOTE: 音楽の再生中にリモコンのINFOボタンを押すと、Player Viewを下図のように[Cover&List]、[Music Info]、[List Only] に変更することができます。

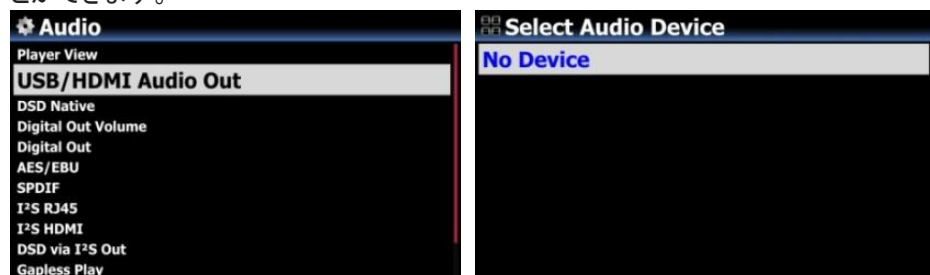
※初期設定: Cover&List



4-3-2. USB/HDMI オーディオ出力

USB DACまたはHDMIオーディオ

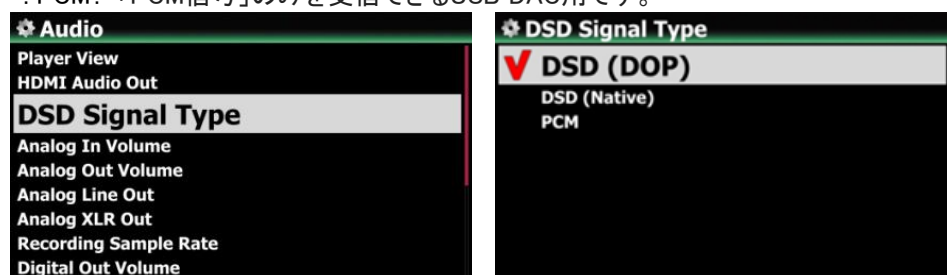
デバイスが、USBオーディオ出力に接続されている場合、接続されているデバイスがここにリストされ選択することができます。



4-3-3. DSD信号タイプ

DSD信号タイプではUSB接続を行った場合のDSDの出力方式の設定を行えます。

- DSD (DOP): 「DSDネイティブ信号」の代わりに「DOP信号」を受信するUSB DAC用です。
- DSD (Native): 「DSDネイティブ信号」を受信できるUSB DAC用です。
- PCM: 「PCM信号」のみを受信できるUSB DAC用です。



※初期設定: DSD (DOP)

4-3-4. アナログボリューム(X35 X45 X45Proのみ)

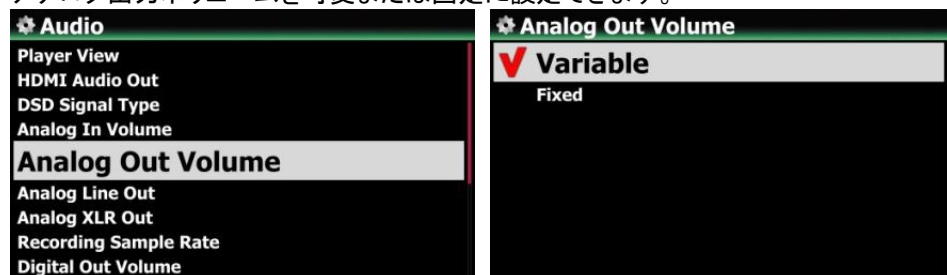
アナログ入力 / AUX 入力 / PHONO入力の音量を調節できます。



※初期設定: 0

4-3-5. アナログ出力 ボリューム(X35 X45 X45Proのみ)

アナログ出力ボリュームを可変または固定に設定できます。

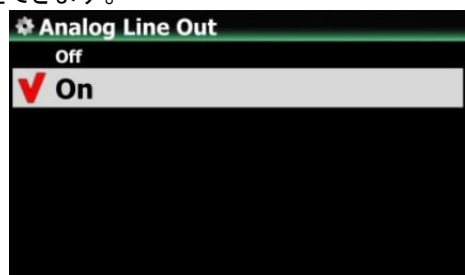
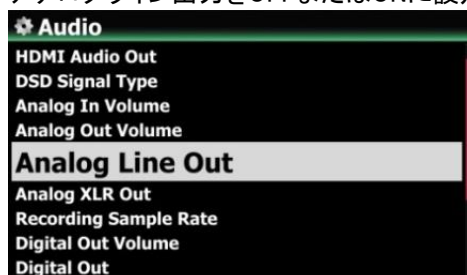


※ 初期設定: 可変

※ 固定にするとボリュームは0dB(Max)に設定されます。音量をコントロールすることはできません。ミュートは可能です。大音量が出る可能性があるため、接続機器には十分注意してください。

4-3-6. アナログ出力(X35 X45 X45Proのみ)

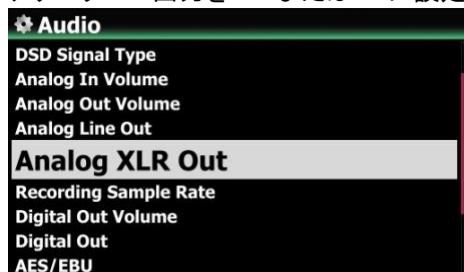
アナログライン出力をOFFまたはONに設定できます。



※ 初期設定: ON

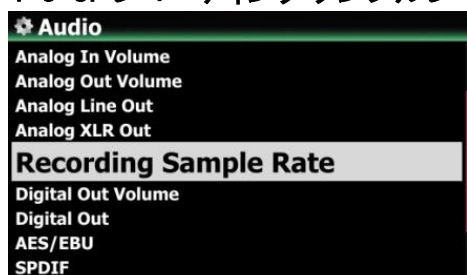
4-3-7. アナログXLR出力(X45 X45Proのみ)

アナログXLR出力をOFFまたはONに設定できます。



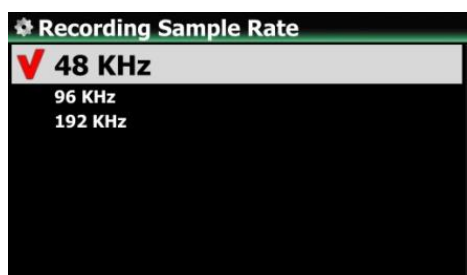
※ 初期設定: ON

4-3-8. レコーディングサンプルレート



録音するときの録音サンプルレートを変更できます。

48kHz、96kHz、192kHzの3つのオプションのいずれかに設定できます。



※NOTE: サンプリングレートが高いほど、記録する際により多くの記録媒体の容量が必要です。

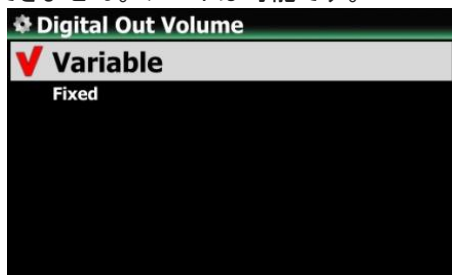
※ 初期設定: 48kHz

4-3-9. デジタル出力 ボリューム

※ Variable(可変): デジタル出力の音量をコントロールできます。

※ Fixed(固定): ボリュームは0dB (Max)に設定されます。

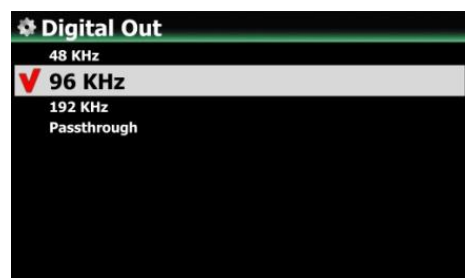
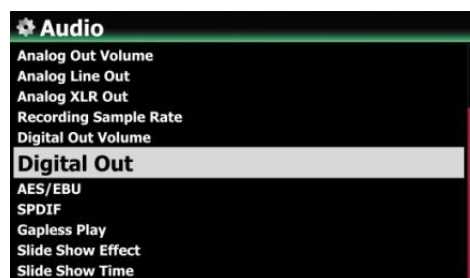
デジタル出力の音量を制御することはできません。ミュートは可能です。



※初期設定: Variable(可変)

4-3-10. デジタル出力

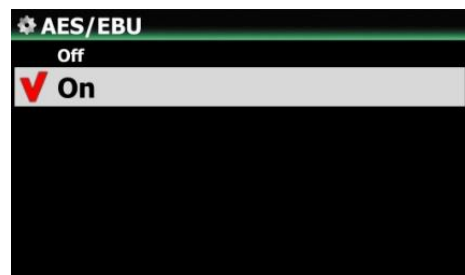
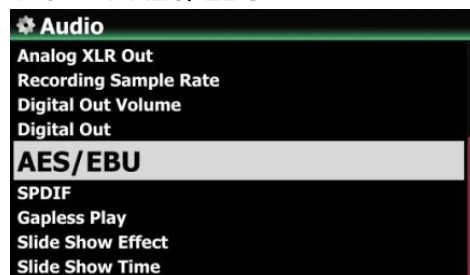
OPTやCOAX出力の際、48kHz、96kHz、192kHz、スルー出力の何れかを設定できます。



- 1) 48kHz : Max 48kHz
- 2) 96kHz : Max 96kHz
- 3) 192kHz:Max192kHz
- 4) Passthrough
(スルー出力)

※初期設定: 96kHz

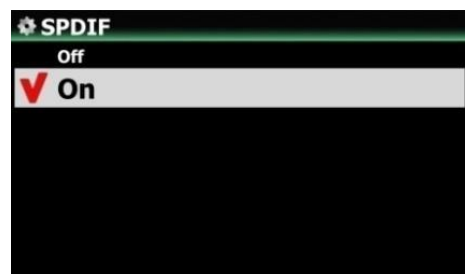
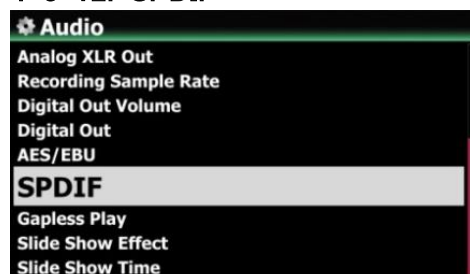
4-3-11. AES/EBU



AES / EBU出力の
ON / OFFを設定できま
す。

※初期設定: ON

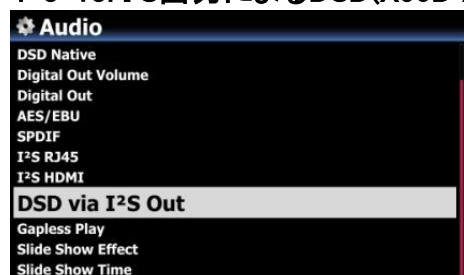
4-3-12. SPDIF



SPDIF出力ON / OFFを
設定できます。

※初期設定: ON

4-3-13. I²S出力によるDSD(X50D X50Proのみ)



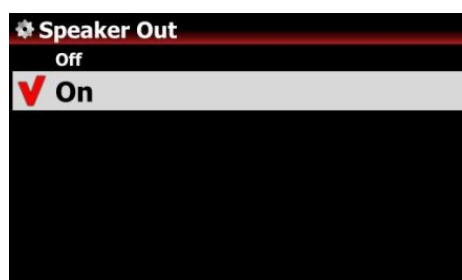
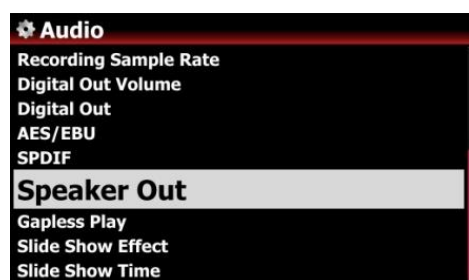
※ONモード:
I²S出力を介して、
DSDネイティブ
信号を送出します。

※OFFモード:
DSD信号をPCMに変
換します。

※ 初期設定: Off

4-3-14. スピーカー出力(X35のみ)

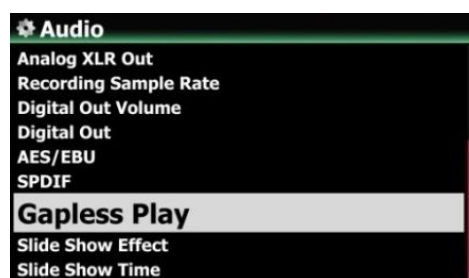
スピーカー出力のオン/オフを設定できます。



※ 初期設定: On

4-3-15. ギャップレス再生

対応しているファイルフォーマットにおいてギャップレス再生のオンオフの設定ができます。



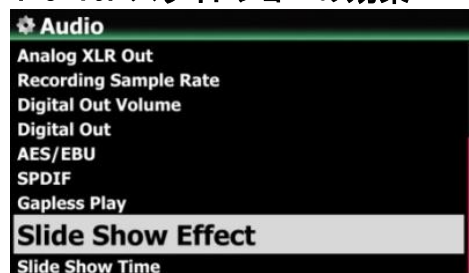
※初期設定: On

【 TIP 】 ※ LAMEでエンコードされたMP3ファイルのみ対応しています。

※ ギャップレス再生機能は、「Repeat All」と「Normal」モードのみで正常に動作します。

例えば、「シャッフル」モードでは、ギャップレス再生はサポートされていません。

4-3-16. スライドショーの効果



スライドショーの再生設定は次の6つから選べます。

- | | |
|---------------|------------|
| ① ALL | ④ Rotation |
| ② Fade in Out | ⑤ Flip |
| ③ Transition | ⑥ None |

※詳しい説明は、17-3 写真のスライドショー(88ページ)を参照してください。

4-3-17. スライドショーの表示時間



スライドショーの表示時間の設定が行えます。

※ Show Time: 画像1枚あたりの表示時間の設定

※ Effect Time: 画像が切り替わる時間の設定

※詳しい説明については、17-3 写真のスライドショー(83ページ)を参照してください。

4-3-18. リプレイゲイン

4-3-18-1. リプレイゲインとは

異なる音量レベルでマスタリングされたアルバムからオーディオファイルを再生するときにトラック間の音量レベルを調整する手間が省ける機能です。

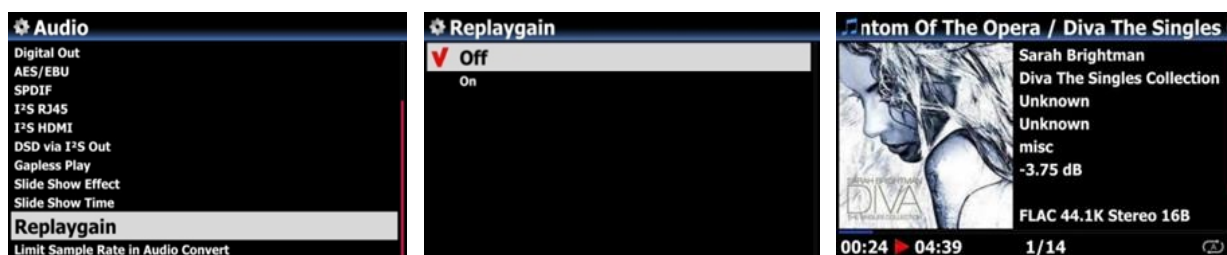
※初期設定: OFF

4-3-18-2. リプレイゲインについて

- 1) 再生ゲイン機能は、ローカルHDD(MusicDB、Browser)、USB、NET(NAS: ネットワーク接続ストレージ)に保存されている音楽ファイルに有効です。
- 2) セットアップ時に再生ゲインをONにする必要があります。

(Setup>Audio>Replaygain) ※初期設定: OFF

- 3) 再生ゲイン情報を持つファイルを再生するとき、File Player Infoの6行目に+(-)### dBが表示されます。
- 4) DSDファイルがPCMデータで再生される場合のみ、DSDファイルは再生ゲイン機能で動作します。
- 5) MQAファイルはReplaygain機能では動作しません。



4-3-18-3. 各音楽ファイルのメタデータにリプレイゲイン情報を追加する



- ① 目的のアルバム、またはトラックリストに、カーソルを置きます。
右矢印キーで、複数のリストを選択できます。



- ② メニューキーを押し、「File Operations(ファイルオペレーション)」から、再生ゲイン
「Replaygain(リプレイゲイン)」を選択します。



- ③ 再生ゲイン情報を追加するには、SkipかNoをクリックします。

「Skip」をクリックすると、再生ゲイン情報を上書きせずに、再生ゲイン情報を既に持っているファイルをスキップします。

「No」をクリックすると、選択した全ての音楽ファイルに、新しい再生ゲイン情報が書き込まれます。



- ④ 書き込みが終了し、リストの画面に戻ります。



4-3-18-4. 各音楽ファイルのメタデータから「再生ゲイン情報」を削除する



- ① 目的のアルバムまたはトラックリストにカーソルを置きます。
右矢印キーで複数のリストを選択できます。

- ② メニューキーを押し、「File Operations(ファイルオペレーション)」から、再生ゲインクリア「Clear Replaygain(リプレイゲインの解除)」を選択します。



- ③ すべてのファイルのメタデータから「再生ゲイン情報」をクリアするには「OK」をクリックします。

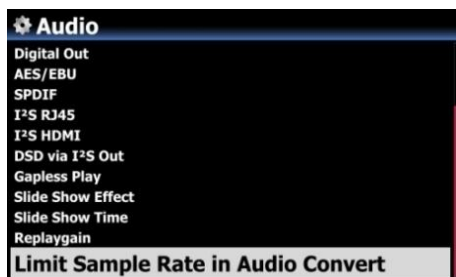
「キャンセル」をクリックするか、RETURNキーを押すと、このプロセスは停止します。



- ④ 解除が完了し、リストの画面に戻ります。



4-3-19. オーディオ変換の最大サンプリングレート



音楽ファイルを別のファイル形式に変換するときには最大サンプリングレートを選択できます。

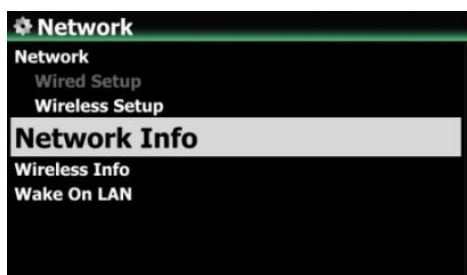
※初期設定: OFF

※OFFとは、元のサンプルレートが変換後のファイルに適用されることを意味します。

4-4. ネットワーク

※インターネットに接続する場合は有線接続することを推奨します。

※イーサネットケーブル、またはUSBタイプの無線LANが接続されていることを確認してください。



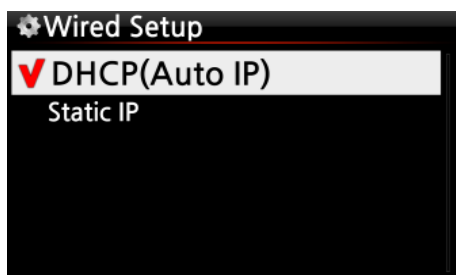
① ネットワークを選択し、OKボタンで確定します。

② Wired Setup(有線接続)またはWireless Setup(無線接続)を選択します。

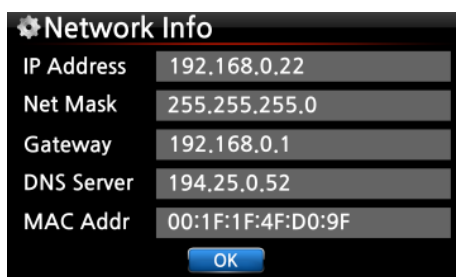
【 TIP 】 ネットワーク情報を確認するには、[Network Info(ネットワーク取得情報)] または[Wireless Info(無線接続情報)]を選択してください。※接続が確認できない場合は再度接続し直してください。

4-4-1. 有線接続

4-4-1-1. DHCP (IPアドレスの自動取得設定)



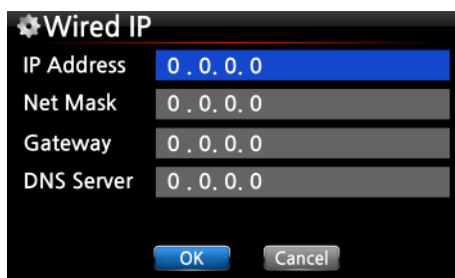
③初期設定はDHCP (Auto IP)になっています。値を入力する必要はありません。



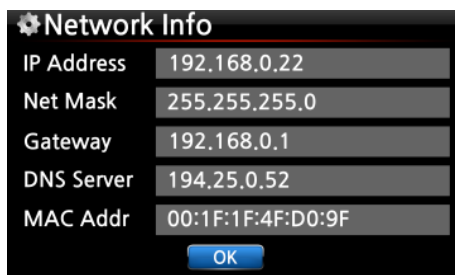
④ ネットワークが正常に接続されている場合、自動接続され、左の画面のように表示されます。

※インターネットサービスが接続できなくなってしまった場合再度設定し直すと改善する場合があります。

4-4-1-2. 固定 IPアドレス 設定



- ① 固定IPを選択し、OKボタンを押してください。
- ② IPアドレス、サブネットマスクなどの値を入力してください。
- ③ OKを選択し、OKボタンで確定します。



- ④ ネットワークが正常に接続されていれば、左の画面のように表示されます。

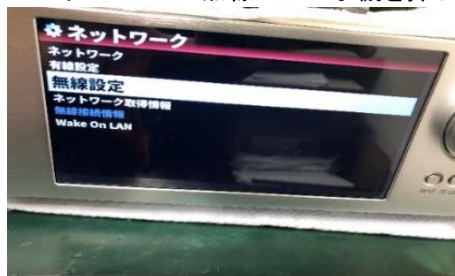
※固定IPアドレスの場合ネットワーク環境に応じてネットワークサービスなどに接続できない場合があります

4-4-2. 無線接続

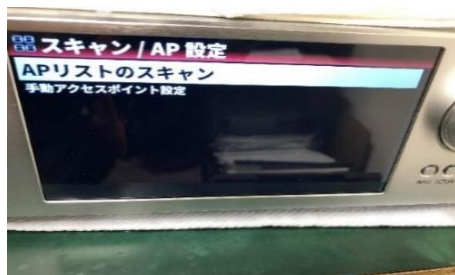
無線接続する場合はまず別売りのUSB無線LANの子機が必要です。

推奨はIODATA様のWN-G300UAです。

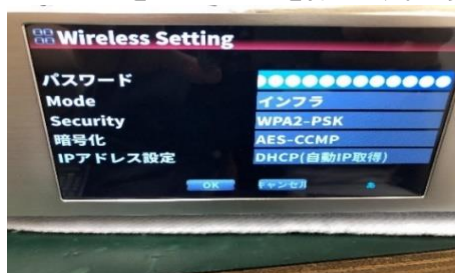
USBポートにUSB無線LANの子機を挿し無線設定が有効になっていることを確認します。



APリストのスクランを選択し自分のルーターを探して選択します。



パスワードを入力してOKを押します。必要に応じて他を設定してください。



最後に4-4-3(P29 参照)ネットワーク情報の確認を行い、正しく接続されているか確認をしてください。

4-4-3. ネットワーク情報の確認



Wireless Network

IP Address	192.168.0.22
Net Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.0.1
DNS Server	194.25.0.52
MAC Addr	00:1F:1F:4F:D0:9F

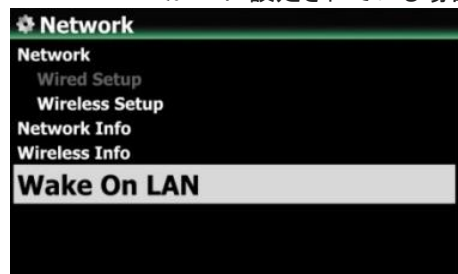
OK

ネットワーク情報を選択し、OKキーを押して確定します。

左図のように、表示されたネットワーク情報を確認することができます。

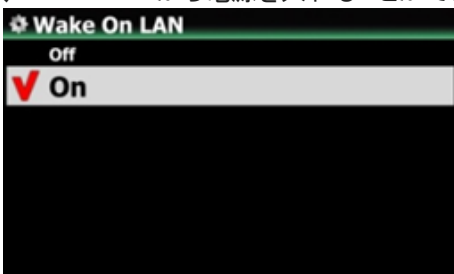
4-4-4. Wake On LAN

Wake On LANがOnに設定されている場合、MusicX NEOから電源を入れることができます。



Network

- Wired Setup
- Wireless Setup
- Network Info
- Wireless Info
- Wake On LAN



Wake On LAN

Off

✓ On

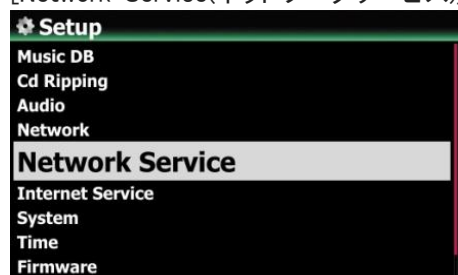
※ 初期設定:OFF

〈注意〉 WOLがONの場合、電源を切っても前面の電源LEDは青色のままになります。

※電源を入れるときに普段より入力感度が悪くなり、起動時間が長くなる場合があります。

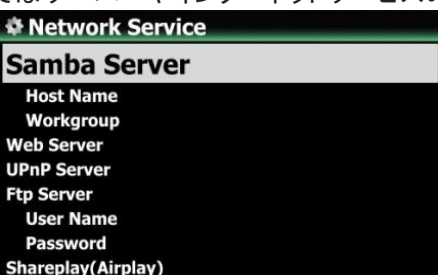
4-5. ネットワークサービス

[Network Service(ネットワークサービス)]ではサーバーやインターネットサービスのアカウント管理が行えます。



Setup

- Music DB
- Cd Ripping
- Audio
- Network
- Network Service
- Internet Service
- System
- Time
- Firmware



Network Service

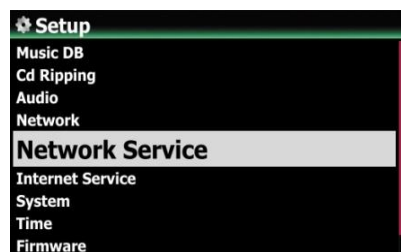
Samba Server

- Host Name
- Workgroup
- Web Server
- UPnP Server
- Ftp Server
- User Name
- Password
- Shareplay(Airplay)

4-5-1. Sambaサーバー

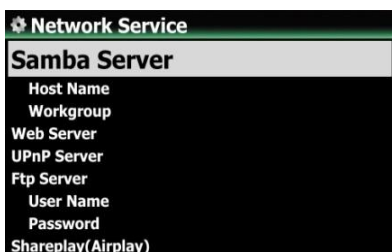
同一ネットワークに接続されたPCを介してハードディスクのフォルダを表示するには次のように設定します。

設定→ネットワークサービス→Samba Server(Samba サーバー) をオンにします。



Setup

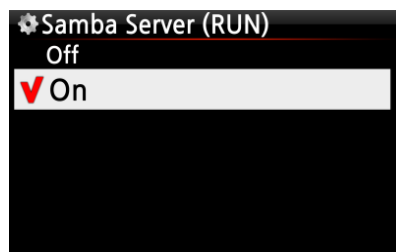
- Music DB
- Cd Ripping
- Audio
- Network
- Network Service
- Internet Service
- System
- Time
- Firmware



Network Service

Samba Server

- Host Name
- Workgroup
- Web Server
- UPnP Server
- Ftp Server
- User Name
- Password
- Shareplay(Airplay)



Samba Server (RUN)

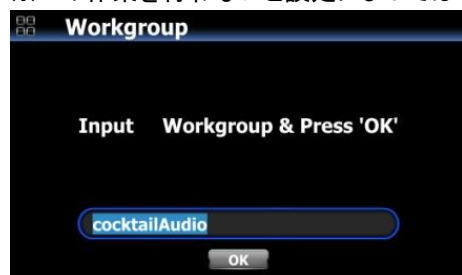
Off

✓ On

※パソコンを使いカクテルオーディオと接続するには

WorkgroupをcocktailAudioからWorkgroupに変更します。

※この作業を行わないと設定によってはPC上でカクテルオーディオに接続できない場合があります。



設定が完了したら本体を再起動します。本体での設定はこれで完了です。

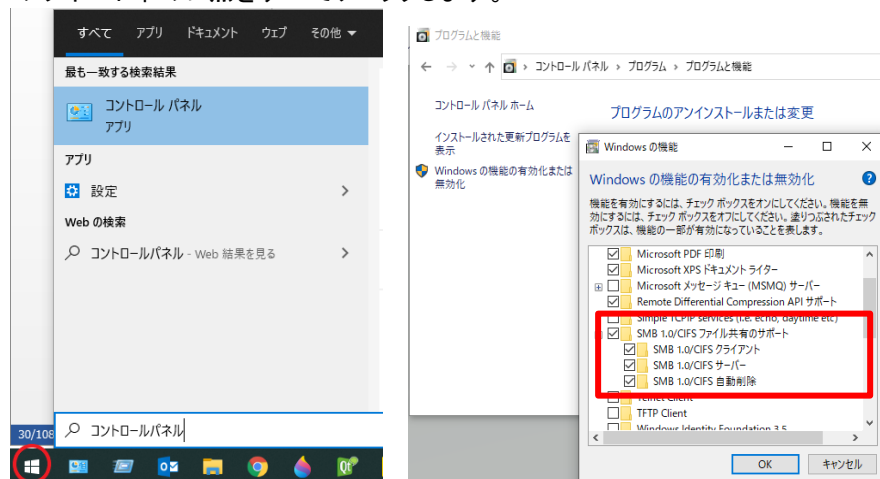
最後にIPアドレスを設定→ネットワーク→ネットワーク取得情報から確認してください。



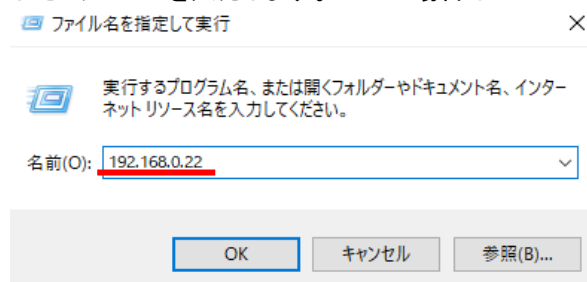
次にパソコンでの設定をします。画面はWindows10での動作になります。

パソコン画面左下のWindowsボタンを押し、「コントロールパネル」と入力し検索します。

コントロールパネル→プログラムと機能→Windowsの機能の有効化または無効化→SMB 1.0/CIFSファイル共有のサポート中のレ点をすべてチェックします。

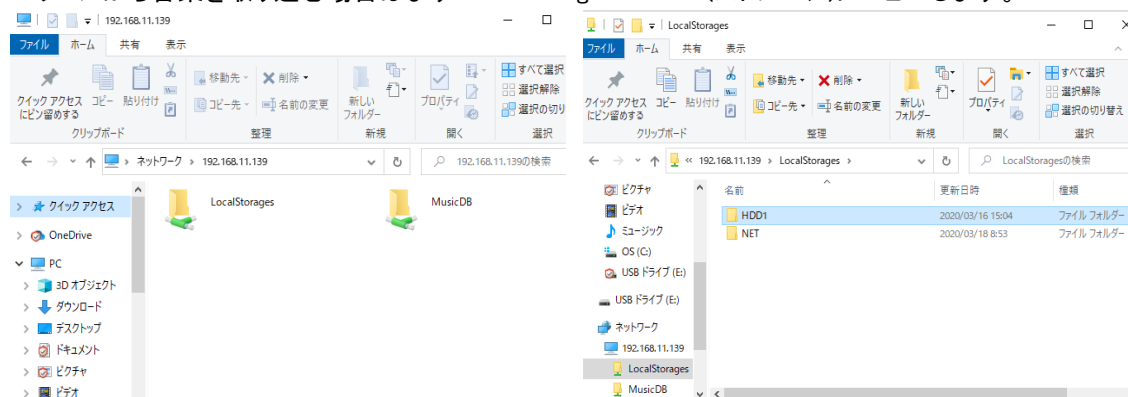


左下のスタートボタンをクリックし、Windowsシステムツール→ファイル名を指定して実行を選択、先程本体で確認したIPアドレスを入力します。MACの場合はFinderからカクテルオーディオを探して追加します。



これでカクテルオーディオに接続することができます。

LocalStoragesはカクテルオーディオのBrowser(ブラウザ)に値します。
 パソコンから音楽を取り込む場合はまずLocalStorages→HDD1(ストレージ)にコピーします。



Music DBに曲取り込む場合はcocktailAudioのブラウザを開きアルバム名のフォルダでMENUボタン→Scan Music DBを選択するか、My musicフォルダに直接音楽ファイルをドラッグアンドドロップで移動します。パソコンに音楽ファイルを入れる場合は逆の動作を行います。

4-5-2. ネットワーク共有 (Sambaクライアント)

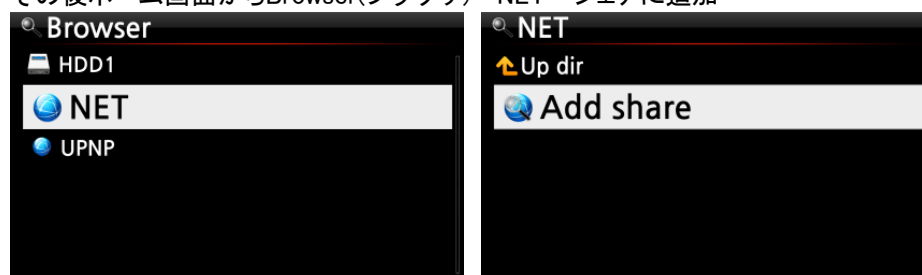
カクテルオーディオからNAS等、他サーバーにアクセスすることもできます。

NETで接続

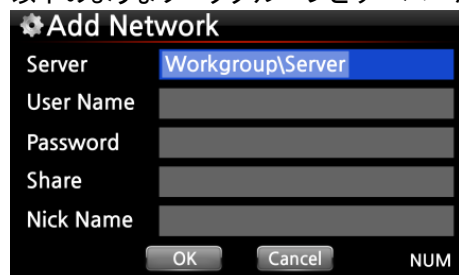
まず、パソコン側の設定からネットワークと共有センター、共有の詳細設定からパスワード保護共有を有効から無効にします。(下図画面はパソコンの画面左下Windowsボタン→設定→ネットワークとインターネットから選択しています)



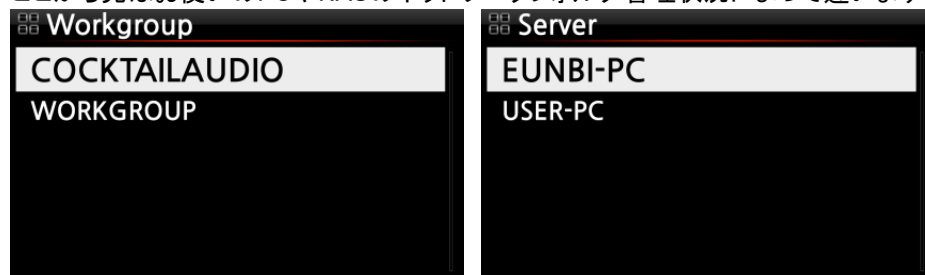
パソコンと接続する場合この作業を行わないとカクテルオーディオ側でユーザー名とパスワードを要求されます。(自分で設定したユーザーネームやパスワードを把握している場合は保護共有を無効にしないで入力します) その後ホーム画面からBrowser(ブラウザ)→NET→シェアに追加



Server (Workgroup/Server)をクリックすると、
以下のようなワークグループとサーバーが表示されます。

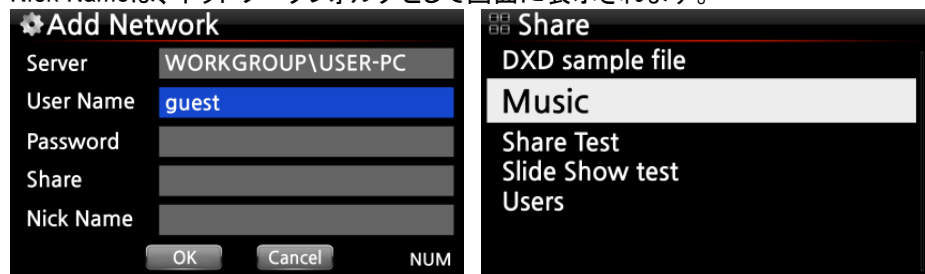


例えば、WORKGROUPとUSER-PCを選択します。
ここから先はお使いのPCやNASのネットワークフォルダ管理状況によって違います。



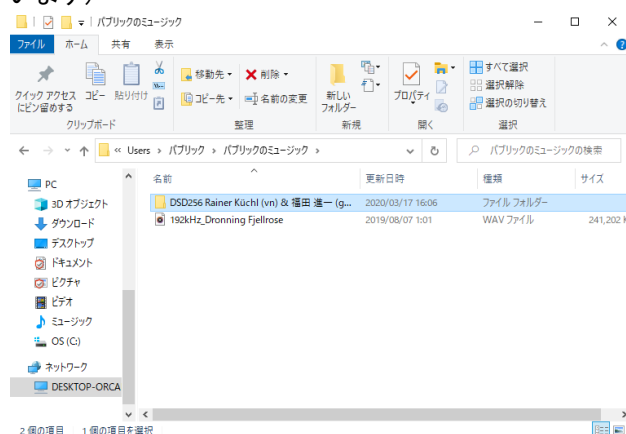
接続したいServerを選択、共有フォルダが以下のように表示されます。
必要に応じてユーザーネームとパスワードを記入し(保護共有を無効にした場合は無記入)shareを押します。そして例としてMusicフォルダを選択します。
下の画面に、Nick Nameが表示されます。

Nick Nameは、ネットワークフォルダとして画面に表示されます。



※例えばDELA製品の場合、初期設定はユーザーネーム(nobody)パスワード(nobody)です。
機種によって違う場合もありますので接続する機種をそれぞれのマニュアルで確認してください。

フォルダに関しては各々お使いのパソコンによって違います。(機種やOSによって違いますが例としてこのパソコンではネットワーク→自分のPCの名前→user→パブリック→パブリックのミュージックというフォルダで管理されています)



共有フォルダの編集と削除方法



- ① 画面上の任意のフォルダにカーソルを置きます。
- ② MENUキーを押すと、左の画像のポップアップメニューが開き追加、または編集することができます。

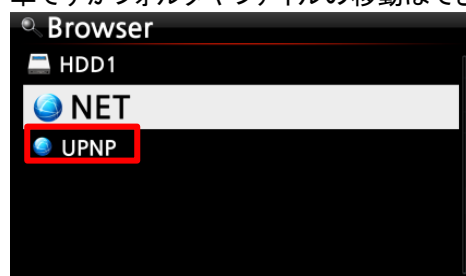
以前に入力したユーザー名を履歴表示



- ① User Name(ユーザー名)の上にカーソルを選択します。
- ② 以前に入力したユーザー名が表示されます。

UPNPから接続

BrowserからUPNPを選択、現在ネットワークに接続されている自分のPCを選ぶとファイルを選択できます。NETは共有の手間がある分フォルダやファイルの移動が行え、UPNPは共有の手間がない分サーバー接続が簡単ですがフォルダやファイルの移動はできません。

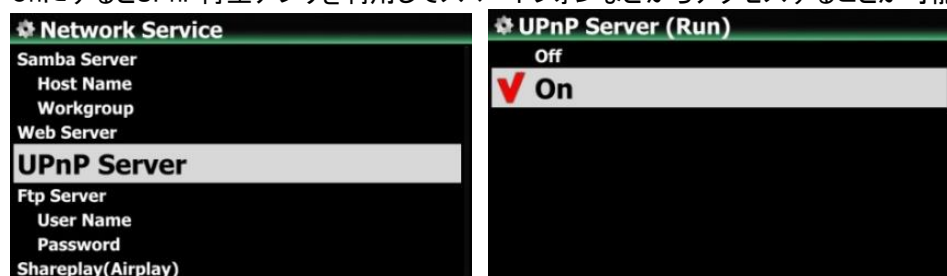


4-5-3 UPnPサーバー

UPnP再生アプリ(Fidata Music AppやBubbleUPNPなど)やUPnPクライアントプロトコル対応の機器をお使いの場合は、UPnP機器を介して音楽を再生することができます。

UPnPサーバの初期設定はOnです。

OnにするとUPnP再生アプリを利用してスマートフォンなどからアクセスすることが可能になります。



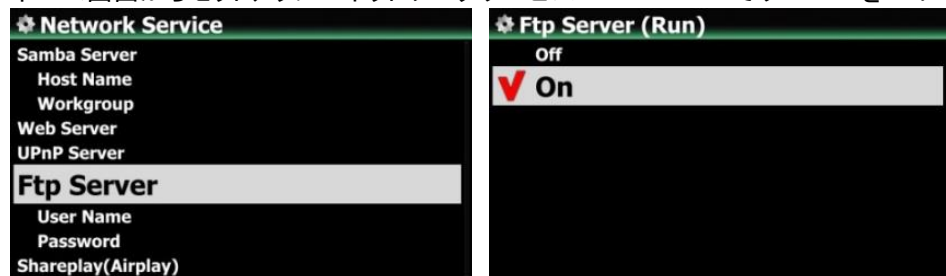
※注意 Twokey ServerもMinim Serverも内蔵されていない独自のサーバーのため簡易的な音楽の再生は可能ですがすべての機器との連動を実現するのは難しく、機器同士の相性の関係で誤作動やフリーズを起こす場合もあります。(音楽データが消去されることはありません)

4-5-4 FTP サーバー

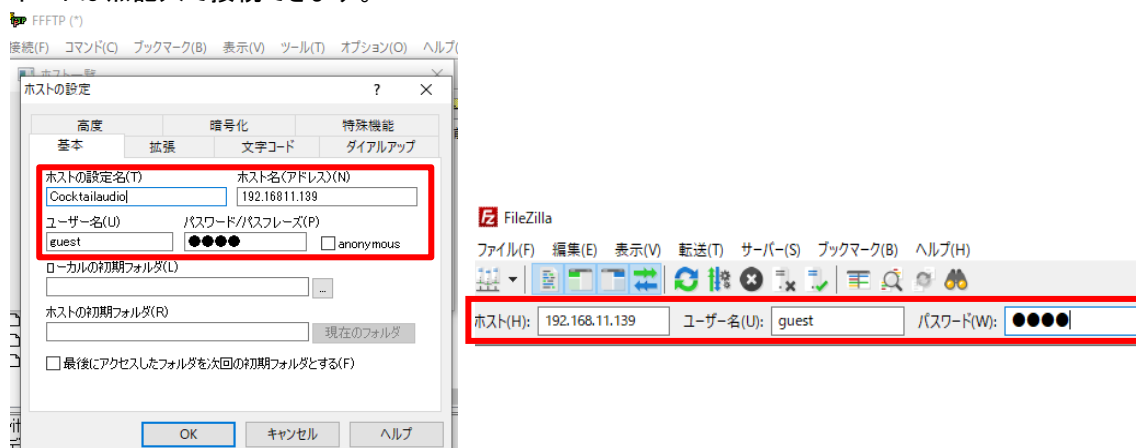
FTPサーバーでファイル共有する

FFFTPやFileZillaなどFTP サーバー接続することも可能です。

ホーム画面からセットアップ→ネットワークサービス→FTP ServerでサーバーをONにしてください。



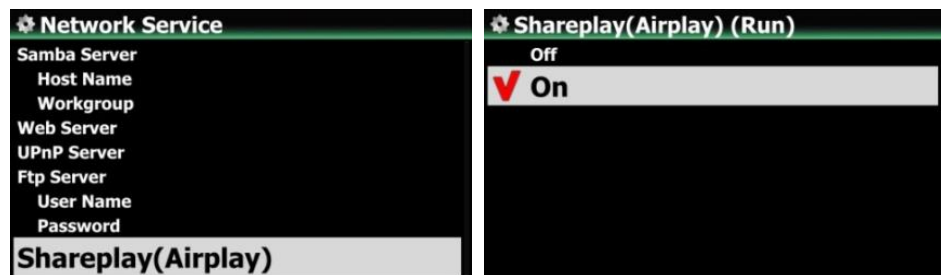
つづいて、パソコン側でホストの設定名、ホスト名(IPアドレス)、ユーザー名(guest)/パスワード(初期設定では0000)ポートは無記入で接続できます。



あとは普通のFTPサーバーの使い方と同様です。

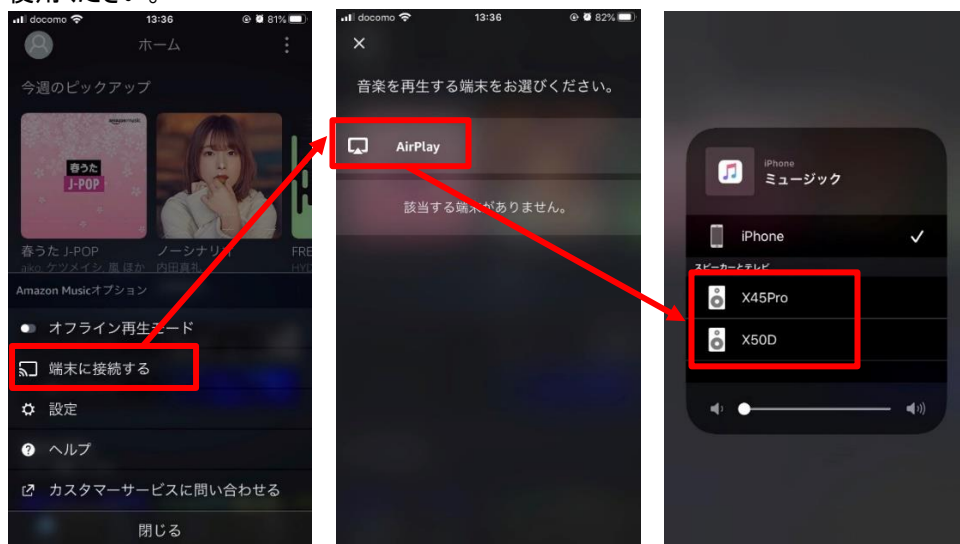
4-5-5 シェアプレイ (Airplay)

ここではSHareplay(Airplay)機能のON/OFFの設定は行えます。



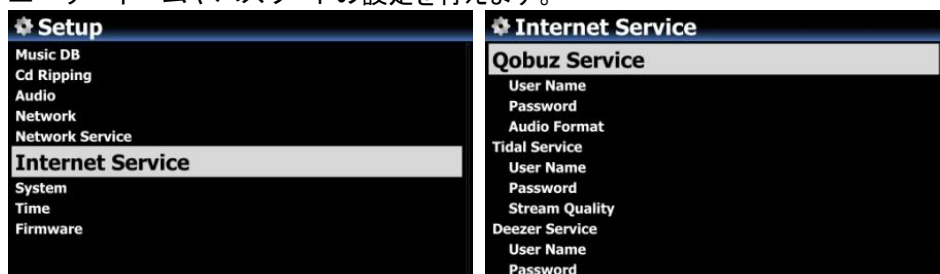
※初期設定 : On

使い方はタブレットのAirplay対応アプリ(画像はAmazon Music)からカクテルオーディオを介して、音楽データを再生することができます。iOS機器のAirplayに対応している音楽プレーヤーを再生してください。左のような画面の赤四角内のアイコンをタップしてってください。右のような画面が表示され接続したいカクテルオーディオを選択してください。ただし、再生されるのは音声のみで、動画の場合音声のみ再生されます。また、音量には注意しご使用ください。



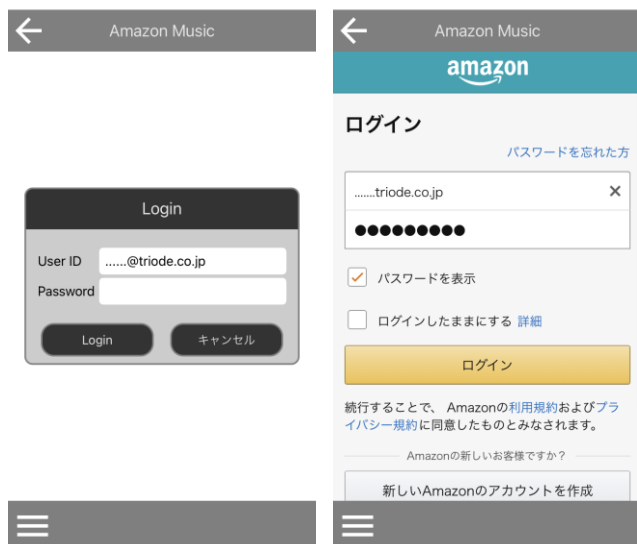
4-6. インターネットサービス

Amazon Music、Qobuz、TIDAL、Deezerなどのインターネットサービスのオンオフやユーザーネームやパスワードの設定を行います。



【 Tip 】Amazon Musicなどにログインするには

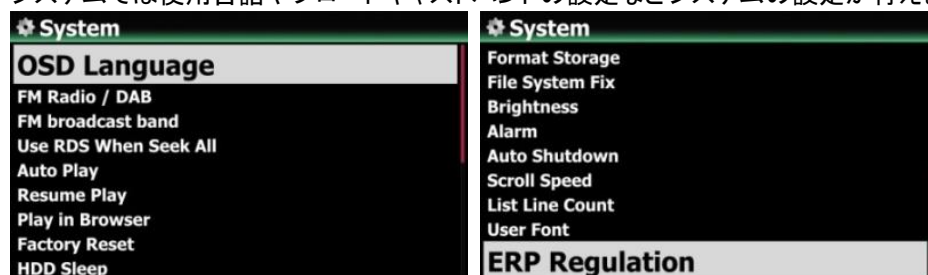
Amazon Musicなどログインするときに一度外部からログインする必要がある場合にはMusicX NEOを使いログインします。MusicX NEOからインターネットサービス→Amazon Musicと選択し下記のように進めていきます。



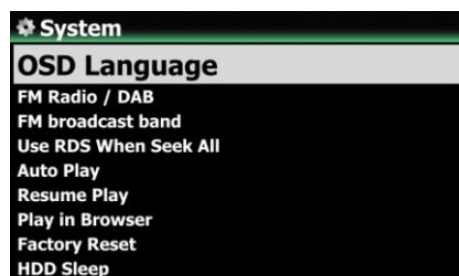
※一度ログインすればカクテルオーディオ本体からでもログインすることが可能です。

4-7. システム

システムでは使用言語やブロードキャストバンドの設定などシステムの設定が行えます。



4-7-1. OSD Language (ディスプレイ表示言語)



OSD Language(OSD言語)を選択するとサポートされている言語が表示されます。

希望の言語を選択し、[OK]ボタンを押して確定します。

※工場出荷リセットを行うと英語になってしまうため行った場合はここで日本語に変更します。

※初期設定 英語

4-7-2. FMラジオ/ DAB +選択

この設定でFMラジオまたはDAB+を選択することができます。



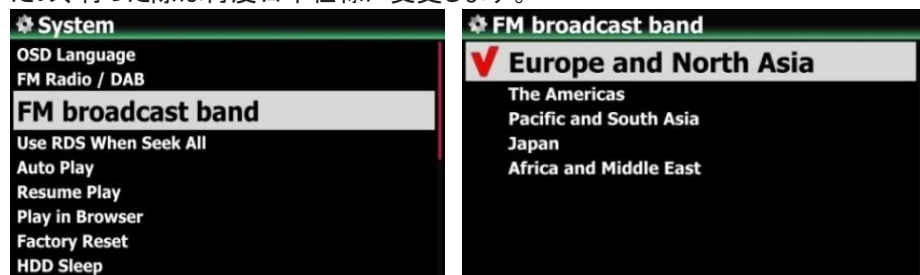
※日本国内はFMラジオ局のみです。

※初期設定 : FM Radio

4-7-3. FM 放送バンド

放送バンドを[Japan(日本)]に設定します。

これを行わないと正しくFM放送が受信されません。工場出荷リセットを行うとヨーロッパ、北アジアに戻ってしまうため、行った際は再度日本仕様に変更します。



※初期設定 : ヨーロッパ、北アジア

4-7-4. 自動再生(オートプレイ機能)

自動再生を選択し、OKボタンで確定します。オンまたはオフに設定できます。

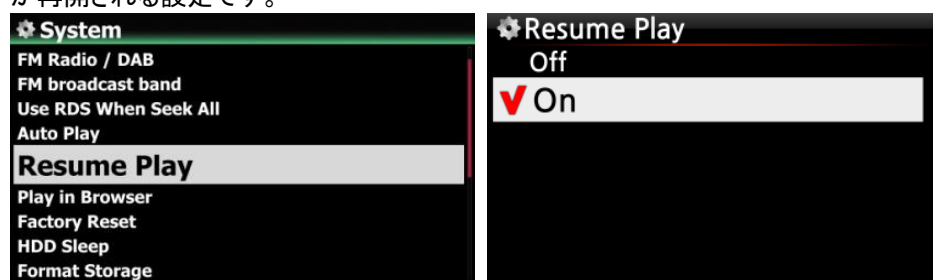


※ 初期設定 : OFF

【 Tip 】 オートプレイ機能の詳しい説明については、17-13 オートプレイ(93ページ)を参照してください。

4-7-5. レジューム再生

再起動したときに、前回最後に停止した場所から、Music DB、Browser または、iRadioで自動的に音楽の再生が再開される設定です。



※初期設定 : OFF

【 Tip 】 ※ この機能は、「アラーム」機能または「自動再生」機能が有効な場合は機能しません。

※ Function priority : Alarm(アラーム)> Auto Play(自動再生)> Resume Play(レジューム再生)

4-7-6. ブラウザ表示



- 1) Including Sub-Folder
(サブフォルダを含む):
サブフォルダ内の全ての曲が再生されます。
- 2) Excluding Sub-Folder
(サブフォルダを除く):
サブフォルダ内のどの曲も再生されません。

※初期設定 : Excluding Sub-Folder(サブフォルダを除く)

全てのファイルを、複数または単一のフォルダで再生できます。

- ① 右矢印キーでフォルダを選択します。
- ② MENUキーを押して、ポップアップメニューを開きます。
- ③ 再生を開始するには、[再生開始]を選択します。
- ④ 選択したフォルダ内の全ての曲が再生されます。

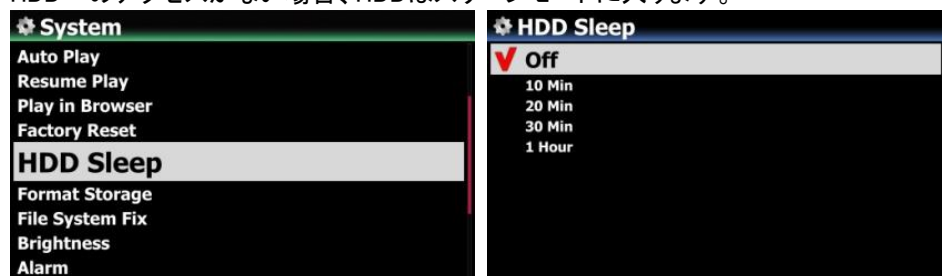
4-7-7. 工場出荷リセット



工場出荷リセットを行うことで初期設定に戻すことができます。
初期設定にするとOSD言語やFMブロードキャストバンドなどの設定が初期化されるため、再度セットアップの設定をやり直す必要がありますが**音楽ファイルが消去されることはありません**。
動作が鈍いときや設定をやり直したい場合にこの機能を利用してください。
※再起動してしまった場合はもう一度工場出荷リセットを行ってください再起動せず英語表記になったら成功です。

4-7-8. HDD スリープ

この設定で、HDD（内蔵ストレージ）をスリープモードにすることができます。
下図の5つ、①OFF・②10 Min・③20 Min・④30 Min・⑤1 Hour から選択できます。
HDDへのアクセスがない場合、HDDはスリープモードに入ります。



※ HDDスリープモードから再度起動するのに3～4秒かかります。
この間、リモコンからの入力信号に対する応答は遅くなります。

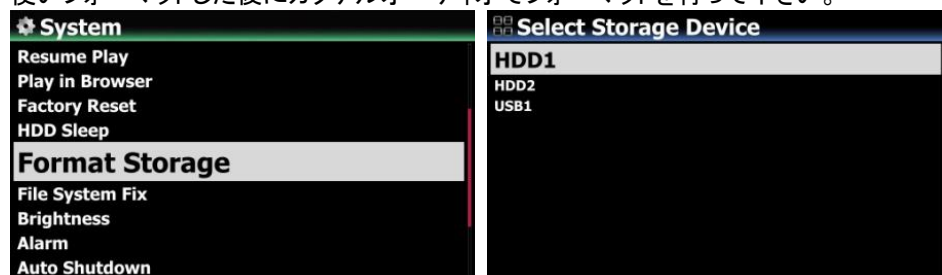
4-7-9. ストレージのフォーマット

※2つのパーティションを作成する場合は、フォーマット後にパソコンなどを使用し分割してください。新しくHDDやSSD、USB記録媒体を使う際は必ず最初にストレージのフォーマットをカクテルオーディオから行ってください

※NOTE: フォーマット機能は、内蔵ストレージと外部のUSB機器にも対応しています。

フォーマットの仕方はどちらも同じです。

※ストレージのフォーマットがうまくできない場合は何回かストレージのフォーマットを繰り返すかパソコンなどを使いフォーマットした後にカクテルオーディオでフォーマットを行ってください。



※USBメモリーを読み込まない場合もカクテルオーディオでフォーマットを行ってください

<注意！> ストレージのフォーマットを行うと、選択したストレージ内のすべてのデータが失われます。

4-7-10. ファイルシステムの確認と修正

内蔵HDDや接続されたUSBストレージなどのストレージのファイルシステムを確認したい場合、または問題があると思われる場合は、この機能を使用して、ストレージのファイルシステムを確認したり、エラーを取り除くことができます。File System Fix(修復)を選択し、OKキーを押して確定します。



【 注意 】 HDDのファイルシステムに問題がない場合は、この機能を使用しないでください。

4-7-11. 画面の明るさの調整

LCD画面の明るさを調整することができます。



System(設定)→ Brightness(明るさ) を選択すると

スライドバーが表示されるので、明るさを確認しながら、本体のスクロールやリモコンのLEFT / RIGHTキー(十字キー)を使って、明るさを調整してください。

※初期設定:10

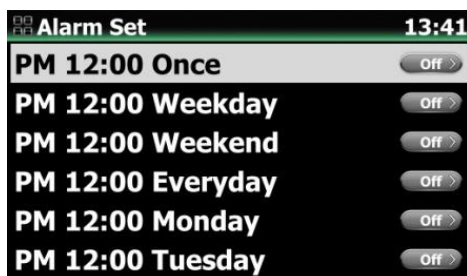
4-7-12. アラーム

アラームでは6つのアラーム設定を行うことができます。



- ① SETUP(設定)でAlarm(アラーム)に移動し、OKキーで確定すると次の画面が表示されます。
- ② 必要な行を選択し、OKボタンを押してください。次の画面が表示されます。

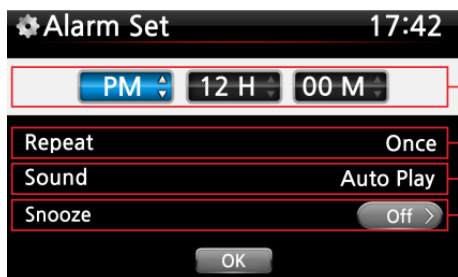
※ 注: 最低でも現在時刻より、10分後に設定してください。



- ③ 時間、周期、音源を設定します。

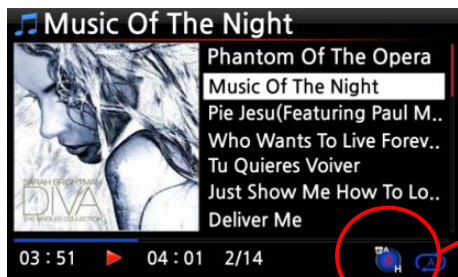
- ④ スヌーズをリモコンの左右キー(十字キー)でONに設定してください。

- ⑤ OKを選択し確定します。



- ① 上/下ボタンで時間を選択する
- ② OKボタンでサイクルを選択する
- ③ プレイリストまたはiRadioから音源を選択する (My Favorites)
- ④ スヌーズ ON / OFFの選択

※NOTE: アラームが設定されている場合は、再生中の画面に以下のアイコンが表示されます。



※ NOTE

A: アラーム

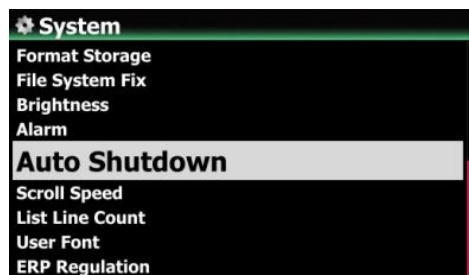
2: 2

D: 日

このアイコンは2日後にアラームが設定されていることを意味します。

4-7-13. オートシャットダウン(自動シャットダウン)

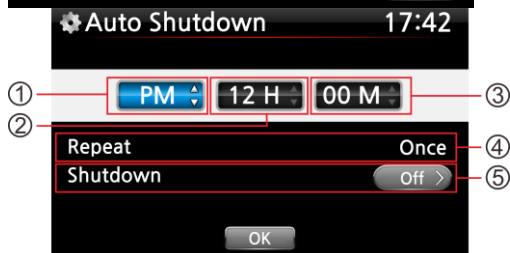
オートシャットダウンは設定した日、時間に自動で電源をOFFにする機能です。



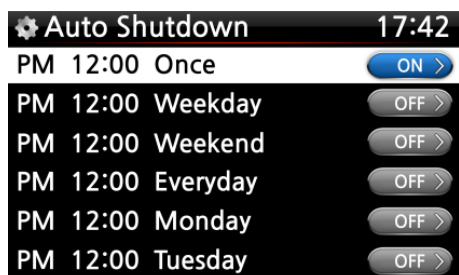
- ① 設定→システムを選択します。
- ② Auto shutdown()を選択し、OKキーで確定します。
- ③ リストから選択して、確認します。



- ④ 時間を設定します。
- ⑤ 時間が設定されたら、OKアイコンにカーソルを移動し
OKキーを押して確定してください。
- ⑥ 左の画面が表示されます。
RETURNキーを押して設定を保存し、この設定を終了してください。

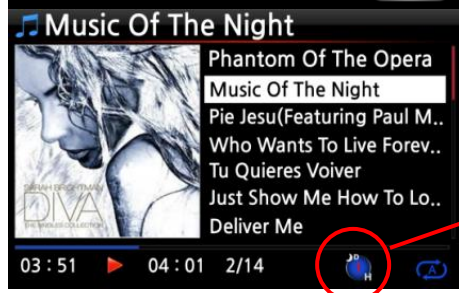


※NOTE: リモコンの十字キー(上/下)で値を変更してください。
十字キー(左/右)を使用してカーソルを移動します。
OKを押して「Repeat(リピート)」を変更します。十字キー(左右)で、ON/OFFをします。



※NOTE: 電源を入れ3分間はオートシャットダウンは作動しません。

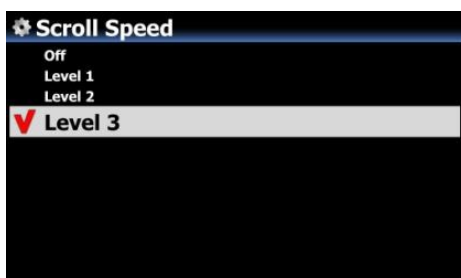
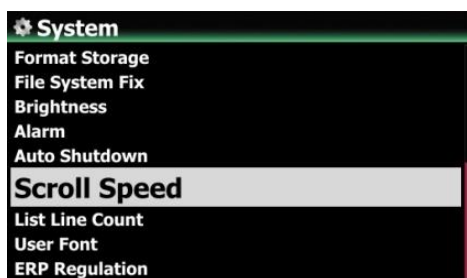
自動シャットダウンが設定されている場合、再生中の画面には以下のアイコンが表示されます。



※NOTE
D : 自動シャットダウン
3 : 3
H : 時間
このアイコンは、3時間後にシャットダウンすることを意味します。

4-7-14. スクロール速度

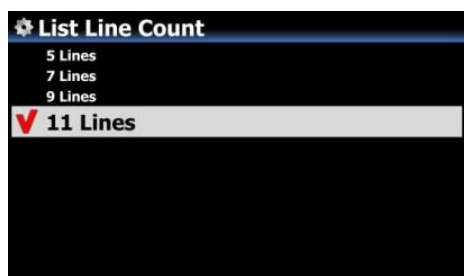
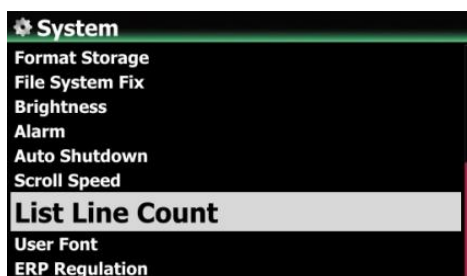
再生時に流れる字幕のスクロール速度の設定です。



※初期設定: Level 3

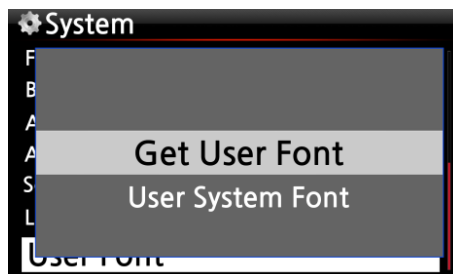
4-7-15. リスト行数表示

テキストの行数の設定が行えます。



※初期設定: 11行

4-7-16. ユーザーフォント

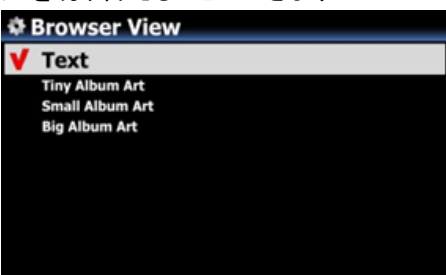
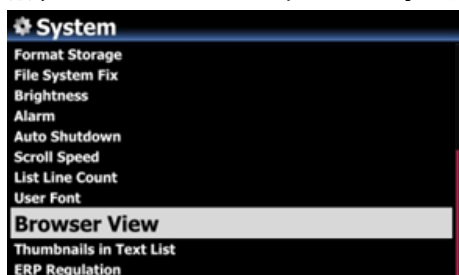


- ① 適当なフォントファイルをPCから探しUSBメモリー、またはハードディスクにコピーします。
 - ② SETUP(設定)> System(システム)> User Font(ユーザーフォント)に移動し、OKキーで確定してください。上図のようにメニューウィンドウを開きます。
 - ③ フォントファイルを探して読み込むには、'Get User Font'を選択します。
- ※ 「元のフォント」に戻すには、「ユーザーシステムフォント」を選択し、OKキーで確定してください

4-7-17. ブラウザ表示

この設定に従って、テキストまたはカバーアートでリストを表示できます。

※リモコンのTEXT/ARTキーでこのオプションを切り替えることができます。



※初期設定: TEXT

4-7-18. ERPの規制(カナダの節電規制)

CE Regulation(ERP / Energy Efficiency Regulation)のための設定です。

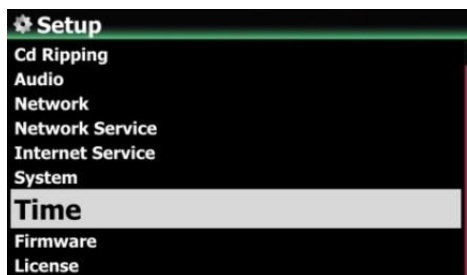
20分後に自動的にパワーオフモード、またはWOLモードに入ります。日本国内では設定する必要はありません。



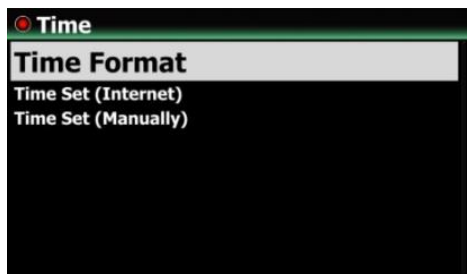
※初期設定:OFF

4-8. 時間設定

ここでは、インターネット経由、または手動で時間表示を調整できます。



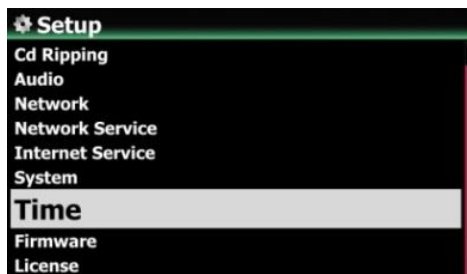
4-8-1. 時間形式



インターネットラジオを再生中、あるいはCLOCKキーを押すと時刻が表示されます。

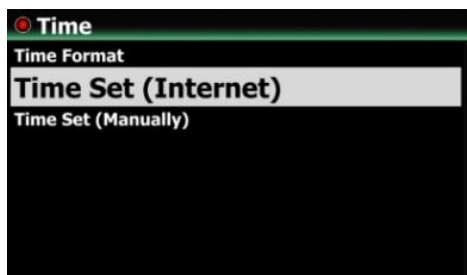
AM / PM、または24時間のどちらかを選択できます。

4-8-2. 時間設定(インターネット)

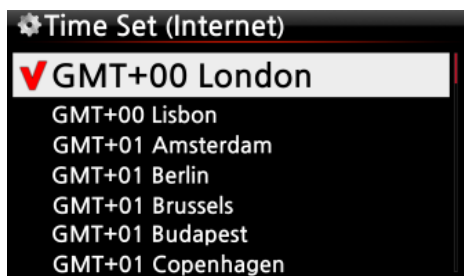


- ① Time Set(Internet)を選択し、OKボタンで確定します。

時間に関するオプションが以下のように表示されます。



【 TIP 】 Time Set(インターネット)で時刻を設定する前に、ネットワーク(インターネット)に接続されていることを確認してください。



- ② 希望の時間を選択し、OKボタンで確定します。
工場出荷リセットを行うと戻ってしまうので行った場合は再度設定し直してください。

【 TIP 】 初期設定: GMT+00 London

4-8-3. 時間設定(マニュアル)

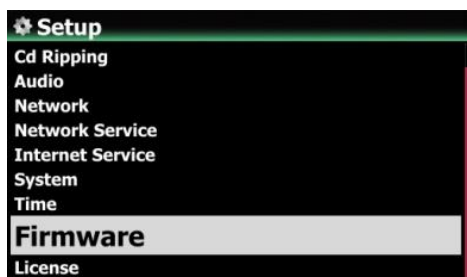
ネットワーク(インターネット)接続がなければ、マニュアルで時刻を設定することができます。



- ① 左図の様に、Time Set (Manual) を選択し、OKボタンで確定します。
② 時間を手動で入力し、OKを選択しOKボタンを押して確定してください。

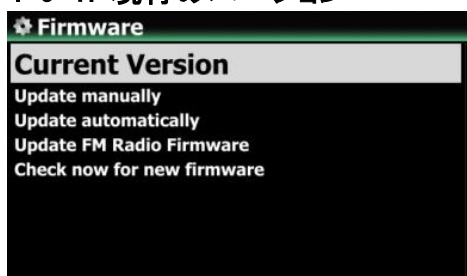
4-9. ファームウェア

現在のファームウェアバージョンを確認し更新された新しいファームウェアをインストールできます。



Firmware (ファームウェア) を選択し、OKを押してください。

4-9-1. 現行のバージョン



左図のように、現在のファームウェアのバージョンを確認することができます。

4-9-2. 手動で更新(マニュアルによるファームウェア アップデート)



- ① まず、新しいファームウェアをホームページで入手し、USBメモリまたはHDDに挿入します。
② USBメモリやHDDをそれぞれのポートに差し込んでください。



- ③ SETUP(設定)に移動し、Firmware Update(ファームウェアのアップデート)を選択します。
- ④ 新しいファームウェアを含むストレージデバイスを選択してください。
xxxxxxx.pkg(新しいファームウェアの名前)ファイルを選択しOKキーを押して確定します。

[OK]を選択し確定します。自動的に再起動し、更新がはじまります。

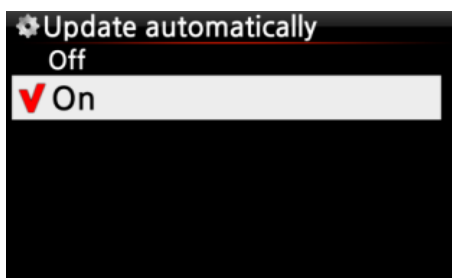


アップデート確認後一度再起動が始まり、アップデートが終了するともう一度再起動します。



4-9-3. 自動的に更新(ネットワーク経由のファームウェア自動アップデート)

ネットワーク経由でファームウェアを自動的に更新します。
これを行わない場合は、設定をOFFに変更してください。(左図参照)

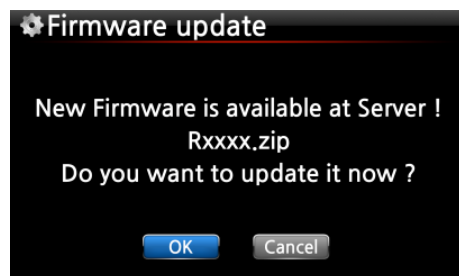


※ 初期設定: On

4-9-4. ネットワークによる自動ファームウェア アップデート

この機能は、ネットワーク(インターネット)に接続されている場合にのみ使用できます。

サーバーシステムに新しいファームウェアが存在する場合、起動時に自動的にチェックします。



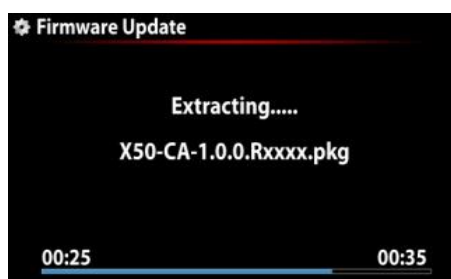
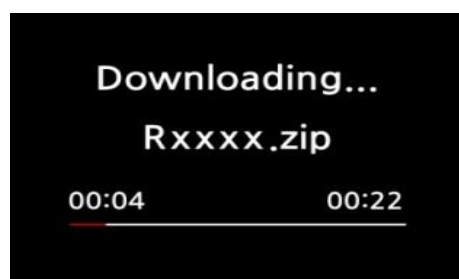
※ NOTE: キャンセルした場合、内蔵ハードディスク
(またはUSB)に[New Firmware] フォルダが自動的に作成され、
起動時にファームウェアのアップデートは要求されません。

ブラウザから[新規ファームウェア]を削除すると、再度尋ねられます。

※ NOTE: [New Firmware] フォルダには実際のデータはありません。
※間違えてキャンセルしてしまった場合は新しい[ファームウェアを確認
する]から更新してください。

「OK」を選択すると、自動的にダウンロードとアップデートが始まります

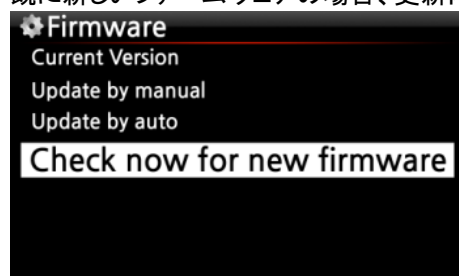
また、自動的に再起動してファームウェアを更新します。以下の手順を参照してください。



4-9-5. 新しいファームウェアを確認する

最新のファームウェアがインストールされているかどうかを確認するには
この機能を使用してください。

新しいファームウェアのバージョンがある場合はアップデートするかの選択肢が表示されます。
既に新しいファームウェアの場合、更新内容が表示されます。



5. Free DB Gracenoteについて

カクテルオーディオにはCDを取り込んだ時に自動でタグ情報を付与してくれる機能があり、「FreeDB」と「Gracenote」の2種類の自動タグ情報付与サービスが存在します。

FreeDBは無料ですがカバーアートが取得できず、有志で情報を集めているので正確性や情報が欠く恐れがあります。また、2020年4月に更新が終了したため、2021年現在最新のCDのタグ情報などが読み込みません。Gracenoteはカバーアートが取得でき、情報量が多く体裁もまとまっていますが永年無料ではありません。アクティベートしてから2年間無料でその後は1年につき1サービス約5ユーロ前後(タグ情報とカバーアートで計10ユーロ)かかり、更新手続きが必要です。(2021年現在)

それぞれメリットデメリットがあるのでどちらか、あるいは両方の導入を検討してください。それぞれの導入方法を説明します。

5-1. Free DB

Free DBを使う方法はまず、Free DBをHDDまたはSSDに導入することからです。

Free DBはインターネットに接続しなくても、挿入されたCD情報(タイトル、アルバム名、アーティスト名など)のデータ情報をリッピングする際に呼び出してくれるデータです。

ただしカバーアート情報はありません。別途でカバーアートから探す必要があります。

導入方法はホームページからカクテルオーディオのページに飛びダウンロードサポートからダウンロードします。

<http://triode.co.jp/brand/coctailaudio/index.html>

ホームページに載っている以下の手順で進めていきます。

< FreeDB >

USBメモリーでファームウェアをインストール (更新) する方法

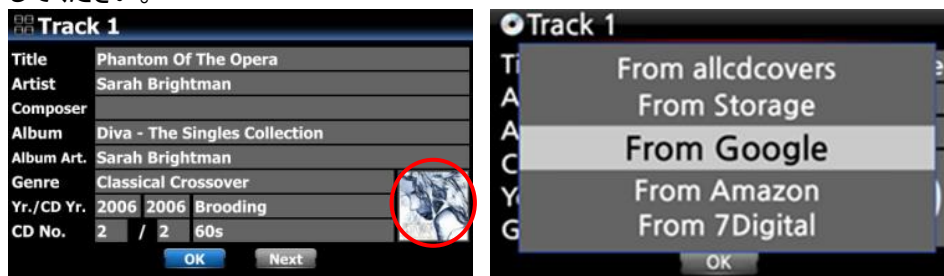
- 1.最新FreeDBを下記よりダウンロードします。
- 2.FreeDB (zipファイル) を USBメモリにコピーします。
- 3.SETUP > Cd Ripping > FreeDB インストール に進みます。
- 4.カクテルオーディオのUSBホストポートに USBメモリスティックを挿入します。
- 5.USB1 (USB5) をクリックします。表示されたzipファイルをクリックします。

[FreeDB \(全機種共通 2020年1月版/Zip形式/1122MB\)](#)

或いは付属のDVDでもFree DBをインストールすることが可能です。

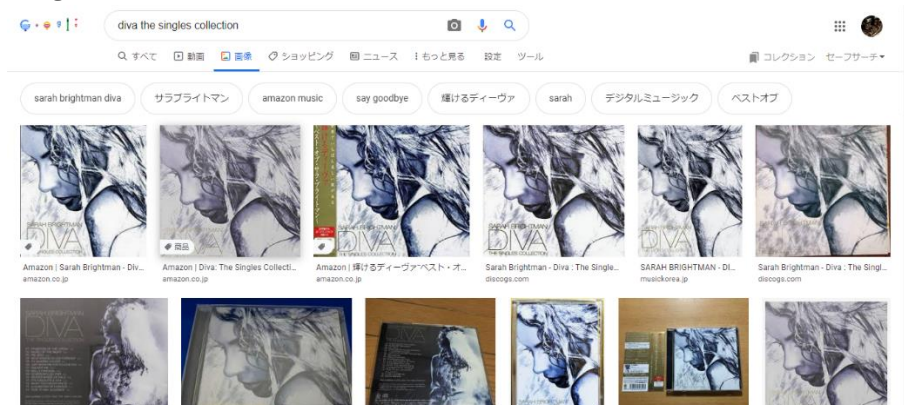
DVDをカクテルオーディオ本体に挿入し、上記と同じ手順でSETUP(設定)→CD Ripping→FreeDBインストールと進めていきます。

Free DBではカバーアートの読み込みができませんが、カクテルオーディオではウェブサイトからカバーアートを検索することができます。取得方法はCDをリッピングした際にアルバムカバーアート(赤丸で囲った部分)をクリックすると、アルバムカバーアートを変更できます。GoogleやAmazonやストレージなどを選択し好みの画像を選択してください。

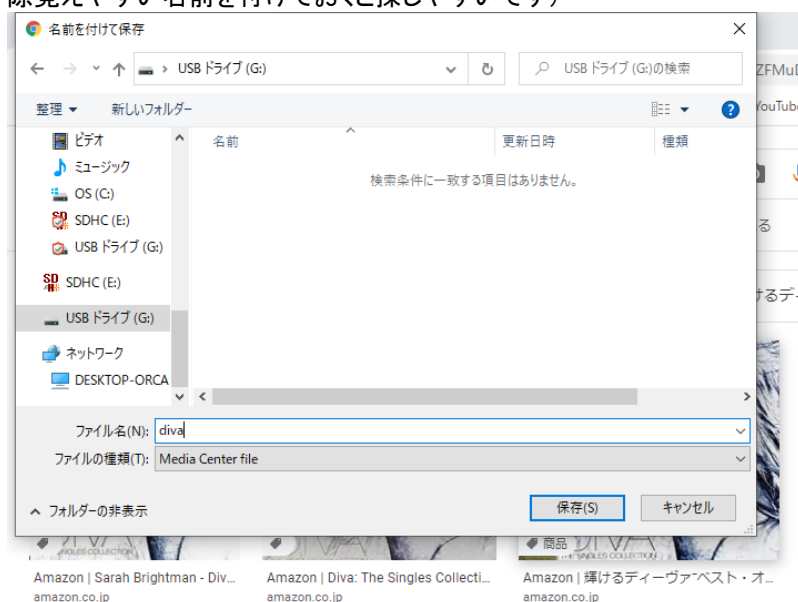


※リッピングした後にMusic DBを開きリッピングしたアルバムにカーソルを合わせてMENUボタンを押し、ファイルオペレーション→カバーアートからもカバーアートを選ぶことができます。

GoogleやAmazonで検索が見つからない場合はUSBメモリーを使用してPCから探すこともできます。例えばPCのGoogleで画像検索すると以下のようにアルバムが表示されます。



カバーアートにしたい画像を選び右クリックし「名前をつけて画像を保存」を選択しUSBメモリーに保存します(この際覚えやすい名前を付けておくと探しやすいです)

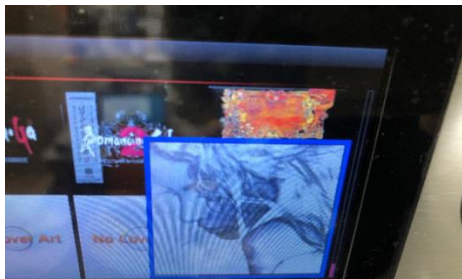


画像を保存したUSBメモリーをPCから抜き、カクテルオーディオ本体のUSBホストに接続し、先程の選択肢(From googleやFrom amazon)のところからFrom Storageを選択します。対応デバイス(USBメモリー)を選択、保存した画像を選択、先程保存した画像が出てくるのでOKと進めていきます。





OKを押すとカバーアートが表示されます。

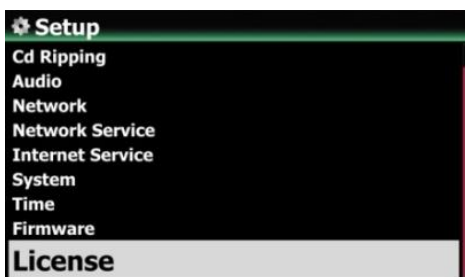


5-2. Gracenote

カクテルオーディオでは、Gracenoteサービスを受けることができCDのメタデータやCDリッピングのためのアルバム情報やカバーアートを自動で検索する機能があります。

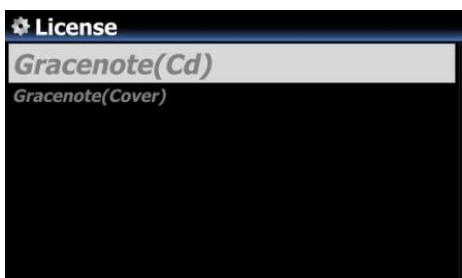
但し、Gracenoteサービスは2年間のみ無料です。2年後にGracenoteサービスを継続して使用する場合は、1サービスごとに、2021年現在約5ユーロを支払う必要があります。

「Gracenote Service」を有効にするために、最初に以下のような操作をする必要があります。



① Setup (設定)→License (Gracenote License)に移動します。

② [License] をクリックすると、下の画面が表示されます。



下記の2つのサービスを利用できます。

- (1) CDメタデータ(Cd)
- (2) カバーアート(Cover)



③ Device Key後に延長する際に必要になるデバイスキーです。

④ [Activate(有効)] をクリックしてください。



- ⑤ [OK]をクリックして、[ライセンスの有効化]を完了します。

完了すると文字が半透明から白色になります。

- ※ Gracenoteの導入方法は以上です。インターネットに接続しているときのみ有効なので、タグ情報を読まない場合はネットワーク接続またはGracenoteの期限を確認してください。

※Gracenoteを更新する方法はTriode公式ホームページのダウンロードサポートから「Gracenote購入手順」をダウンロードし、案内に沿って更新してください。(P104 ホームページの紹介参照)

6. CD リッピング

CDをリッピングする際は、インターネットに接続し、GracenoteまたはFree DBを導入してから使用することを推奨します。カバーアートや音楽データの取得がよりし易くなります。

6-1. インターネットに接続している場合

CDを挿入する前にインターネット環境に接続されていることを確認してください。



- ① CDをCDスロットに挿入してください。

CDを挿入した後に自動で表示されますが、表示されない場合はホーム画面CD再生/リッピングを選択し、OKボタンを押します。すべてのトラックのリストが表示されます。



- ② CDリッピングを行うために、リモコンのMENUボタンを押し下の画像のポップアップメニューを画面に表示させてください。

※CDが勝手にリッピングされてしまう場合は設定→CDリッピング→オートリッピングを確認しオンになっている場合はオフにしてください。

6-1-1 全曲リッピング

この機能は、挿入したCDの全ての音楽データをリッピングします。



- ③ Ripping All(すべてをリッピング) を選択しOKボタンを押してください。

- ④ WAV, ALAC, AIFF, MP3, OGG, FLACなどのファイル形式から選択し、OKボタンを押してください。



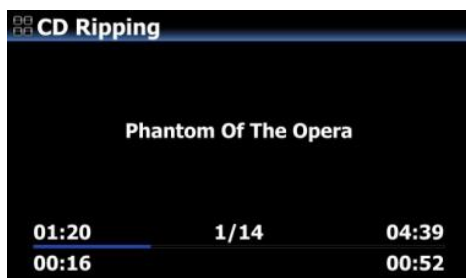
読み取ったCDの情報をもとにCDメタデータサーバーに個々の情報(タイトル、アーティストなど)を自動で検索します。

⑤ OKボタンを押すと、リッピングが始まります。

※ NOTE: 複数のCDメタデータが存在する場合には、Nextアイコンを選択することで、別のメタデータを表示できます。
 ※ アルバムカバーアートをクリックすると、別のアルバムカバーアートに変更できます。



⑥ リッピング進行中の画面が表示されリッピングがはじまります。



⑦ リッピングが完了したら左図のような画像が表示されます。
 OKボタンを押して、CDを取り出してください。

6-1-2. トラックごとのリッピング



① Ripping Tracks(トラックごとのリッピング) を選択してOKボタンを押してください。

下記の画面が表示されます。

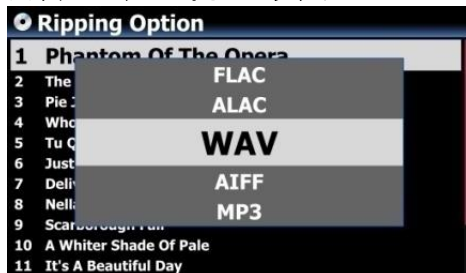


② リッピングしたいトラックを選択し、リモコンの十字キー右▶ボタンを押してください。選択されたトラックが赤色表示になります。

選択が終わったらOKボタンを押してください。



※リッピングした曲はブラウザー→HDD→My musicに保存されます。



③ 6種類 (WAV, ALAC, AIFF, MP3, OGG, FLAC)のファイル形式から、お好みのファイル形式を選択し、OKボタンを押してください。

この先の操作は全曲リッピングの時と同じです。

オートリッピングの場合トラックごとにリッピングはできません。

リッピング画面上の各項目の説明



- ① リッピング中のトラック名
- ② リッピング中トラック番号/CDの総トラック数
- ③ リッピング中のトラックの再生時間
- ④ リッピングに必要な時間
- ⑤ リッピングされた部分の時間
- ⑥ リッピング経過時間

6-1-3. CDリッピング時のタグ編集画面



ムード

テンポ

Nextアイコンは、そのCDに対するCDメタデータが複数存在する場合に現れます。

6-1-4. 2枚組以上のCDアルバムを1つのアルバムとしてフォルダに入れる



例えば「The world's Greatest Ballads」という3枚組のアルバムがあり、既にCD1をリッピング終了したとします。

- ① 2枚目のCD2を挿入しリッピングしようとする、左図のようなタグ編集画面が出てきます。
カーソルをAlbum名に合わせ、OKを押します。



- ② 'Album Help' 画面が現れます。
このときカーソルは、CD2のAlbum名の頭文字と同じAlbum名の位置に置かれます。
- ③ カーソルをCD1枚目のAlbum名に合わせて、OKを押します。



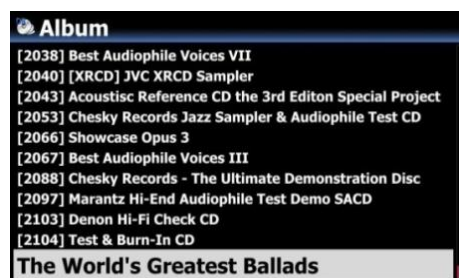
- ④ 2枚目に変更するかの確認画面が出ますので、OKを押します。



- ⑤ 'Album Help' 画面が出ます。
CD1のAlbum名でCD No.2になっているかを確認しOKを押します。



- ⑥ 確認画面になるので、OKを選択します。
3枚目も同様に行います。



6-1-5. 別々のフォルダに保存した2枚組以上のアルバムを 1つのアルバムとして1つのフォルダに統合する



例えば、「The world's Greatest Ballads」という3枚組のアルバムがあり、3枚を別々にリッピングしたとします。

- ① ホーム画面からMusic DBを開きます。



- ② カーソルをCD2(2枚目)に合わせてMENUボタンを押します。

- ③ 'Album Edit' を選択します。



- ④ 左のようなタグ編集画面になります。

Album名にカーソルを合わせ、OKを押します。



- ⑤ “Album Help”画面が出ます。
CD1のAlbum名を探し、カーソルを合わせてOKを押します。



- ⑥ 左のような確認画面になるので、OKを押します。





- ⑦ CD2枚目のタグ編集画面に正しいAlbum名とCD番号が表示されます。
- ⑧ OKを選択します。



- ⑨ これでCD2はCD1のAlbumに統合されました。
Album表示では、CD1とCD3の2つだけの表示に変わります。

※ CD3についてもCD2と同じ方法でCD1のAlbumに統合します。



- ⑩ 最終的には左のように1つのアルバムになります。
これをクリックすると4つのフォルダが表示されます。
[All]フォルダの中に全てのトラックが表示されます。



6-1-6. 自動リッピング



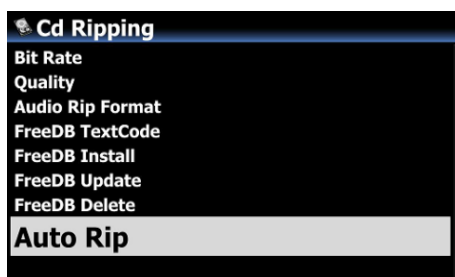
多くのCDをリッピングしたいときに便利な機能です。

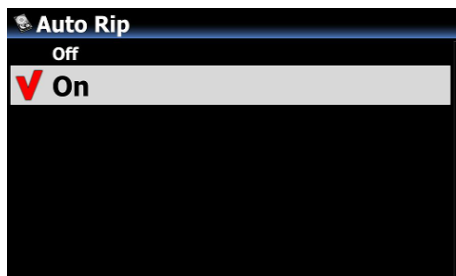
- ① SETUP(設定)画面から、CD Ripping(CDリッピング)を選択し、更にAutoRip(オートリッピング)をONに選択します。(※初期設定:Off)
- ② CDを挿入します。
- ③ 自動的にリッピングを開始し、終了すると自動でCDをイジェクトします。

※ 注意

- 1) CDリッピングが成功なかった場合、エラーメッセージが表示されます。

※タグ情報を読み込まない場合はエラーとなりCDを排出します。





- 2) リッピング後に、CDメタデータやアルバムカバーアートが消えてしまった場合でも、‘Album Edit(アルバム編集)’、‘Cover Art (カバーアート)’ 機能で、タグ情報やカバーアートを編集することができます。

6-2. インターネットに接続していない場合、情報を読まなくてもリッピングする場合



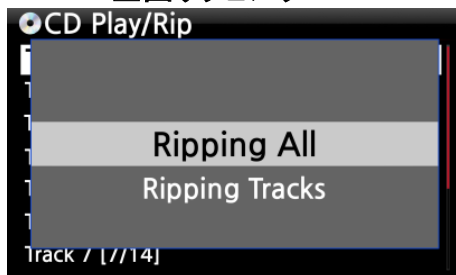
- ① CDをスロットに挿入してください。
- ② CD Play/Ripアイコンを選択し、OKボタンを押します。
トラックリストが下のように表示されます。



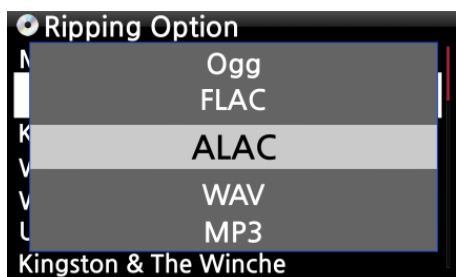
- ③ リッピングを行うために、リモコンのMENUボタンを押します。
下記のリッピング選択画面が現れます。

【 TIP 】 インターネットに接続していない場合でもストレージに Free DBをインストールしていれば、Free DBのメタデータを取得します。付属のFree DBデータCDからインストールしてください。

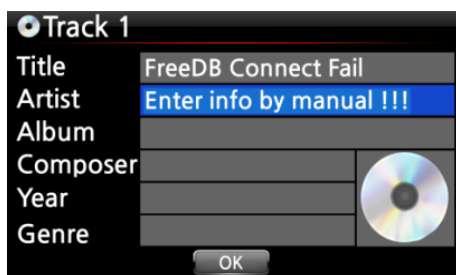
6-2-1. 全曲リッピング



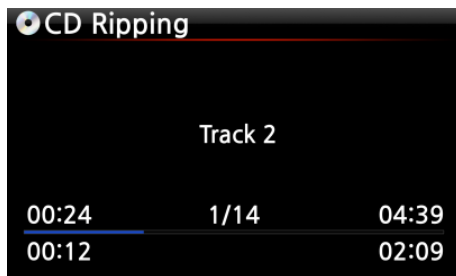
- ④ Ripping Allを選択し、OKボタンを押します。



- ⑤ WAV, ALAC, AIFF, MP3, OGG, FLACなどのファイル形式から選択し、OKボタンを押してください。



- ⑥ リモコン、またはUSBキーボードで情報を手動で入力します。
※注意: アルバム名を入力しないと次の画面に行きません。



- ⑦ 全ての入力完了したところでOkを選択してください。
リッピングを開始します。

左はリッピング中の表示です。



- ⑧ リッピングが完了したら左の画面が表示されます。
OKアイコンを選択してCDを取り出してください。

- ⑨ 前のステップ⑥で、title、artist、year、genreが未入力だった場合ここで再度入力が可能です。



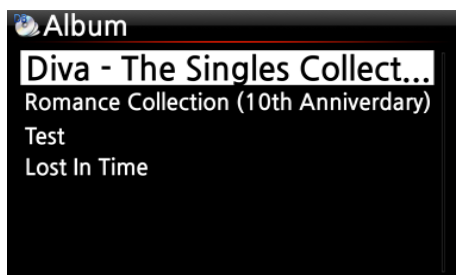
- ⑩ 情報を入力したらOKアイコンを選択してください。

6-2-2. トラックごとのリッピング

この手順は、上記④でRipping Tracksを選択し、CDからリッピングするトラックを選ぶ以外はほぼ同じです。
※リッピングした曲はブラウザ→HDD→My musicに保存されます。

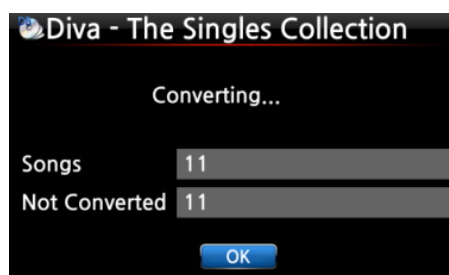
6-3. CDリッピング変換後のステータスの確認

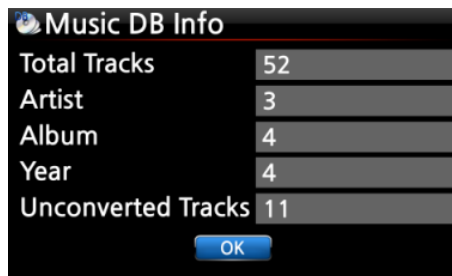
この機能は、CDリッピング変換後のデータの状態をします。



- ① チェックしたいアルバムにカーソルを合わせます。
② リモコンのINFOボタンを押します。

- ③ 下図の様なステータスが表示されます。





※ NOTE: Music DB全体の変換プロセスや状態を確認したい場合は、ホーム画面のMusic DBアイコンにカーソルを置き、リモコンのINFOボタンを押してください。

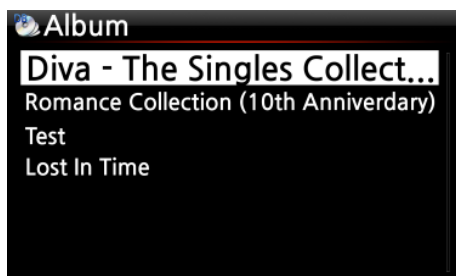
7. Music DBの使い方

7-1. Music DBからの再生

リッピングしたCDのデータはMusic DBに保存されます。



- ① Music DBアイコンを選択しOKボタンを押してください。
アルバムリストが表示されます。



- ② アルバムを選択し、OKボタンを押してください。
アルバム内のリストがすべて表示されます。



- ③ 再生したい曲を選択し、OKボタンを押してください。
選択した曲が再生されます。

リモコンINFOボタンを押すことで、下図のように情報画面が切り替わります。(設定→オーディオ→プレイヤー表示からも変更が可能です)

〔 Playing 画面 〕



〔 Info 画面 〕



〔 Title List 画面 〕



アルバムリスト画面でリモコンのMENUボタンを押し、ビュー(表示)を開くと下記のように別の項目の表示方法を選ぶことができます。



※初期設定 アルバム順(Album)

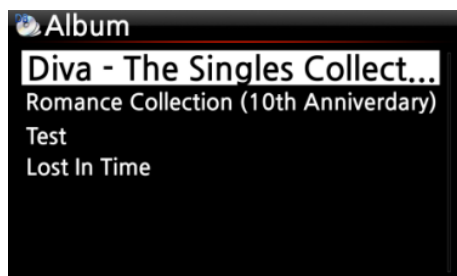
再生画面での表示の内容

- ① 現在再生中の曲/アルバムのタイトル
- ② 1曲前の曲タイトル
- ③ 現在再生中の曲のタイトル
- ④ 次の曲のタイトル
- ⑤ 再生モード(リピートやランダム等)
- ⑥ アラームアイコン
- ⑦ オートシャットダウンアイコン
- ⑧ スリープアイコン
- ⑨ 現在のトラック番号/全トラック数
- ⑩ 現在再生中の曲の収録時間
- ⑪ 再生アイコン
- ⑫ 現在再生中の曲の再生時間
- ⑬ 現在再生中のアルバムアート

- ① 現在再生中の曲/アルバムのタイトル
- ② アーティスト
- ③ アルバム
- ④ 作曲家
- ⑤ ジャンル
- ⑥ 発売年
- ⑦ ファイルフォーマット/サンプリング周波数/レゾリューション/Bit数
- ⑧ 再生モード(リピートやランダム等)
- ⑨ 現在のトラック番号/全トラック数
- ⑩ 現在再生中の曲の収録時間
- ⑪ 再生アイコン
- ⑫ 現在再生中の曲の再生時間
- ⑬ 現在再生中のアルバムアート

7-2. 検索機能

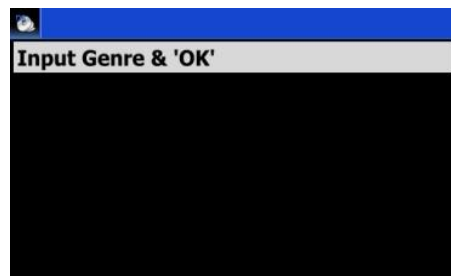
Music DBに多くの音楽データを収録した際に聞きたい曲を探し出す機能です。



- ① アルバムリスト画面で、リモコンのSEARCHボタンを押してください。左下の画面が表示されます。
- ② リモコンまたはUSBキーボードでアルバム名またはアルバム名の一部を入力欄に入力してください。

※NOTE: アルバムの最初の数文字の入力でも、候補のものがあれば表示されます。

【 TIP 】 検索機能はアーティスト画面ジャンルリスト画面タイトルリスト画面からでも起動させることができます。

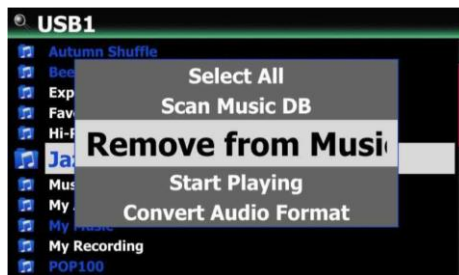


7-3. Music DBの管理と編集

ここでは、Music DBに収録した曲データフォルダーの削除、編集、ほかのストレージ(NAS・USB HDD・USBメモリースティック等々)へのエクスポート等の仕方を記載します。

7-3-1. Music DBの音楽データの削除

7-3-1-1. Music DBからアルバムを削除するには



①ブラウザから削除したいフォルダを選択します。

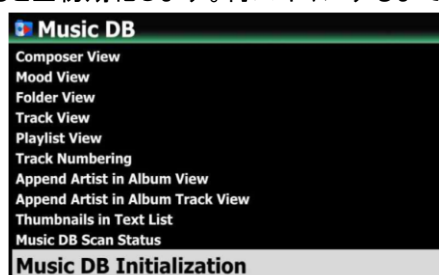
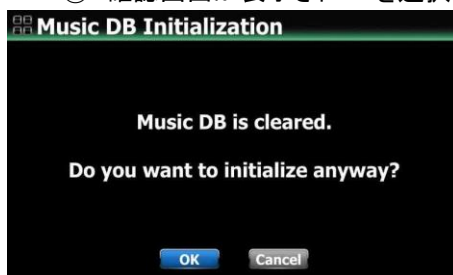
②MENUボタンを押しRemove from Music DB(Music DBから削除)を選択します。

③バックグラウンドで削除が開始されます。

7-3-1-2. Music DBを初期化(全削除)するには

① 設定→Music DB → Music DB Initialization(Music DB の初期化)を選択します。

② 確認画面が表示されOKを選択すると全初期化します。再スキャンするまで復元できません。



※ Music DBを初期化した後、自動的に再起動し初期化が完了します。

※ 注意: Music DBはすべて消去されてしまいますがMy music内の音楽ファイルの消去はされません。

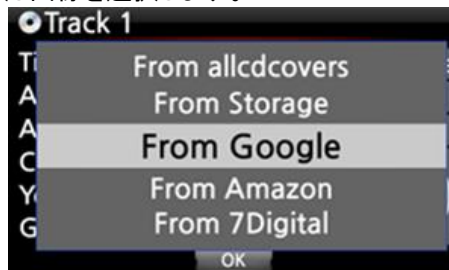
7-3-2. カバーアート

Music DB内のアルバムにアルバムカバーアートを追加することができます。

① アルバムリストでアルバムカバーアートを追加したいアルバムにカーソルを合わせてください。

② リモコンのMENUボタンを押します。操作選択画面からCover Art(カバーアート)を選択します。

③ From GoogleやFrom Amazonなど選択し画像を選択します。



7-3-3. 2枚組以上のアルバムのアルバム編集



※ 4枚組のアルバム「60 Jahre Bravo Hits」の4枚分の曲全てを1つのアルバム名「60 Jahre Bravo Hits」に統合する場合を例に説明します。



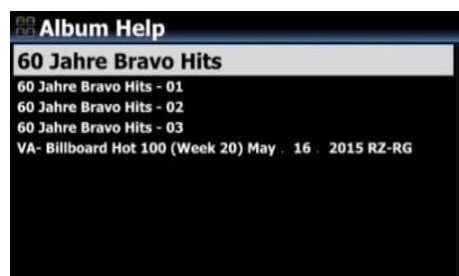
- ① カーソルを「60 Jahre Bravo Hits -01」(CD2)に合わせ、リモコンのMENUボタンを押します。
- ② 左の画面でAlbum Editを選んで、OKを押します。

- ③ アルバム名を「60 Jahre Bravo Hits -01」から変更したいタイトル名「60 Jahre Bravo Hits」に変更します。

他の項目の変更もできます。

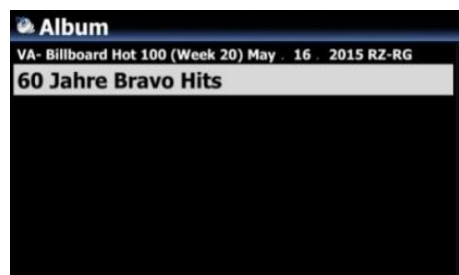


※ カーソルがアルバム名にある時にOKを押すと、Album Help画面が表示され、変更したいアルバム名を選ぶこともできます。



- ④ 編集が終わったら内容を確認し、OKを押します。

※ CD3、CD4についても同様の手順で編集できます。



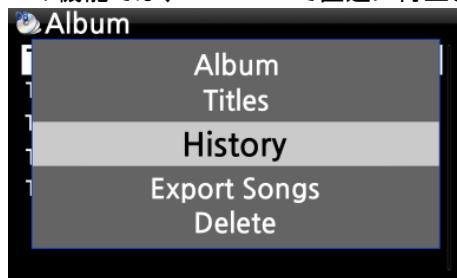
全てのディスクの統合が完了すると、アルバムの表示は左図のようになります。



アルバム名を選択しOKボタンを押すと、その内容が、5つのフォルダ [All]、[CD1]、[CD2]、[CD3]、[CD4]で表示されます。

7-3-4. History (履歴)機能

この機能では、Music DBで直前に再生された音楽データを表示することができます。



- ① Music DB画面に移行してください。
- ② MENUボタンを押してメニュー画面を表示します。
- ③ ‘History(履歴)’ を選択し、OKボタンを押してください。
直前に再生された音楽が表示されます。

7-3-5. セクション再生(セクションリピート)機能の設定

[Playing画面]



- ① 再生画面中でリモコンの十字キーの左ボタンを押して、セクション再生の開始点を設定します。
- ② 右ボタンを押して、セクション再生の終了点を設定します。



※ NOTE

- 1) セクション再生が設定されている時は、開始点と終了点の間をリピート再生します。
- 2) リモコンの数字ボタン、-15/+15を使つてのセクション再生の設定も可能です。

※セクション再生が設定されている時、各リモコンボタンは次のように動作します。

* -15(SEEK) ボタン : 再生ポイントが15秒戻ります。

* +15(SEEK) ボタン : 再生ポイントが15秒先に進みます。

* 左ボタン : 再生ポイントが全再生時間の50%より前であれば、開始点を1/4秒前に戻します。
再生ポイントが全再生時間の50%より後ろであれば、終了点を1/4秒前に戻します。

* 右ボタン : 再生ポイントが全再生時間の50%より前であれば、開始点を1/4秒先に進めます。
再生ポイントが全再生時間の50%より後ろであれば、終了点を1/4秒先に進めます。

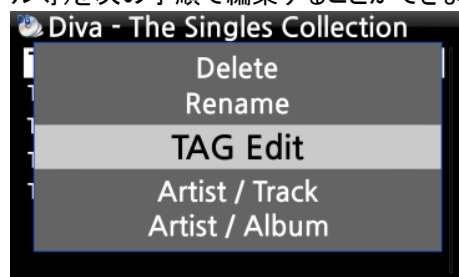
* PREVIOUS ボタン : 現在の再生ポイントから最後までをセクション再生します。

* NEXT ボタン : 曲の最初から現在のポイントまでをセクション再生します。

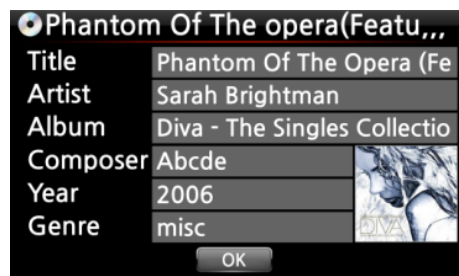
* STOP ボタン : セクション再生の設定を解除します。

8. Music DB内のTAG情報を編集する

TAG情報(音楽に関する情報(作曲家、アルバム名、アーティスト名、アルバムアート、発売年、ジャンル等)を次の手順で編集することができます。



- ① 編集したいアルバムや曲にカーソルを合わせてMENUボタンを押してください。
- ② 左の画像が表示されるので“Album Edit(アルバム編集)”、“TAG Edit(タグ編集)”を選択してOKを押すと下記のような画面が表示されます。



- ③ リモコンかUSBキーボードで情報を編集してください。
- ④ 編集が完了したら内容を確認し、OKを押してください。

【 TIP 】MusicX NEOからでも同様の手順で行えます。

9. CDのダイレクト再生

9-1. インターネットに接続している場合



- ① CDをスロットに挿入してください。
- ② CD Play/Rip(再生/リッピング)アイコンを選択し、OKボタンを押してください。または自動でアルバム画面が開きます。ネットワークを通してCDデータベースサーバーに接続されていると、左図のような画面が表示されます。



- ③ 再生したい曲を選び、OKボタンを押してください。再生が始まり、再生画面が表示されます。



再生中は、左のような画面が表示されます。
※オートリッピングをONにしている場合自動でリッピングが始まってしまうのでOFFにしてください。



【 TIP 】再生中の画面で、リモコンのINFOボタンを押すと、下記の画面のように音楽情報画面が切り替わります。

9-2. インターネットに接続していない場合、タグ情報が読み込まない場合



- ① CDをスロットに挿入してください。

ホーム画面からCD Play/Rip(再生/リッピング)を選択し、OKボタンを押してください。



- ② 再生したいトラックナンバーを選択し、Ok ボタンを押してください。そのトラックの曲が再生されます。

※トラック表示のままでも再生することは可能です。



再生中は左のような画面が表示されます。

※オートリッピングをオンにしている場合タグ情報を読まないとCDを吐き出してしまいます。

設定→CDリッピング→オートリッピングを確認してください。

10. データCDのダイレクト再生

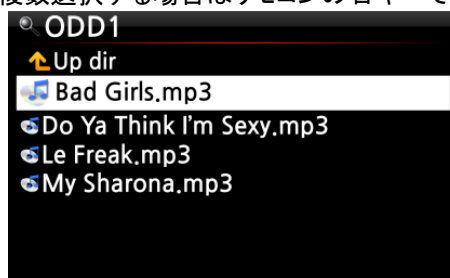
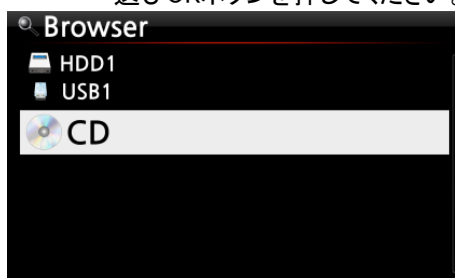
- ① データが記録されたディスクを挿入しリモコンでホーム画面からBrowser(ブラウザ)を選択します。

- ② 認識すると表示画面にCDが表示されます。(認識までには時間がかかります)

- ③ カーソルをCDROMに合わせ、OKボタンを押して再生します。

【 TIP 】 ディスクによっては音楽をHDDにコピーすることもできます。

コピーしたい曲にカーソルを合わせリモコンのMENUボタンを押しCopy Files(ファイルのコピー)を選びOKボタンを押してください。複数選択する場合はリモコンの右キーで行います。



11. Playlist(プレイリスト)

カクテルオーディオには、次の3種類のPlaylist(プレイリスト)があります。

- i. Normal Playlist
- ii. My Playlist
- iii. Advanced My Playlist

①の“Normal Playlist”はカクテルオーディオが停止または電源が切れてもプレイリストは消えませんが

②の“My Playlist”と③の“Advanced My Playlist”は バーチャルなプレイリストであるため電源が切れると、この二つのプレイリストデータは削除されます。

※ NOTE: “My Playlist”、または“Advanced My Playlist”機能を使用した場合、My Playlistがプレイリストフォルダー内に自動的に作成されます。

11-1. Playlist

11-1-1. Playlistの作成方法

Playlistを作成する前に、Music DBに音楽データがあることを確認してください。

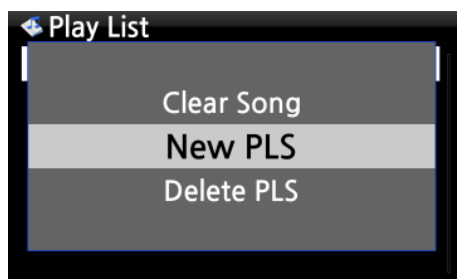


- ① Home画面でPlaylistアイコンを選択し、OKボタンを押してください。下記のPlayList画面が表示されます。

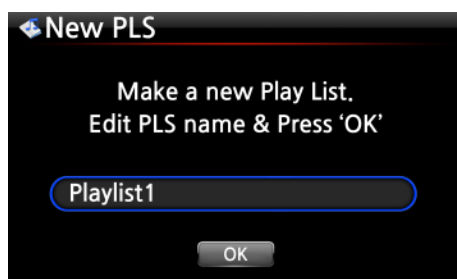
【 TIP 】 Auto Play フォルダーは自動的に作成され削除することはできません。



- ② リモコンのMENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。



- ③ “New PLS”を選択し、OKボタンを押してください。



- ④ Playlist名を入力しOKを選択し、OKボタンを押してください。
下記のようにMusic DB内のAlbumリストが表示されます。

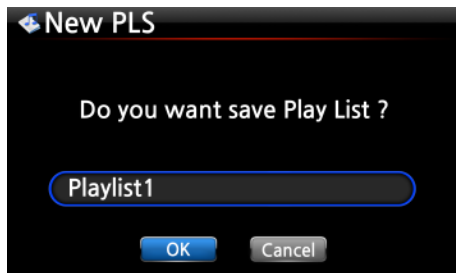
【 TIP 】 Playlistはトラック単位かアルバム単位で作成することが可能です。



- ⑤ アルバムのカーソルの右端に、“+”アイコンが表示されます。この状態で、リモコンのPLAYLISTボタンを押すと、このアルバムがPlaylistに追加されます。

※ カーソル移動は、リモコンの十字キー上/下 (UP/DOWN) ボタンで行えます。

- ⑥ トラックリストに移動したい場合はリモコンのOKボタンを押してください。



- ⑦ 上記の手順を繰り返して、曲を追加していきます。

- ⑧ 曲を追加し終わったら、RETURNボタンを押して、プレイリストを保存します。



- ⑨ OKアイコンを選択すると“Playlist1”が Playlistフォルダに格納されます。Playlistフォルダは、ホーム画面のPlaylistから確認することができます。

※ 更に曲やアルバムを追加するには、追加したいPlaylistを選択しMENUボタンを押してAddSongから追加します。

11-1-2. アルバム、ジャンルまたはアーティストに含まれるPlaylistの作成



- ① アルバムリストを表示し、Playlistに入れたいアルバムにカーソルを合わせます。
② リモコンのPLAYLISTボタンを押してください。



- ③ 左の画面でPlaylistの名前を編集し、良ければOKを選択し、OKボタンを押してください。



Playlist画面を表示すると、左の画面のように追加したPlaylistが表示されます。

11-1-3. 再生中の曲をPlaylistに追加する

Music DBの曲を再生中に、その曲を既に作成したPlaylistに追加することができます。

〔 Playing 画面 〕

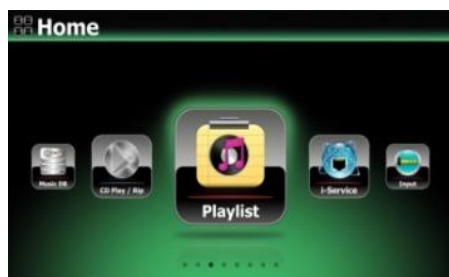


- ① 上記のPlaying画面を表示している状態で、リモコンのPLAYLISTボタンを押します。
- ② その曲を追加したいPlaylistを選びます。
- ③ OKボタンを押して確定すると、選択したPlaylistに曲が追加されます。

11-1-4. Music DB内の曲を既存のPlaylistに追加する

- ① Music DB内に追加したい曲、アルバム、ジャンル、アーティストにカーソルを選択します。
- ④ リモコンのPLAYLISTボタンを押してください。
- ⑤ その曲、アルバム、ジャンル、アーティストを追加する、Playlistを選んでください。
- ⑥ OKボタンを押すと、そのPlaylistに曲が追加されます。

11-1-5. Playlistの再生



- ① ホーム画面のPlaylistを選択するか、リモコンのPLAYLISTボタンを押して、下記の画面を表示します。



- ② 再生したいPlaylistを選択し、OKボタンを押してください。
下記のように、そのPlaylist内の曲が表示されます。



- ③ 再生したい曲を選択し、OKボタンを押してください。

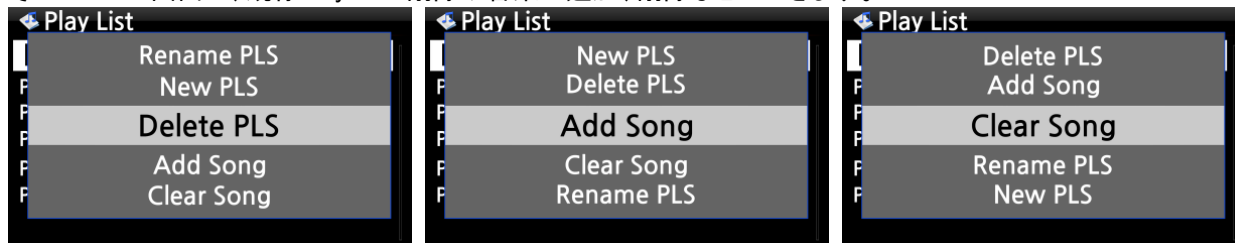
【 TIP 】 Playモードで “Repeat All(全曲リピート)” を選択している場合は、選択したPlaylist内の曲をリピート再生し続けます。

11-1-6. Playlist内の曲順を変更する

- ① Playlist内で変更したい曲を、リモコンの右ボタンで選択してください。
- ② リモコンの十字キー上/下 (UP/DOWN) で、カーソルを①で選んだ曲を移動したい位置に移動してください。
- ③ そこで、リモコンの左ボタンを押してください。その位置に曲が移動します。

11-1-7. Playlistの編集

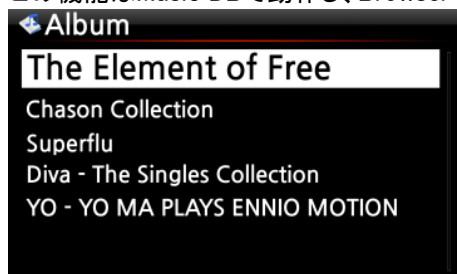
Playlist画面を表示しMENUボタンを押してください。下記のようなメニューが表示されます。
そのメニュー画面で、既存Playlistの削除や音楽の追加、削除などができます。



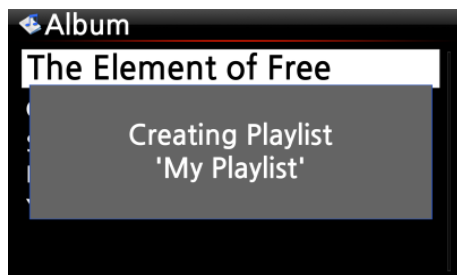
11-2. My Playlist (バーチャル Playlist)

このMy Playlistは**作成後、再生を停止したり、電源を切ったりすると削除されます。**

この機能はMusic DBで動作し、Browserでは動作しません。



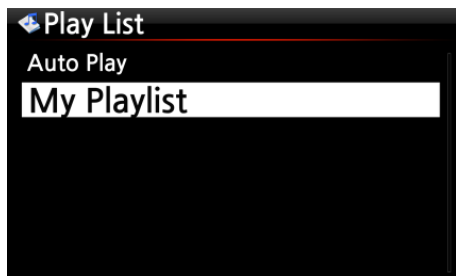
- ① カーソルを曲、アルバム、アーティストあるいはジャンルのリストに合わせてください。



- ② リモコンのMY PLボタンを押してください。



- ③ 選択したアルバムは左図のように、表示とともにMy Playlistとして作成され、再生が始まります。



④ Playlist画面に、My Playlistが追加されます。

【 TIP 】 My Playlistが再生されている時に、アルバムや曲を探したい時は、RETURNボタンを押すことで次のアルバムや曲を探すことができ現在のMy Playlistに追加することができます。
アルバムや曲にカーソルを置き、MYPLボタンを押すと、下記のような画像が表示されます。



Play Now: 選択したアルバムをすぐに再生します。

Play Last: 選択したアルバムを現在再生中のリストの最後に追加します。

Play Next: 選択したアルバムを現在再生中のリストの次に追加します。

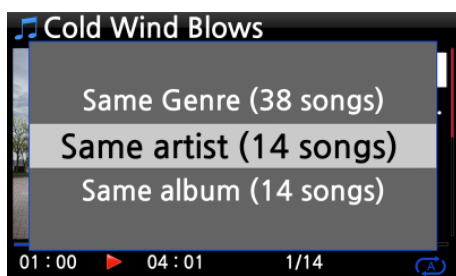


11-3. 高度な My Playlist (バーチャル Playlist)

Advanced My Playlist (バーチャル Playlist) は聴いている曲のアーティスト、ジャンル、アルバムをPlaylistとして作成する機能で、下記の手順で行えます。



① Playlistに加えたい曲の再生画面で、リモコンのAD MY PLボタンを押してください。



② 左のようなポップアップ画面が表示されます。

③ メニューから1つを選択し、OKボタンを押してください。

④ 曲が再生され、My Playlistに追加されます。

※大量の曲が反映される場合、追加に時間がかかります。

12. i-Service(インターネットラジオ)

i-Serviceを使用する前に、ネットワーク(インターネット)に接続されていることを確認してください。

ネットワークに接続していない場合i-Serviceを選択することはできません

【 TIP 】インターネットラジオでは、わずかに音声遅延が発生することがあります。
この遅延はネットワーク(インターネット)接続に起因するものです。

12-1. インターネットラジオ

12-1-1. インターネットラジオの再生

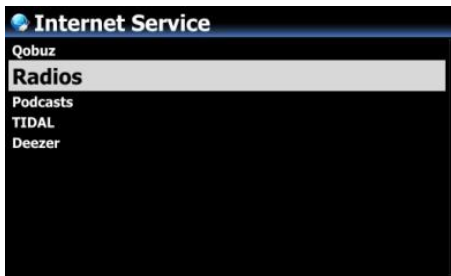
カクテルオーディオはAirableサーバーのインターネットラジオに対応しています。

ジャンルごとや国ごとなど、数多くのインターネットラジオステーションの番組を楽しめます。



【 TIP 】インターネットに接続している時のみ、ホーム画面上のiServiceアイコンが有効化します。接続されていない時は無効化され選択することができません。

① ホーム画面でiServiceを選択し、OKボタンを押してください。
左のような画面が表示されます。



② Radiosを選択して、OKボタンを押してください。
下記のような画面が表示されます。



③ 項目を選択します。
④ 選択するとステーションリストが表示されます。
⑤ 聴きたいステーションを選び、OKボタンを押してください。



正常に再生されると、左のような画面が表示されます。

12-1-2. お気に入りのステーションを Favoritesに追加する



ステーション再生中にリモコンのFAVORITEボタンを押すと右のような画面が表示され、Favoritesフォルダにそのステーションを登録することができます

12-1-3. インターネット ラジオステーションの検索



インターネット ラジオステーションは、次のような手順で検索することができます。

- ① インターネットラジオ画面でリモコンのSEARCHボタンを押してください。
- ② 左のような画面が表示されます。
- ③ 探したいステーションを入力しOKを選択してください。

12-1-4. インターネットラジオの録音

※ NOTE 1: 連続3時間以上録音しないでください。

※ NOTE 2: 目安として、MP3フォーマットで録音した場合、約1時間(54MB)、約2時間(108MB)、約3時間(162MB)の容量が必要となります。

※ NOTE 3: 録音フォーマットは、MP3、AAC、ASF 等、番組が何のフォーマットで放送しているかによります。

※ NOTE 4: 番組によっては、録音できないものもあります。

12-1-4-1. 録音方法

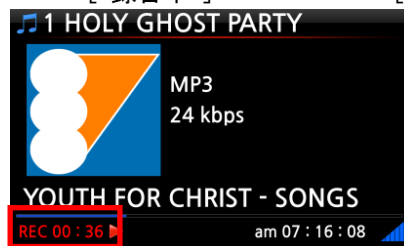
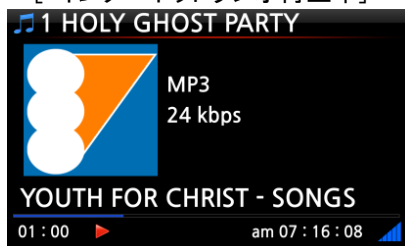
① インターネットラジオ再生中に、リモコンのRECボタンを押すと録音を開始します。

② 録音を停止するにはリモコンのSTOPボタンを押します。

[インターネットラジオ再生中]

[録音中]

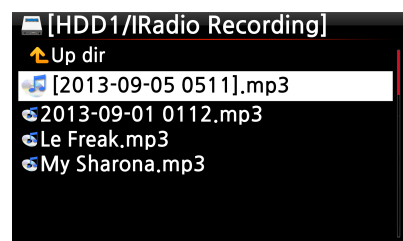
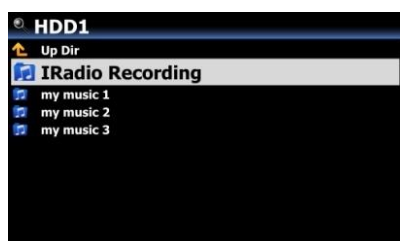
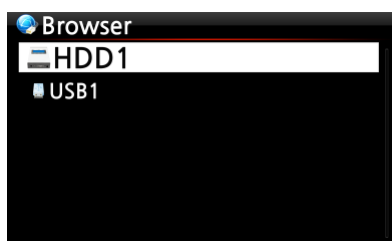
[インターネットラジオ再生中]



12-1-4-2. 録音したファイルの保存先

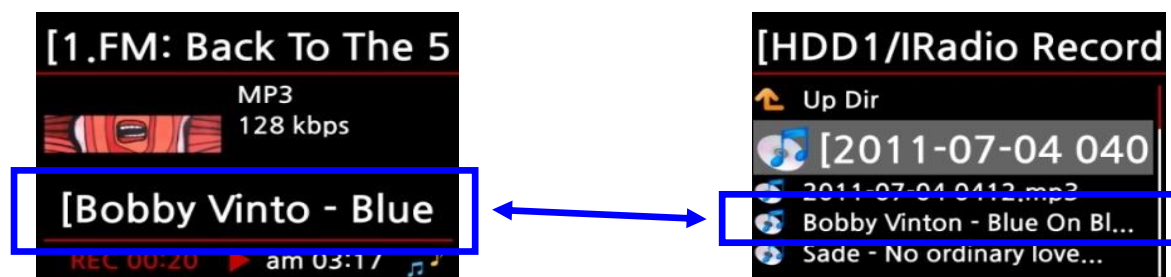
インターネットラジオから録音された全てのファイルは[IRadio Recording]フォルダに保存されます。以下の画像を参照してください。

Home画面→Browser→HDD1→ IRadio Recordingの順に選択すると録音したファイルが開けます。

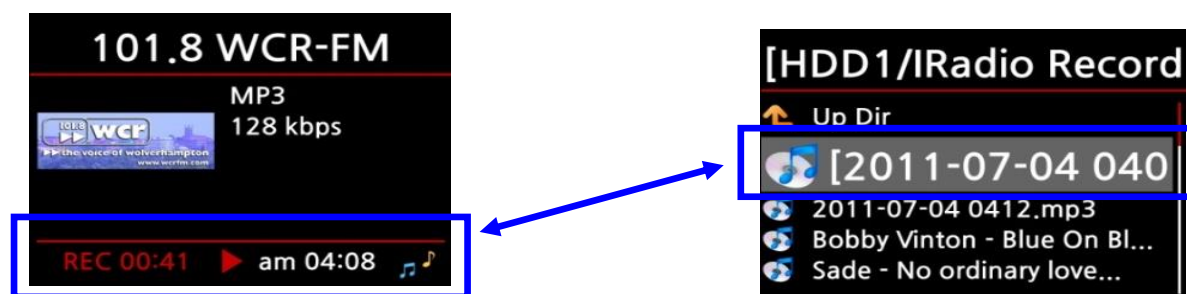


12-1-4-3. 録音したファイル名について

ステーションの放送で音楽のタイトルが表示される場合は、録音データのファイル名は表示された音楽のタイトル名になります。



ステーションの放送でタイトルが表示されない場合は、録音されたファイル名は '年 - 月 - 日 - 時間(分/秒)' となります。下の画面を参照してください。



12-1-4-4. 録音したファイルのデータ編集

ファイル管理機能を使って、録音したファイルのデータ編集が簡単にできます。

編集したい録音ファイルにカーソルを合わせ、リモコンのMENUボタンを押してください。下記のような画面が表示されます。



12-1-5. 録音予約機能

本機能はFavoriteフォルダに登録したステーションにのみ有効です。

12-1-5-1. 録音予約の設定



①Radioの‘Favorites’フォルダを開きます。

② 録音予約したいステーションにカーソルを合わせます。

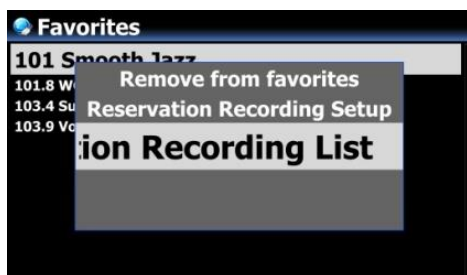


③リモコンのMENUボタンを押し、左の様なメニュー画面で、Reservation Recordを選択します。



④ 日付、時間などを入力します。

⑤ 内容を確認しOKボタンを押してください。



※ 録音予約設定の確認

Favoritesの表示画面でリモコンのMENUボタンを押してください。

メニュー画面でReservation Recording Listを選択してください。

左のような画面が表示されます。



※ 録音予約設定の表示項目

■ 08-26 13:33 ----> 録音開始日時(8月26日13:33に録音開始)

■ 1:00 -----> 録音時間(1時間)

■ 101 Smooth Jazz -----> ステーションの名前

12-1-5-2. 予約録音の開始方法

- 1) 録音予約設定後、電源がスタンバイモードになっている場合

(例: 4:00PMに3分間の予約設定をした場合)

- 3:57PMに自動的に起動を開始します。(設定時間4:00PMの3分前)
- 3:59PMに設定したステーションの再生を始めます。(設定した4:00PMの1分前)

このときボリュームは自動的にミュート状態になります。

- 4:00PMに録音を開始し、4:03PMまで録音状態を継続します。
- 4:03PMに録音を終了後すぐに、電源が自動的にスタンバイ状態になります。

- 2) 録音予約設定後、電源がONになっている場合

(例: 4:00PMに3分間の予約設定をした場合)

- 3:59PMに現在の動作(再生など)を停止し、設定したステーションの再生を始めます。
(設定した4:00PMの1分前)
- 4:00PMに録音を開始し、4:03PMまで録音状態を継続します。
- 4:03PMに録音を停止し、そのステーションを再生し続けます。

※複数のステーションを録音予約設定する場合

複数のステーションを録音予約設定することができます。

ただし、設定時刻が重複する設定は行えません。必ず互いに重複しないように設定してください。

また、上記1)、2)で説明した動作のために必要な準備時間あります。

これらの時間も考慮し、必ず余裕を持った時間設定をしてください。

(例: 4:00PMに予約録音設定をして、3:58PMに電源を切った場合は、正常動作しません。)

※ NOTE: 録音したファイルは、ハードディスクのiRadio Recordingフォルダに保存されます。

このフォルダはBrowser(ブラウザ)から確認することができます。

また、タグ編集機能を使ってファイル情報を編集することができます。

13. FMラジオ

13-1. FMラジオの再生



- ① ホーム画面でFM Radioを選択し、OKボタンを押してください。

- ② 接続すると全てのステーションを自動で検索します。

※正しく検索されない場合は設定→システム→FMブロードキャストバンドが日本になっているかを確認してください。

※ NOTE: この操作をする前にFMアンテナが正しく接続されているか確認してください。



※ 左のような再生画面で、上下矢印(UP/DOWN)ボタンでチューニングの微調整を行うことができます。

- ③ 再生したいステーションを選択し、OKボタンを押してください。

- ④ 再生状態になり、下のような画面が表示されます。



また、十字キー左右矢印(LEFT/RIGHT)ボタンで、ステーションの検索をすることができます。

※NOTE: RDSが利用できる国では、ステーションの情報が左の表示画面の赤い枠内に表示されます。

※ NOTE: ステーションリスト画面にカーソルを合わせてMENUボタンを押すと下記のようなメニュー画面が表示されます。



左の画面から、Rename(名前変更)、Delete(削除)、Seek All(全検索)、Clear & Seek All(消去と全検索)の操作を選べます。



左図は、Rename(名前変更)画面の例です。

13-2. FMラジオの録音



- ① FMラジオ再生中の画面で、リモコンのRECボタンを押すと録音が始まります。
- ② リモコンのSTOPボタンを押すと録音が停止します。

＜注意＞ 録音は44.1kHzのWAVフォーマットで録音されます。

※ NOTE: 録音されたファイルはハードディスクのMy Recordingフォルダ内のFM Radioフォルダに収納されます。

詳しくは、12-1-4-4録音したファイルのデータ編集(71ページ)

16-5 別のフォーマット(MP3,FLAC,Ogg)に変換する方法(84ページ)を参照してください。

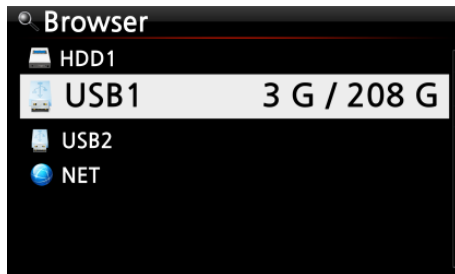
14. USBホストポート

USBポートは様々なUSBデバイスに対応しています。

(USBメモリースティック、USB外付けハードディスク、USBキーボードやUSB外付けDVDドライブなど)

- ① USBポートにUSBデバイスを接続します。
- ② ホーム画面のBrowser(ブラウザ)画面を表示すると下記のように接続したUSBデバイスが表示されます。

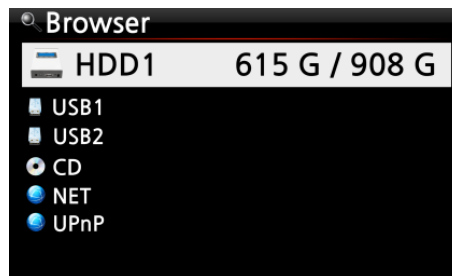
※USBキーボードやUSB DVDドライブは接続しても接続表示されませんが、使用することができます。



[USBメモリー読み込み時の画面]

15. Browser(ブラウザ)

ブラウザではMusic DB以外のHDDのデータの管理や外付けのUSB機器の確認が行えます。



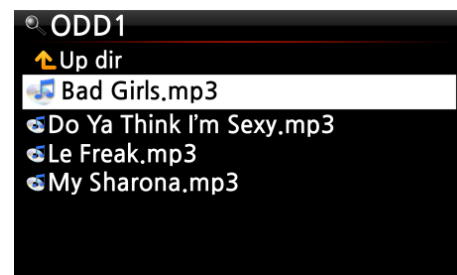
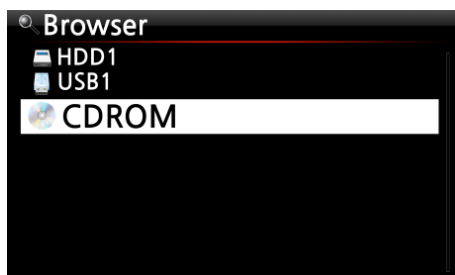
15-1. 音楽データが記録されたデータCD(DVD)の再生

カクテルオーディオでは、以下のような様々なオーディオファイルに対応しています。

例：APE/CUE、HD FLAC、HD WAV、MP3、FLAC、WAV、WMA、M4A、AAC、ALAC、AIFF、AIF、Ogg Vorbis、PCM、PLS、M3U、等々

- ① データCDをスロットに挿入してください。
- ② Homeページのブラウザアイコンを選択し、OKボタンを押してください。

下記左の画面でCDROMを選び、OKボタンを押し、再生したい曲を選び、OKボタンを押してください。

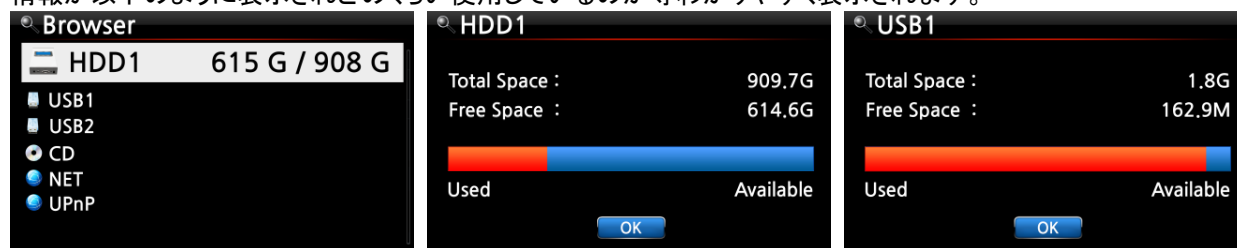


※Blu-rayディスクを読み込むことはできません。

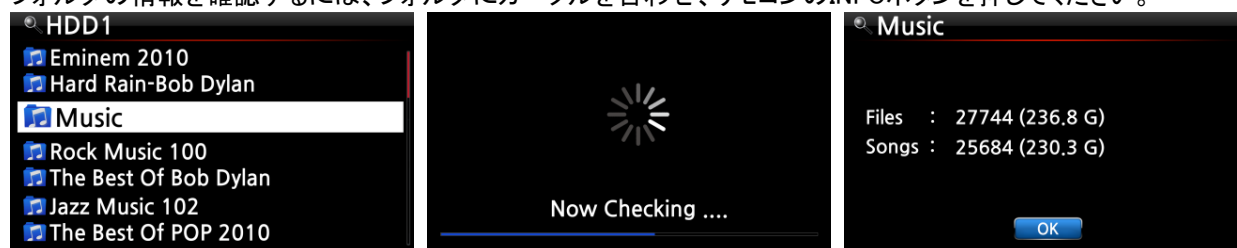
15-2. ファイルマネージメント機能

15-2-1. HDD、USB、フォルダーまたはファイルの状況確認

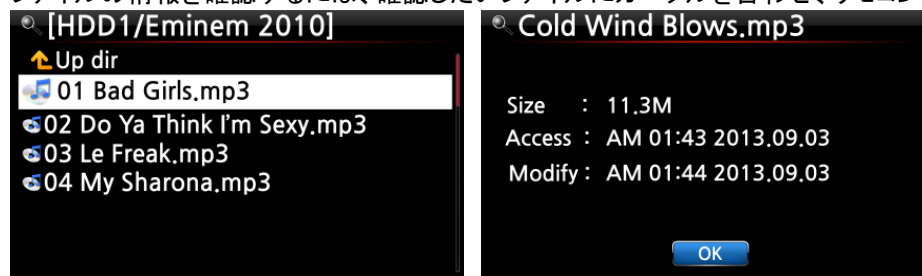
確認したいドライブにカーソルを合わせ、リモコンのINFOボタンを押してください。
情報が以下のように表示されどのくらい使用しているのか等わかりやすく表示されます。



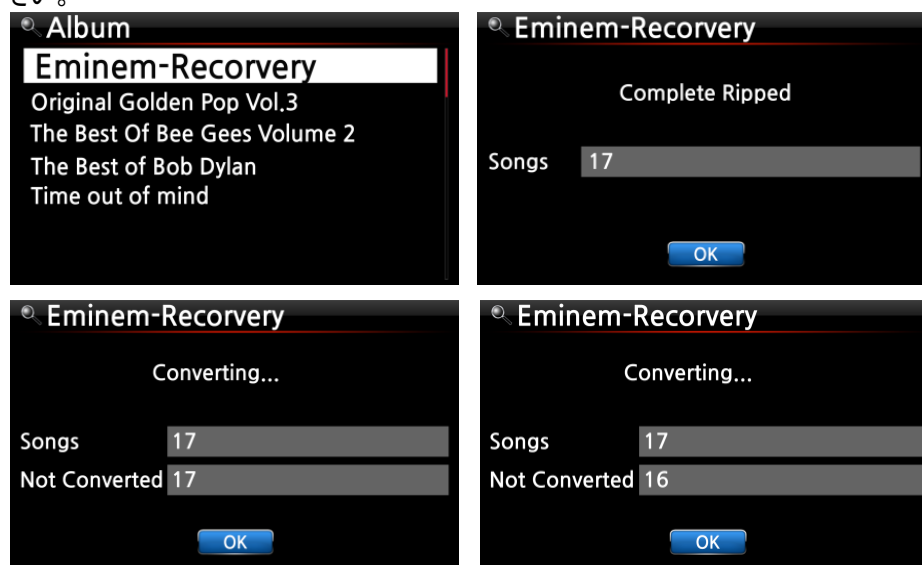
フォルダの情報を確認するには、フォルダにカーソルを合わせ、リモコンのINFOボタンを押してください。



ファイルの情報を確認するには、確認したいファイルにカーソルを合わせ、リモコンのINFOボタンを押してください。

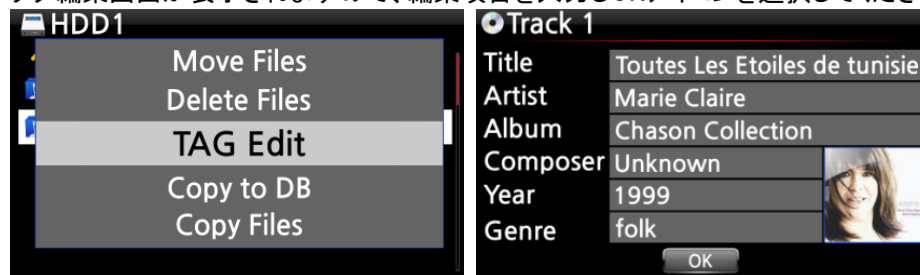


リッピング変換結果の情報を確認するには、アルバムにカーソルを合わせて、リモコンのINFOボタンを押してください。



15-2-2. タグ編集

この機能はファイルにのみ対応しており、ディスクやフォルダには対応していません。
タグを編集したいファイルにカーソルを合わせて、MENUボタンを押してください。
ポップアップメニューからTAG Edit(タグ編集)を選択し、OKボタンを押してください。
タグ編集画面が表示されますので、編集項目を入力しOKアイコンを選択してください。



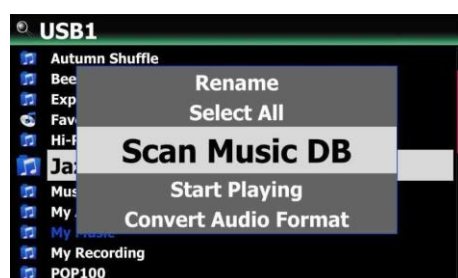
15-2-3. Music DBへ追加するには

Music DBの構成はHDDやUSBをブラウザから読み取る形式になります。
Music DBに接続したい機器を接続しScan Music DB(Music DBへ追加)をする流れになります。
※USBストレージを読みこまない場合はPCなどでバックアップを取りカクテルオーディオでストレージのフォーマットを行ってから再度接続してください。(P38 4-7-9ストレージのフォーマット参照)
Music DBに既存の音楽ファイルを追加するには



① Music DBに追加したいフォルダがあるHDDやUSBをブラウザから探します。

② 追加したいフォルダ画面にカーソルを合わせ、MENUボタンを押します。

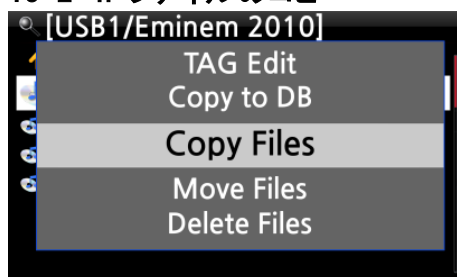


③ Scan Music DBを選ぶとバックグラウンドでスキャンが開始されます。



④ Scan Music DB で選択したフォルダは左図のように青色になります。

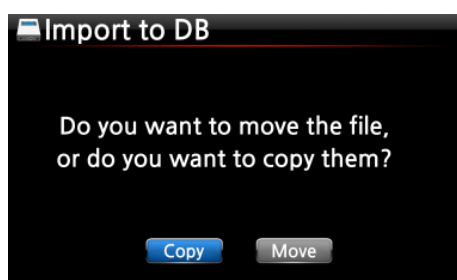
15-2-4. ファイルのコピー



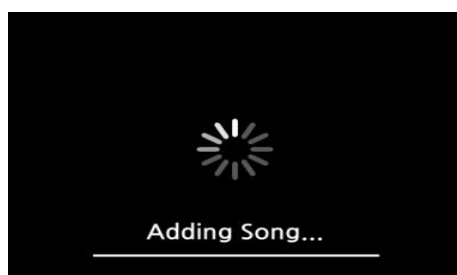
- ① 音楽ファイルをコピーするにはコピーしたいファイル、またはフォルダを選択します。
- ② リモコンのMENUボタンを押してください。
ポップアップメニューからCopy Files(ファイルのコピー)を選んで、OKを押してください。



- ③ コピー先のフォルダを選択します。内部HDDだけでなくUSBにもコピーすることができます。



- ④ フォルダの移動方法を、「Copy(コピー)」にするか、「Move(移動)」にするか、選択できます。
どちらかを選択し、Okボタンを押してください。

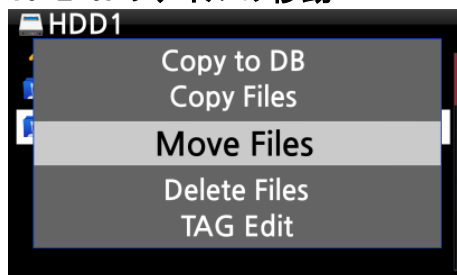


左はデータを移動中の画面です。

※ NOTE: Moveを選択した場合、インポート速度は、Copyより高速になりますが、元のファイルごと移動します。

元のファイルまたはフォルダは、移動元には残りません。

15-2-5. ファイルの移動



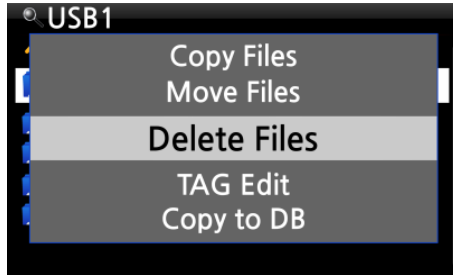
- ① ファイルを移動するには移動したいファイルまたはフォルダを選択します。
- ② リモコンのMENUボタンを押してください。
ポップアップメニューからMove Files(ファイルの移動)を選んで、OKボタンを押してください。下記の画面が表示されます。



ここから先の手順はファイルのコピー(15-2-4)と同じです。

15-2-6. ファイルの削除

以下の手順でファイルやフォルダを削除できます。



- ① 削除したいファイル、またはフォルダに、カーソルを合わせてください。
- ② リモコンのMENUボタンを押してください。

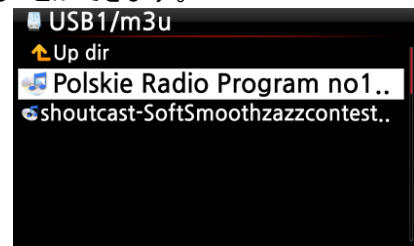
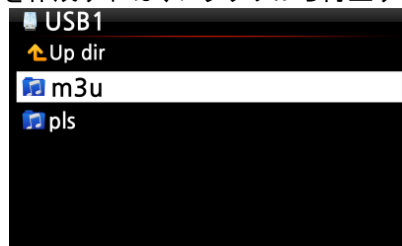
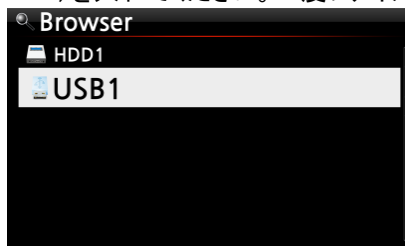
ポップアップメニューから、Delete Files(ファイルの削除)を選んで、OKボタンを押してください。

※一度削除したファイルを復元することはできません。

15-2-7. インターネット ラジオステーションのためのPLS または M3Uファイル

インターネットラジオステーションを再生する場合、PLSまたはM3Uファイルを作成する必要があります。

以下の画像を参照して、内部ストレージないし外部のUSBストレージにファイル(PLSまたはM3U)を入れてください。一度ファイルを作成すれば、ブラウザから再生することができます。



15-2-8. 音楽ファイルのフォーマット変換



※この機能はブラウザを開いているときのみ行えます

- ① フォーマット変換を行う場合は、Browser(ブラウザ)のストレージから変更します。
- ② 変換したいファイル、またはフォルダにカーソルを合わせ、リモコンの MENU ボタンを押してください。(※リモコンの右矢印ボタンを使うと、複数の曲を選ぶことができます。)
- ③ ポップアップメニューから、Convert Audio Format(ファイルフォーマットの変更)を選択し、OKを押してください。変換するフォーマットの候補リストが表示されます。
- ④ 変換したいフォーマットを1つ選択し、OKボタンを押してください。
- ⑤ 選択した形式と同じ名前のフォルダで変換されたフォーマットのフォルダが自動的に作成されます。
- ⑥ 変換された音楽ファイルがそのフォルダに収納されます。

15-2-9. 録音されたファイルのカット機能

※ NOTE: このカット機能はブラウザモードのみで動作します。

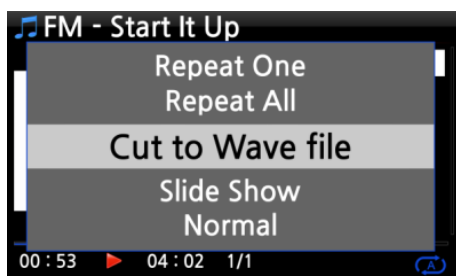


例: インターネットラジオを録音した場合

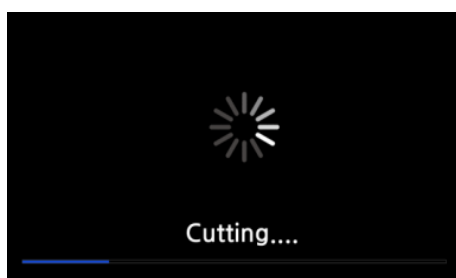
- ① BrowserのHDD1のiRadio Recordingフォルダ内に録音されたファイル(FM-Start It Up.mp3)が収納されています。
- ② 選択して再生します。



- ③ P59 7-3-5 セクション再生(セクションリピート)機能の設定の手順で切り取りたい範囲で、セクション再生を設定します。



- ④ リモコンのMENUボタンを押してポップアップメニューを表示させます。
- ⑤ Cut to Wave fileを選択し、OKボタンを押してください。



- ⑥ 動作進行中のメッセージが表示されます。

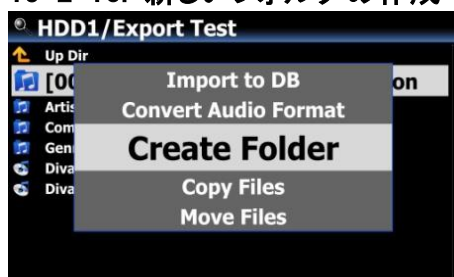


- ⑦ iRadio Recordingフォルダに移動します。

同じ名前のWaveファイルが追加されます。

※ もし、Waveファイルをカットした場合には、シリアル番号がファイル名の末尾に追加されます。

15-2-10. 新しいフォルダの作成



- ① Browser(ブラウザ)内でフォルダを作りたいHDDまたはUSBに移動します。
- ② リモコンのMENUボタンを押してポップアップメニューを表示します。
- ③ Create Folder(新しいフォルダの作成)を選択しOKを押してください。
- ④ 左の画面が表示されるので、フォルダ名を入力し、OKを押してください。



16 Input(入力)

16-1. 入力を経由して外部機器を再生する方法

カクテルオーディオでは、AUX入力、アナログ入力、フォノ入力、デジタル入力(ToslinkやCOAXIAL等)のような、様々な入力端子があり、テレビ、プレイヤー、ターンテーブルなどの外部機器を接続し再生することができます。

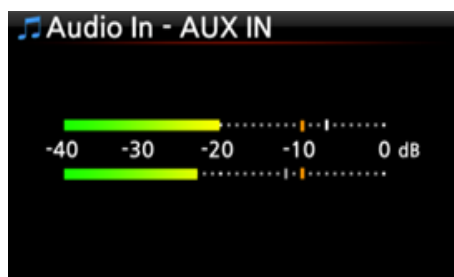


- ① 外部機器を接続します。
ホーム画面のInput(入力)を選び、OKボタンを押してください。

※ 背面には入力端子の他に出力端子もありますので、接続間違えの内容に注意してください。

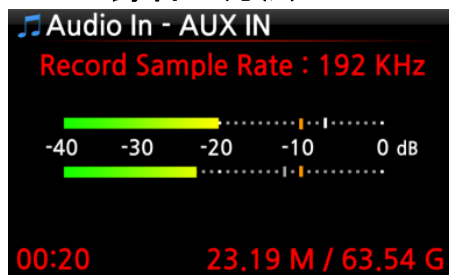


- ② 外部機器を再生可能な状態にしてください。
- ③ 入力したい端子を選択し、OKキーで確定します。



再生中は左図のような画面が表示されます。

16-2. 録音の方法



音楽を再生中に、リモコンのRECボタンを押すと、音楽の録音が始まります。

録音中は左図のような画面になります。

録音を停止する場合はSTOPボタンを押してください。

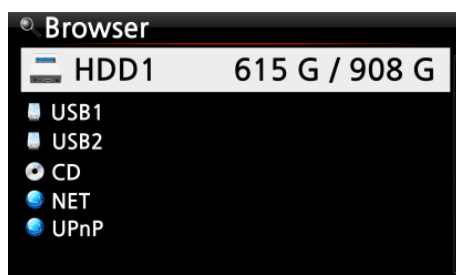
- 1) Record Sample Rate: 192KHz: SETUP(設定)での録音サンプルレートの設定に従って決定されます。
- 2) 00 : 20 : 録音した時間です。
- 3) 23.19M/2.367T: 今まで録音した累計のファイルサイズ / ストレージのトータル容量

※ 録音サンプルレートと録音ファイル情報

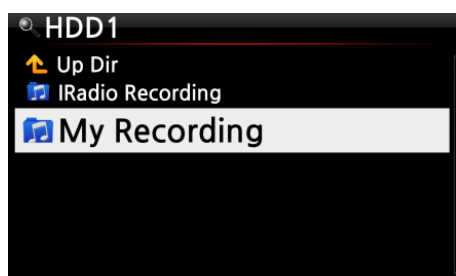
録音サンプルレート	録音ファイル			
	データ容量/ 録音時間	サンプルレート	ファイル名の構造	フォーマット
48KHz	691MB/1 時間	48kHz	年-月-日-時間	WAV
96KHz	1,383MB/1 時間	96kHz		
192KHz	2,767MB/1 時間	192kHz		

16-3. 録音されたデータの保管場所

録音した場合、録音データを収納するフォルダが自動的に作成されます。



- ① ホーム画面のBrowser(ブラウザ)アイコンを選択し、OKを押してください。
- ② HDD1を選択し、OKを押してください。



- ③ My Recording画面が表示されます。



④ ANALOG IN、AUX IN、FMラジオ、TOSLINK、PHONO INのようなフォルダがあります。

⑤ 確認したいフォルダを選択し、OKボタンを押してください。録音したファイルが表示されます。

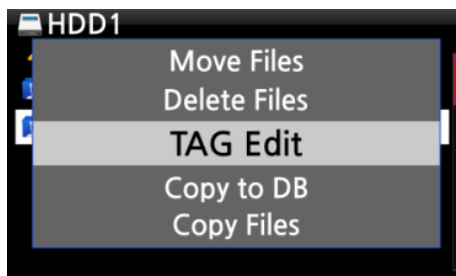


※ NOTE: フォルダは録音した際に付けられた名称で表示されます。

16-4. 録音ファイルのデータ編集



① 編集したい録音ファイル (ANALOG IN、AUX IN、FMラジオ、TOSLINK、PHONO INなど) またはフォルダー内の録音ファイルを選択し、リモコンのMENUボタンを押してください。下記のようなポップアップメニューが表示されます。



② TAG Edit(タグ編集)を選択し、OKボタンを押してください。編集画面が表示されます。



③ 編集画面で、タイトル、アーティスト、アルバム、作曲者、発売年、ジャンルなどを入力してください。

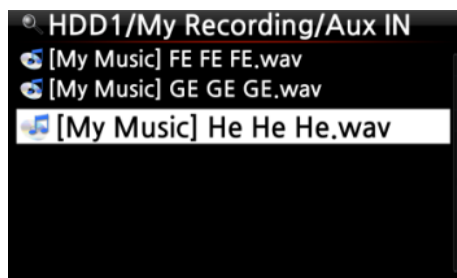
それぞれのファイルに同じのアルバム名をつけると、ファイルをリッピングした際に、全てのファイルがMusic DB内の同じアルバム名のフォルダに収納されます。

※ 編集したファイル名は、[アルバム名]+タイトルに変更されます。

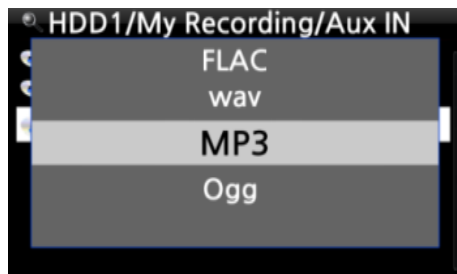
※ リモコンやキーボードやMusic X NEOなどでタグ編集が可能です。

16-5. 録音ファイルを別のフォーマット(MP3, FLAC, Ogg)に変換する方法とそのファイルをMusic DBやストレージに移動させるには

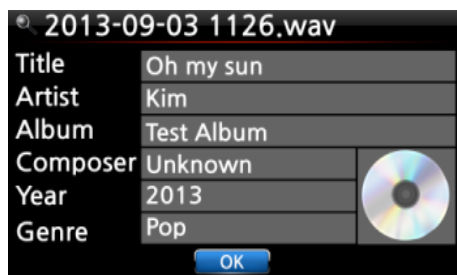
※ NOTE: 記録されたファイルフォーマットを変換する前に、まず録音したファイルを編集してください。



- ① フォーマットを変換したいファイルにカーソルを合わせ、リモコンのRIPボタンを押してください。
ポップアップメニューが表示されます。



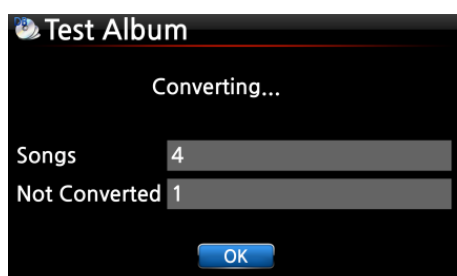
- ② 変換したいフォーマット(MP3、Ogg、FLAC、WAV)を選択しOKボタンを押してください。



- ③ 編集画面が表示されます。
編集する項目が存在しない場合はOKを押してください。



- ④ ファイルがMusic DBにロードされ始めます。
⑤ ホーム画面上のMusicDBアイコンに移動し、Albumを選択し、OKボタンを押して、Albumリスト表示させてください。



- ⑥ Test Album (編集段階で付けたアルバム名)を選び、INFOボタンを押してください。
左のような変換状態の表示が画面に表われます。

16-6. USB DAコンバータ(DAC)として使用する方法(X45 X45Proのみ)

※ 注意(352.8kHzと384kHzのファイルがUSBオーディオ入力を介し、デジタル出力される場合はノイズが発生する可能性があります。DACとして使用する場合は、デジタル出力を使用しないでください)

16-6-1. USBオーディオクラス2.0ドライバーソフトウェアインストールする

Windows PCでUSB DACとして使用するには、Windows OS用のUSB Audio Class 2.0ドライバーソフトウェアをインストールする必要があります。

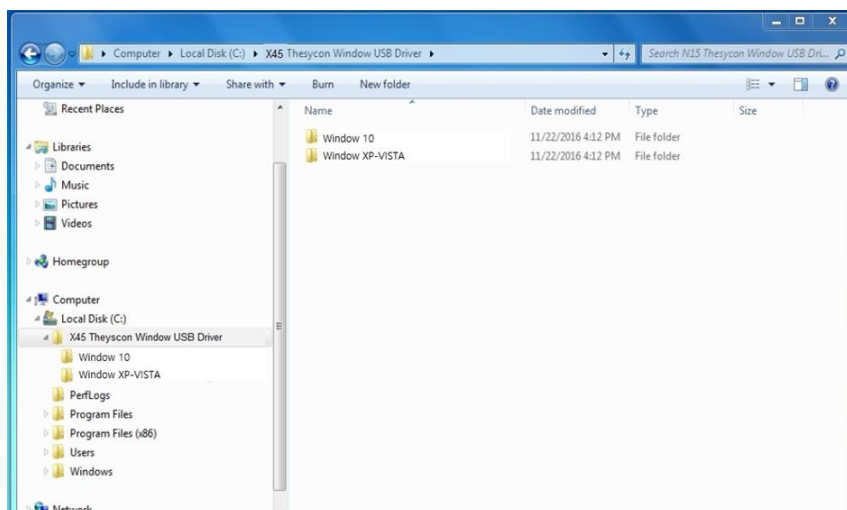
※既にインストールされている場合はインストールする必要はありません。

Novatron 公式ホームページからダウンロードできます。

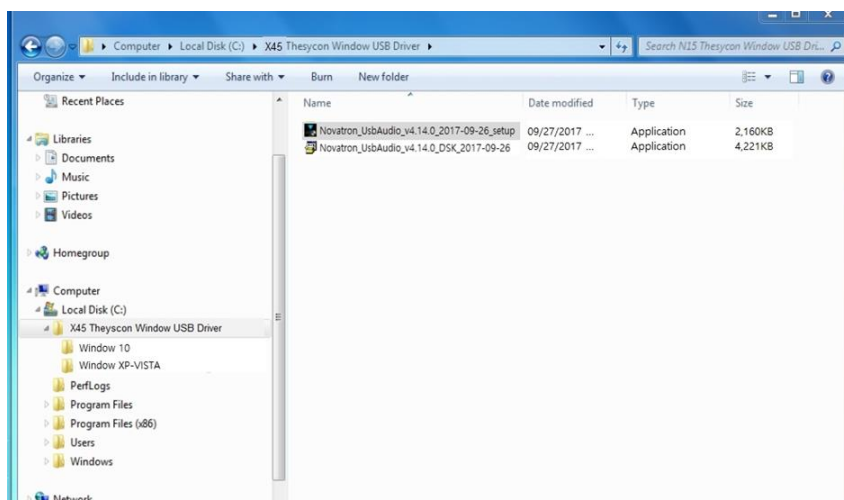
既にインストールされている場合もありますので必要に応じてダウンロードしてください。

https://www.cocktailaudio.com/home/bbs/board.php?bo_table=Driver

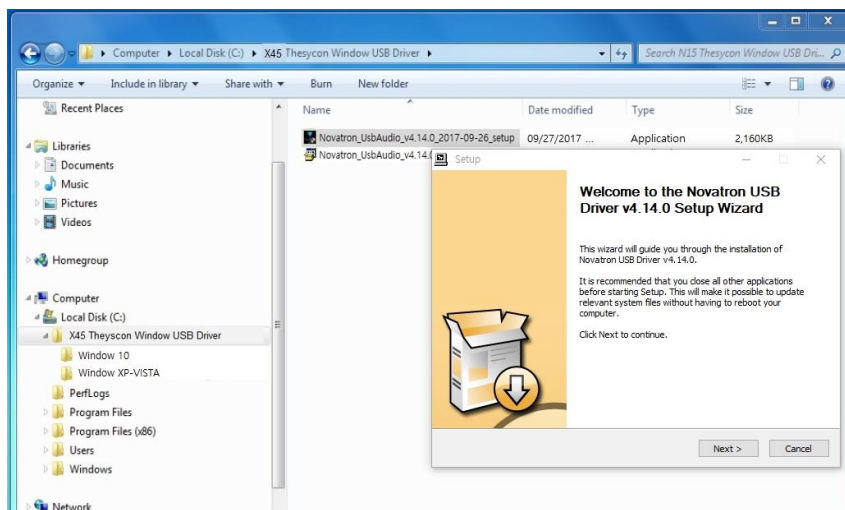
ダウンロードしたドライバソフトウェアを解凍します。2つのフォルダが以下のように表示されます。



お使いのPC OSに適したものを選択しexeファイルをダブルクリックしてインストールしてください。

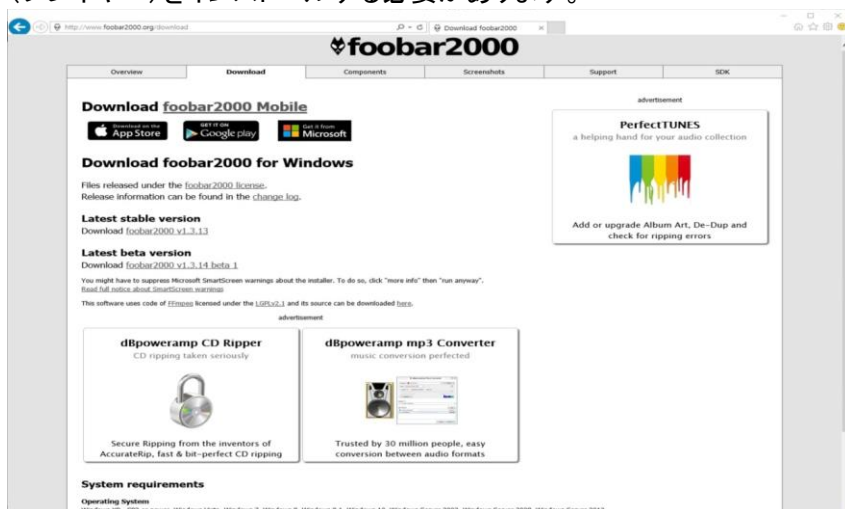


セットアップウィザードに従って、次のようにインストールを完了させます。



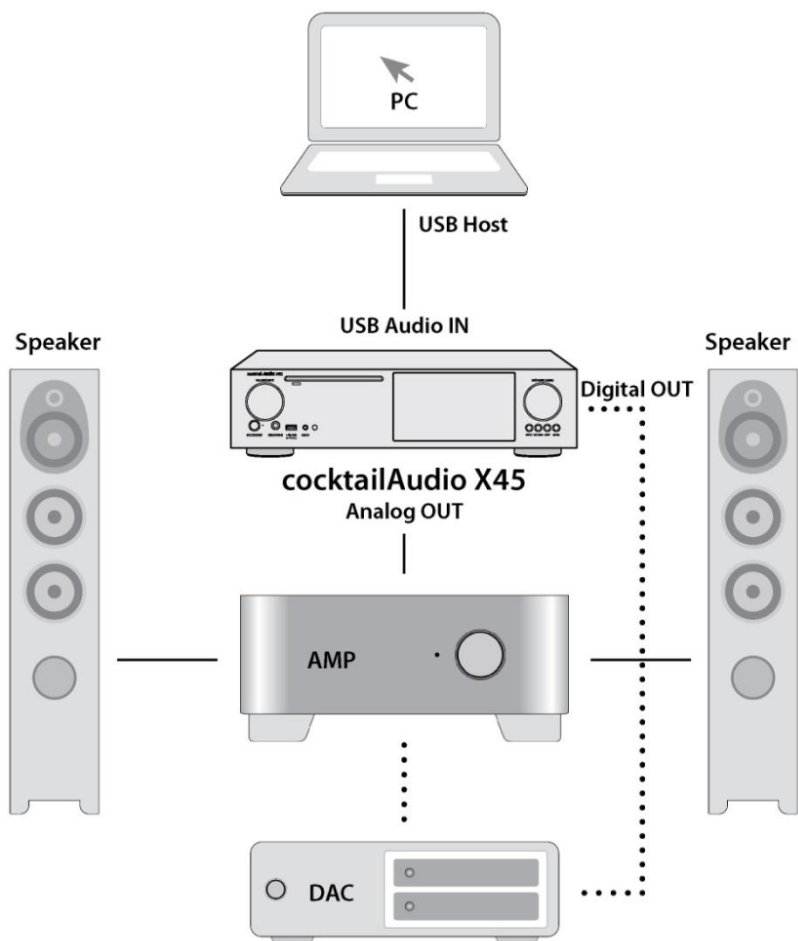
16-6-2. Windows PC上のDSDファイル用の特別なソフトウェア(Player)

PC上でDSDファイルを再生するには、Foobar2000やJRiver Media Centerのような特別なソフトウェア(プレイヤー)をインストールする必要があります。



※上記はPC上でのFoobar2000の画面です

※接続の一例



- ① Windows PCにUSB Audio 2.0ドライバソフトウェアをインストールします。(12ページの2-3を参照)
- ② PCにDSDファイルを再生したい場合は、foobar2000のような再生可能なソフトウェア(Player)をインストールしてください。(12ページの2-3を参照)
- ③ カクテルオーディオ(USBオーディオ入力)とPC(USBホストポート)をUSBケーブルで接続します。
- ④ ホーム画面の入力からUSB DACを選択、PC側で音楽を再生します。

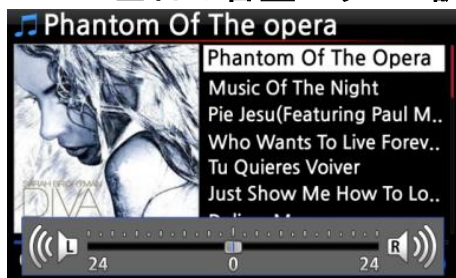
※ NOTE

352.8kHzと384kHzのファイルが、USBオーディオ入力を介して、デジタル出力される場合、ノイズが発生することがあります。

USB DACとして使用する場合は、デジタル出力を使用しないでください。

17. 特殊機能

17-1. 左右の音量バランス調整



- ① 再生画面で、リモコンのVOL BALボタンを押して、音量バランス調整画面を開いてください。
- ② 音量バランス設定画面で、リモコンの左右矢印ボタンで、左右の音量を調整することができます。
- ③ 設定した後、任意のボタンを押すと、設定は保存されて、設定画面から通常画面へ移動します。

17-2. 外部ディスプレイへの画面出力

操作画面をテレビなどの外部の大画面で表示したい場合は、HDMI出力を外部画面機器に接続します。



※ 初期設定: 本体画面とHDMI出力の両方が動作します。

※ リモコンのSCREENボタンを押すごとに、下記の様に動作モードが変わります。

初期設定--->本体画面のみ--->HDMI出力のみ--->初期設定

※ 電源を切っても、設定した状態は保持されます。

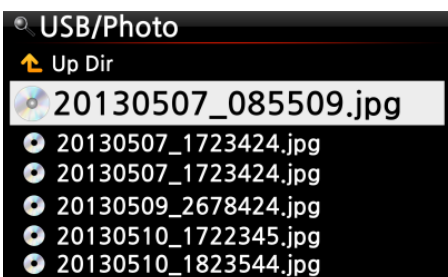
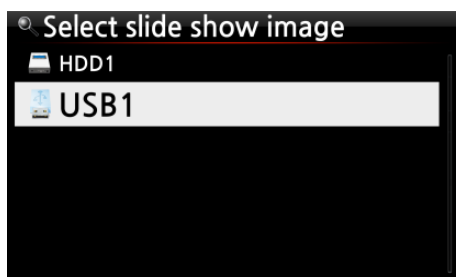
17-3. 写真のスライドショー



- ① 内部ストレージか、USBに写真ファイルを準備してください。
- ② 音楽再生中に再生画面で、リモコンのMENUボタンを押してください。



- ③ ポップアップメニューから、[Slide Show]を選択し、OKを押してください。
- ④ 写真ファイルを選択するためのガイドが表示されます。
- ⑤ 1枚目の写真ファイルを選択し、OKボタンを押してください。スライドショーがスタートし、そのフォルダ内の全ての写真ファイルを映します。



※ NOTE: 「Slide Show Effect」と「Slide Show Time」の設定はSETUP画面で行えます。

17-4. アルバムカバーアート表示とテキスト表示

リモコンのTEXT/ARTボタンを押すことで、情報のテキスト(文字)表示とアルバムカバーアート表示を切り替えることができます。

下記のように、テキスト表示モードと、カバーアート表示、2つのモードから選択できます。



[テキスト表示]



[アルバムカバーアート小]

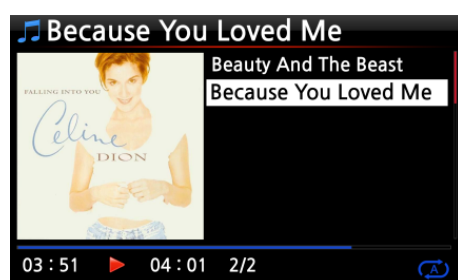


[アルバムカバーアート大]

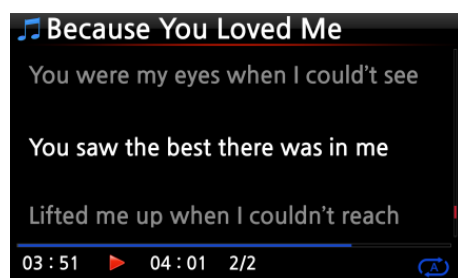
17-5. 歌詞の表示機能

LYRICS機能は、音楽再生中の画面上で歌詞を表示する機能です。

この機能は、曲のデータが歌詞ファイル(.LRCファイル)を有している場合に限り、有効です。



- ① 再生画面で、リモコンのLYRICSボタンを押してください。
歌詞は、以下のように表示されます。
- ② LYRICSボタンをもう一度押すと再生画面に戻ります。



※ NOTE 1: LYRICS機能は、ブラウザモードのみで動作します。
Music DBモードでは動作しません。

※ NOTE 2: 画面上の歌詞が文字化けしている場合は、
OSDの言語設定とLRCファイルの言語を
チェックする必要があります。

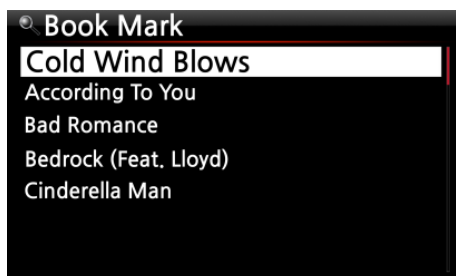
17-6. ブックマーク

再生中のファイルにブックマークを付ける機能です。

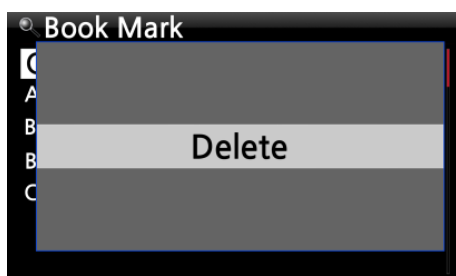
この機能はAudio Booksのような長時間ファイルに使用すると便利です。



- ① 再生画面でリモコンのBOOKMARKボタンを押してください。
- ② ブックマークされた音楽は下のようなブックマークリストに
収納されます。



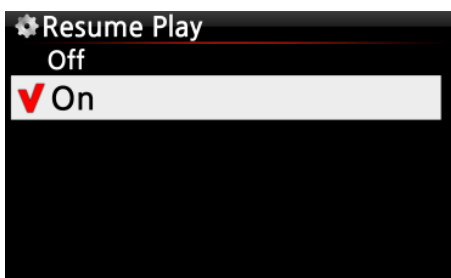
- ③ ブックマークした曲を再生したい場合は、再生画面を除く画面（ホーム画面など）で、リモコンのBOOKMARKボタンを押してください。



- ④ ブックマークした曲を削除したい場合は、ブックマークリスト画面で、リモコンのMENUボタンを押してください。
- ⑤ Delete(削除)を選択し、OKボタンを押してください。

17-7. レジューム再生

起動時に、前回最後に音楽を停止した位置から音楽再生を再開する機能です。
Music DB、Browser、インターネットラジオで動作します。



System表示画面で
Resume Playを
選択し、OKボタンを押し
てください。左のようにOn
を選択し、設定します。

※初期設定: Off

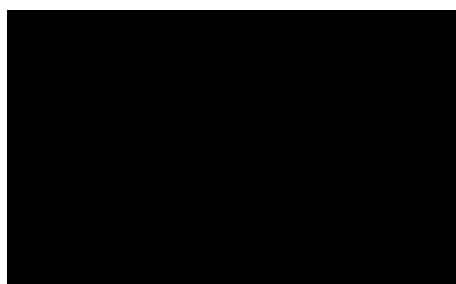
- 【 TIP 】 ※ この機能は‘Alarm(アラーム)’機能や‘Auto Play(自動再生)’機能が設定されていると動作しません
※ 機能の優先順序 : Alarm機能 > Auto Play機能 > Resume Play機能

17-8. 時計表示機能およびディスプレイOFF機能



再生中にリモコンのCLOCKボタンを押してください。
左の画面のように、デジタル時計が表示されます。

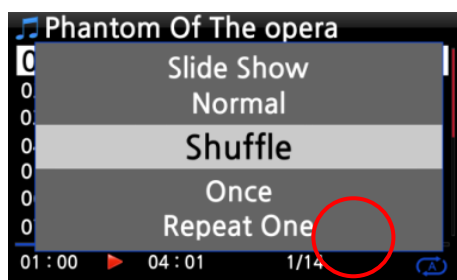
※時刻が狂っている場合は設定→時間を確認してください。



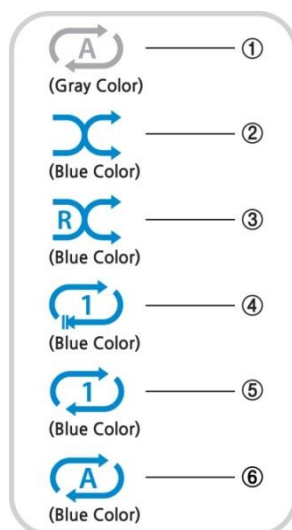
もう一度CLOCKボタンを押すと、左の画面のように、画面表示オフモードになります。
夜などに音楽を聴く際に、表示画面の明るさが気になる場合などに便利です。
リモコンのいずれかのボタンを押すと、画面表示OFFモードが解除され、通常の画面表示に戻ります。

表示画面OFFモード

17-9. 再生モードの変更



- ① 再生モードを切り替えるには、再生画面でMENUボタンを押し、メニューから再生モードを選択してください。
- ② また、別の切り替え方法として、リモコンのSHUFFLEボタンを押すことで、ポップアップメニューを使用せずに、再生モードの変更ができます。

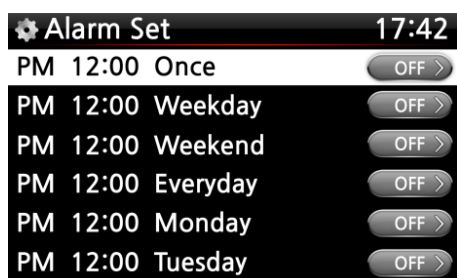
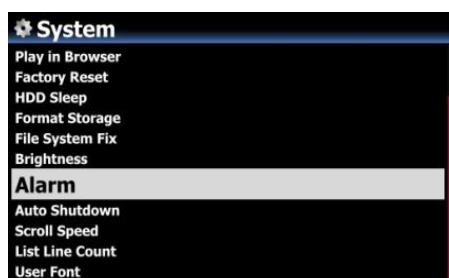


表示マークの説明

- ① Normal: アルバムまたはフォルダー内の全ての音楽を順番に1回再生します。
- ② Shuffle: アルバムまたはフォルダー内の音楽をランダムに再生します。リピート動作はしません。
- ③ Random: アルバム、またはフォルダ内の音楽をランダムにリピート再生します。
- ④ Once: 現在再生中の曲を1回だけ再生します。
- ⑤ Repeat One: 現在再生中の曲を繰り返します。
- ⑥ Repeat All: アルバム内またはフォルダ内の全曲を順番通りに繰り返し再生します。

17-10. アラーム機能の設定

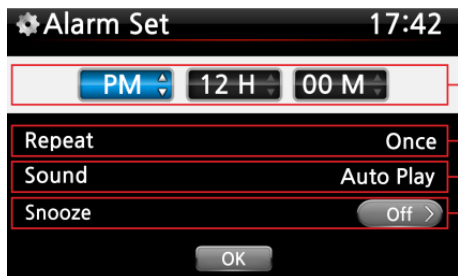
アラーム設定では6種類のアラーム機能を設定することができます。



- ① ホーム画面→Setup(設定)→System(システム)→Alarm(アラーム)の順に選択し、OKを押してください。Alarm Set 画面が表示されます。
- ② 設定したい項目を選択し、OKボタンを押してください。下のような設定画面が表示されます。

※ NOTE: 設定する時間は最短でも、現在時刻より10分後に設定してください。

- ③ 時間、アラーム回数、鳴らす音楽ソースをそれぞれ設定してください。
- ④ Snooze(スヌーズ)をOnに設定してください。
- ⑤ OKを選択してください。



設定画面の説明

- ① リモコンの上/下ボタンで時間を設定します。
- ② 繰り返し動作か1回だけ動作かを選択し、OKボタンを押して決定します。
- ③ プレイリストまたはiRadio (My Favorites)からアラーム音を選択します。
- ④ スヌーズのON/OFFを設定します。



※ NOTE: 設定表示の説明

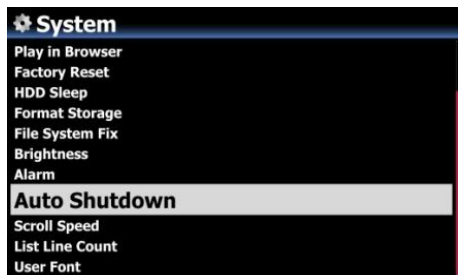
A : アラーム

2 : 2

D : 日

左の表示は、“アラームが2日後に設定されている”という意味です。

17-11. オートシャットダウン



この機能は、設定された日時に自動的に電源が切れる機能です。

※ NOTE: 詳細は(P40 4-7-13オートシャットダウン)を参照してください。

17-12. スリープモード



- ① 任意の画面(Setup画面を除く)で、リモコンのSLEEPボタンを押すとボタンを押すごとに、ポップアップメニューの形式で、表示されます。

Sleep Off / Sleep 10Min / Sleep 20Min / Sleep 30Min
Sleep 1Hour / Sleep 2Hour / Sleep 3Hour

- ② 最後に選ばれたモードが設定されます。

※NOTE: 設定後、下記のようなアイコンが表示されます。



※ NOTE: スリープ表示の説明

S : スリープ

56 : 56

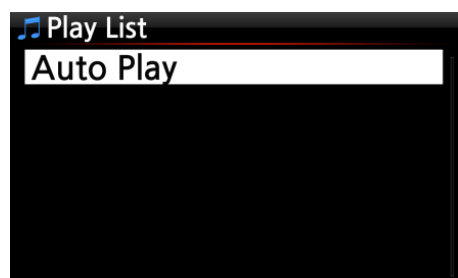
M : 分 (Minites)

左の表示は、“56分後にスリープモード”(電源が切れた状態)に移行する”という意味です。



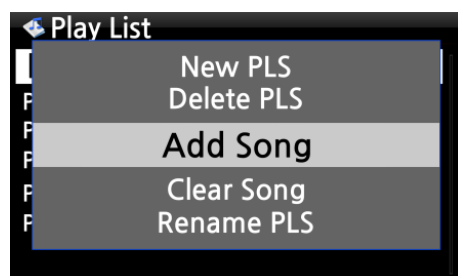
17-13. オートプレイ

この機能は、電源を入れると自動的に起動し、Auto Play フォルダにある音楽データを自動的に再生する機能です。



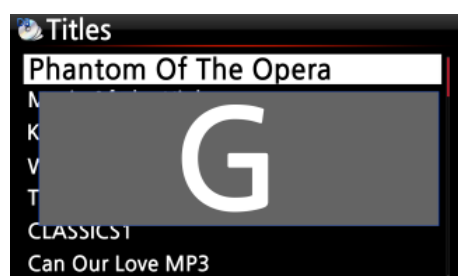
- ① ホーム画面からPlay List(プレイリスト)を表示します。
- ② Auto Playにカーソルを合わせ、リモコンのMENUボタンを押してください。
- ③ Add Songを選択して、OKボタンを押してください。
- ④ オートプレイしたい曲にカーソルを合わせてください。
- ⑤ カーソルの最後にプラス(+)マークが表示されたら、OKボタンを押してください。
音楽データの表示が消え、Auto Playに追加されます。
- ⑥ Setup(設定)に移行し、Auto PlayをOnに設定してください。

※ 初期設定：Auto Play: Off



17-14. アルファベット検索

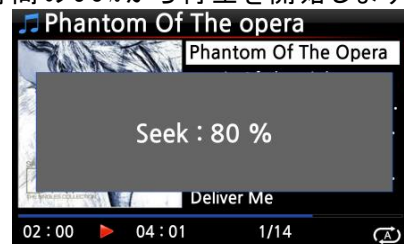
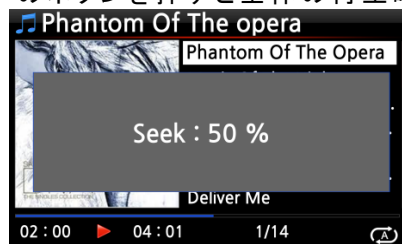
それぞれのリスト画面でリモコンのアルファベットボタンを押すとそのアルファベットで始まる名前のファイルの最初のファイルに移動します。(詳細は下画面を参照してください)



17-15. 再生画面での検索機能

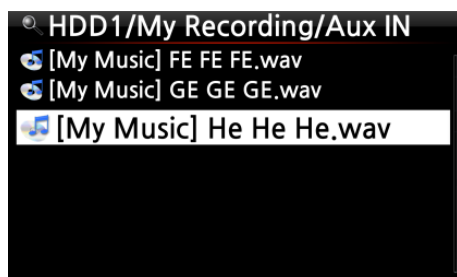
再生中の画面で、リモコンの数字ボタンを押すことで、検索機能を起動させることができます。

例えば、ファイルの再生中に“5”のボタンを押すと全体の再生時間の50%から再生を開始します。



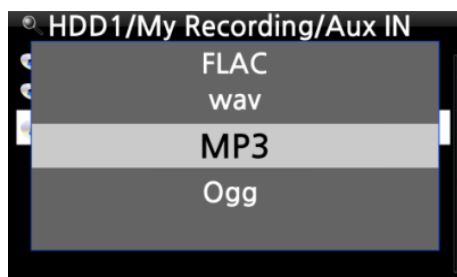
17-16. 別のフォーマット(MP3、FLAC、Ogg)に変換する

※ NOTE: 記録されたファイルフォーマットを変換する前に、まず録音したファイルを編集してください。



① ホーム画面からブラウザ→My Musicを選択します。
※ブラウザのMy music のみ変換の選択画面が出ます

② 変換したい音楽ファイルにカーソルを合わせ、MENUボタンを押します。また、リモコンの矢印キー右ボタンを押すと選択した音楽ファイルがオレンジ色に変わり複数選択できるようになります。



③フォーマットの変更を選択し、変換したいフォーマット(FLAC、WAV、MP3、Ogg等)を選び、OKボタンを押してください。

17-17. 録音済みファイルのカットニング

録音したインターネットラジオのファイルや他のカクテルオーディオで録音したファイルをそれぞれのトラックにカットする機能です。自動的にカットする機能とマニュアルでカットする機能があります。

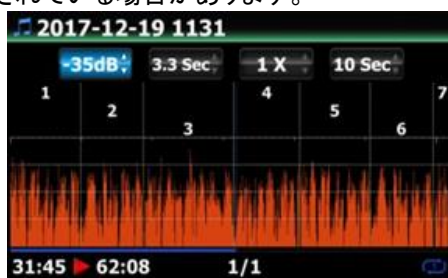
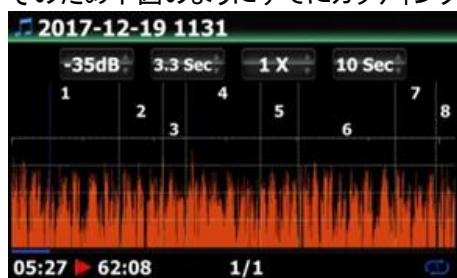
※ 注意: この機能は、ブラウザモード上でのみ有効です。



ホーム画面からブラウザを選択、カットしたいファイルを選択し、カーソルを合わせます。

MENUボタンを押して、“Multi-Cut to wav…”(WAVEファイル分割)を選択してください。するとファイルの波形分析が開始されます。

カクテルオーディオではマルチカットをする際に自動でカットポイントを設定してくれる機能が搭載されています。そのため下図のようにすでにカットニングされている場合があります。



この場合設定のMENUボタンを押し上記の4つの設定項目を変更して自動カットポイントを調整します。

各々の設定は左から

※ -. -35 dB: オートカットの最大音量dB値

設定範囲: -30dB~-40dB

※ -. 4.0 Sec: 上記設定値の継続時間

設定範囲: 0.1 ~5 秒

例えば、-35dB、4.0Secと設定した場合、-35dB以下の音量が4秒以上継続したポイントでカットポイントが自動的に設定されます。

※ -. 1 X: 波形グラフ表示のズーム表示の倍率

1X, 2X, 4X, 8X, 16X ~128Xの設定が可能

※ -. 1 Sec: 再生ポイントを左/右矢印ボタンで動かした時にレベル監視する時間幅

設定範囲: 0.1~30秒

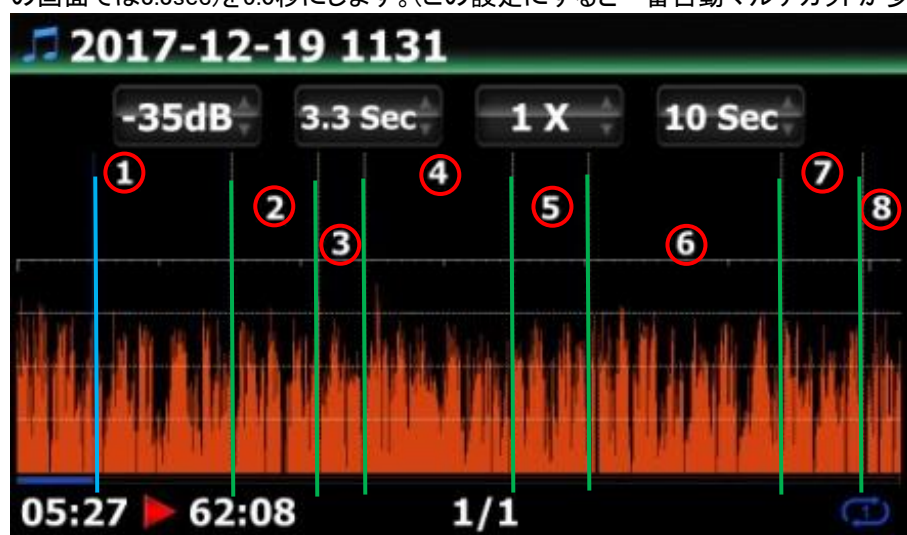
-. 1/2/3/4/5: カットされるトラック数

-. グリーンの縦線(棒線): カットポイント

-. ブルーの縦線(棒線): 現在の再生ポイント となります。

上手くマルチカットできない場合はもう一度MENUボタンを押し設定をいったん解除します。

すべてのマルチカットは自動状態では完全に消せないなので限りなく少なくする場合は設定のdBを40dB、秒数(この画面では3.3sec)を5.0秒にします。(この設定にすると一番自動マルチカットが少なくなります)



この場合は赤丸で囲った通りの8分割です。

緑色の縦線がカッティング設定した時間です。

※青色の縦線が現在の時間です。わかりやすいように色を強調してあります。

この時の各ボタンの機能が

MENU ボタン: 4つの設定項目の有効/無効(有効/無効というのは上記の自動カッティング設定か手動カッティング設定かの切り替えのことです)を切り換えます。

設定項目が有効になっている場合(自動カッティングのdBや秒数を決める場合)

〈カクテルオーディオ本体のボタン〉

-. OK: 次の設定項目に移動します。

-. JOG回転: 設定項目の数値をアップ/ダウンします。

-. MENU: 設定項目を無効にします。

〈リモコンのボタン〉

-. OK: 次の設定項目に移動します。

-. LEFT/RIGHT: 左右の設定項目に移動します。

-. MENU: 設定項目を無効にします。(自動設定と手動設定の切り替えです)

設定項目が無効になっている場合(手動でカッティングする場合)

＜カクテルオーディオ本体のボタン＞

- . OK: PLAY/PAUSEを切り換えます。
- . JOG回転: 4番目の設定項目に従って現在再生中ポイントを探します。
- . JOGを押して回転: カットポイントを探します。
- . MENU: 設定項目を有効にします。

＜リモコンのボタン＞

- . OK: 動作しません。

左/右矢印: 4番目の設定項目に従って現在再生中ポイントを探します。(カーソル移動)

- . 上矢印: 現在再生ポイント(ブルーの縦線)をカットポイント(グリーンの縦線)に設定します。
- . 下矢印: 10秒以内かつ最も近いカットポイントを削除します。
- . MENU: 設定項目を有効にします。

設定項目の有効/無効にかかわらず働く機能

＜カクテルオーディオ本体のボタン＞

- . INPUT: 現在再生ポイント(ブルーの縦線)をカットポイント(グリーンの縦線)に設定します。
- . STOP: 10秒以内かつ最も近いカットポイントを削除します。

＜リモコンのボタン＞

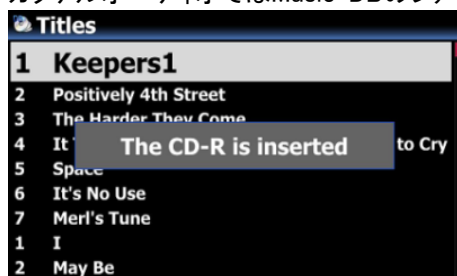
- . NEXT/PREVIOUS: カットポイントを左右に移動します。
- . -15/+15: もととの機能どおりに動作します。
- . CAP/NUM: 数字ボタンのモードをパーセント検索モードかトラックジャンプモードに切り換えます
- . 数字ボタン:
 - * パーセント検索モードの場合: 表示エリアの0%、10%、20%を検索します。
 - * トラックジャンプモードの場合: それぞれのカットエリアの開始点を検索します。

つまり、区切る秒数でリモコンの上ボタンを押し区切り線(緑の棒線)をつけて、下ボタンで不要な区切り線を手動で解除してマルチカットしていくという流れになります。

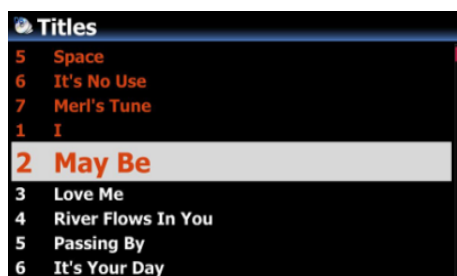
一通り区切り線をつけ終わったらキャンセルを押します。すると「カッティングポイント設定でマルチカット作業を実行しますか？」と聞かれるのでOKを選択しフォーマットファイルの選択をするという流れになります。

17-18. オーディオCD作成機能

カクテルオーディオではMusic DBのファイルなどからCDを作成することが可能です。



- ① 未記録(空)CD-R ディスクを CD スロットに挿入してください。
- ② 左のような CD-R ディスク検出メッセージが出るまで待ちます。

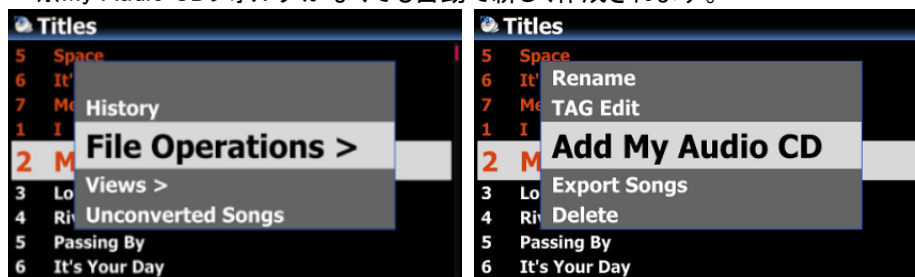


- ③ 録音したいファイル(トラック)を探し、カーソルを合わせます。ファイル(トラック)リスト上でリモコン右矢印ボタンを押すと、複数のファイルを選択することができます。またMENUボタンを押しSelect All(すべてを選択)するとその範囲すべてのファイルが選択されます。
※選択したファイル名はオレンジ色になります。

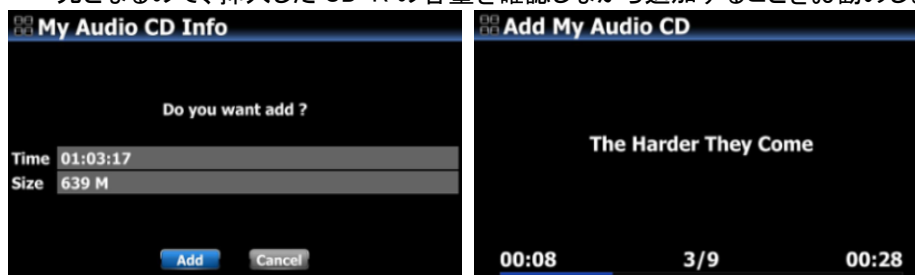
- ④ ファイルの選択が完了したら、MENU ボタンを押してください。

下図のようなメニュー画面から、Add My Audio CD(My Audio CD に追加)を選択してください。選択したファイルがMy Audio CDフォルダに移動します。

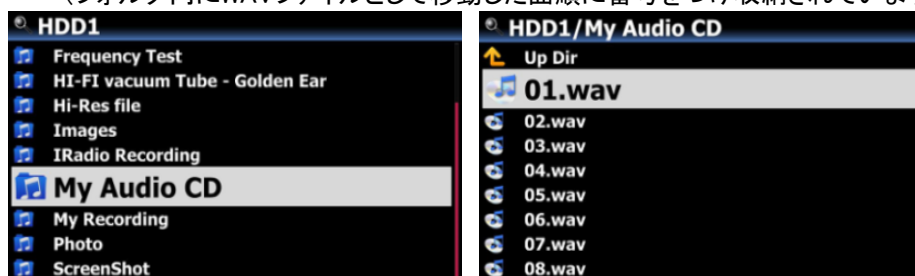
※My Audio CDフォルダがなくても自動で新しく作成されます。



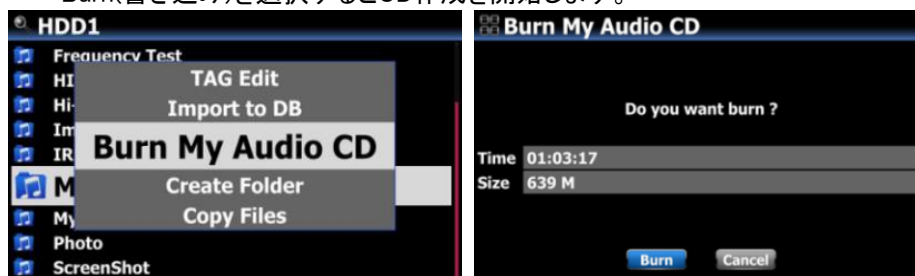
- ⑤ 曲を追加する際に現在の情報が出ます。Size(容量)以上のデータは CD に焼くことができず書き込み不良の元となるので、挿入した CD-R の容量を確認しながら追加することをお勧めします。



- ⑥ Browser(ブラウザ)画面に移動し、HDD→My Audio CD フォルダを選択します。
(フォルダ内にWAVファイルとして移動した曲順に番号をつけ収納されています)



- ⑦ My Audio CD フォルダにカーソルを合わせ、MENU ボタンを押してください。
メニューからBurn My Audio CD(My Audio CDの書き込み)を選択してください。
Burn(書き込み)を選択するとCD作成を開始します。



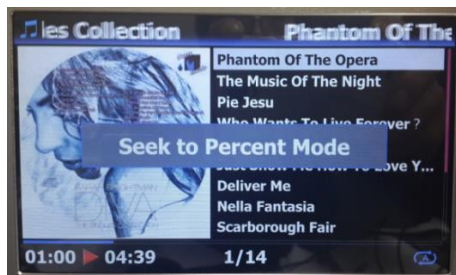
※NOTICE: 次回新たなCDを作成する場合は、My Audio CDフォルダを空にしてから行ってください。

※書き込みを行ったCDを他のCD RipperやPCで読み込むと文字化けしている場合があります。

これは読み込む側とのフォントフォーマットの問題です。トラック表示や音は正常なのでCDプレーヤーで聞いてください。

※データCDイメージの作成とは違う作業です。

17-19. 再生画面でのジャンプ機能



再生画面では2つのジャンプモードを切り換えて使えます。

再生画面上でリモコンのCAP/NUMボタンを押してください。

曲ジャンプモード(Jump to a Song Mode)とパーセント検索モード(Seek to Percent Mode)が交互に切り換わります。



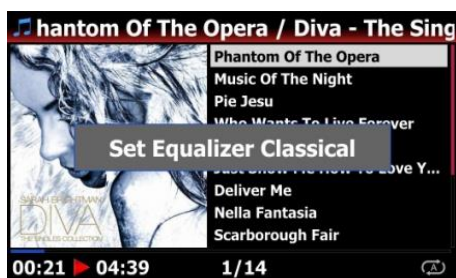
*Jump to a Song Mode : 数字ボタンを押すと、押した数字の曲にジャンプします。

*Seek to Percent Mode : 数字ボタンを押すと、再生中の曲の相当する再生位置に移動します。



17-20. プリセット E.Q(イコライザー)(X35のみ)

音楽再生中にリモコンのPRESET EQボタンを押してプリセットEQのモードを切り換えることができます。



初期設定はNormalです。

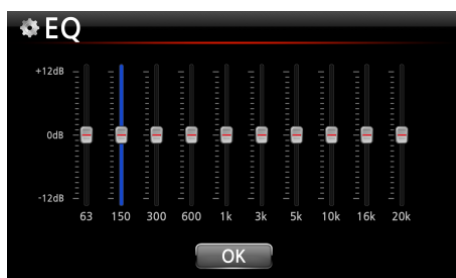
PRESET EQボタンを押すごとに下記のようにモードが切り換わります。

Normal → Classical → Club → Concert Hall → Dance → Live → Party → Pop → Reggae → Rock → Soft → Soft Rock → Techno → Bass → Bass & Treble → Treble → Vocal → Custom EQ → Normal

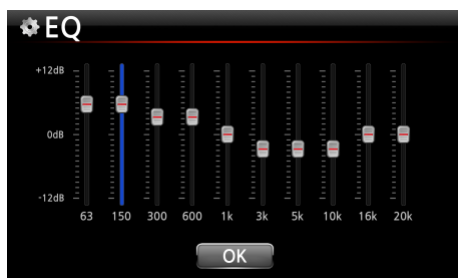
※ NOTE: プリセットEQはスピーカー出力にのみ有効です。

17-21. カスタム E.Q(イコライザー)(X35のみ)

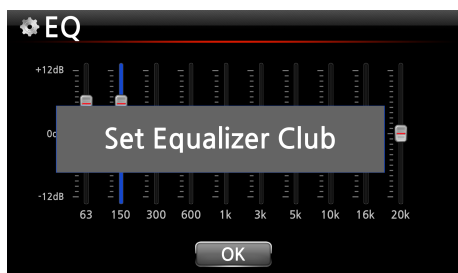
イコライザー設定をカスタム設定することができます。



- ① リモコンのCUSTOM EQボタンを押して、左のようなカスタムEQ画面を表示します。
- ② それぞれの周波数のレベルは、リモコンの上/下矢印(UP/DOWN)ボタンで設定します。
- ③ 周波数は、リモコンの左/右矢印ボタンで選択します。
- ④ 設定が完了したら、リモコンの左/右ボタンでOKアイコンにカーソルを合わせてください。
- ⑤ OKボタンを押してください。



※NOTE: プリセットEQとカスタムEQカスタムEQ画面で、リモコンのPRESET EQボタンを押し、プリセットEQから好みに近いEQモードを選択するとイコライザーのカスタム設定がしやすくなります。



18. Multi-room (Group Play) 機能

マルチルーム(グループプレイ)は、DSD、MQA、HDFLAC、WAVなどの音源でも自宅のどの部屋のカクテルオーディオでもワイヤレスでシームレスに再生することができる機能です。

Group Play 機能を使えば、複数のカクテルオーディオを使い同じ曲を同期させて再生することができます。

※マルチルーム再生する場合クライアントデバイスのサンプルレートは 48kHz となります。

※マルチルームで再生できるサービスとできないサービスがあります。

-再生できる: MusicDB、ブラウザ(USB ストレージ、UPnP、NAS)、CD 再生、i-Radio、Tidal、Qobuz などのストリーミングサービス。

-再生できない: デジタル/アナログ入力、Bluetooth(Airplay)入力、FM ラジオ/ DAB +、Roon、SpotifyConnect

18-1. マルチルーム(グループプレイ)対応ファイル形式とサンプルレート

フォーマット	サンプルレート	無線 LAN	有線 LAN	備考
PCM(WAV, FLAC)	44.1kHz(48kHz)	OK	OK	
	88.2kHz(96kHz)			
	176.4kHz(192kHz)			
	352.8kHz(384kHz)			
	768kHz	NO	NO	対応していません
DSD	64	OK	OK	
	128			
	256			
	512	NO	NO	対応していません
MQA	44.1kHz(48kHz)	OK	OK	
	88.2kHz(96kHz)			
	176.4kHz(192kHz)			
	352.8kHz(384kHz)			

18-2. Group Play



Multi-room (Group Play)の設定は
最初にホーム画面から Group Play を選択し起動します。

18-3. デバイス名とホスト名

各ゾーンのデバイスを簡単に識別できるように、任意にデバイス名を付けます。

Group Play のデバイス名は Samba サーバーのホスト名とリンクしています。

デバイス名の変更は設定→ネットワークサービス→Samba サーバー→Host Name(ホストネーム)
からホスト名をわかりやすいように変更します(使用時に Group Play のホスト名として表示されます)

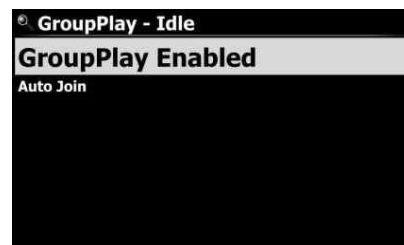
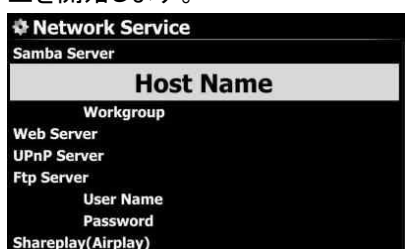
18-4. デバイスごとの基本設定

18-4-1. デバイスをサーバーデバイスとして設定するには

ホーム画面から Group Play を選択し Enabled に切り替えます。

この状態で音楽ファイルを再生すると再生したカクテルオーディオが
サーバーデバイスになります。

また、サーバーデバイス以外のカクテルオーディオはクライアントデバイスとなり Auto Join の場合は自動的に再生を開始します。

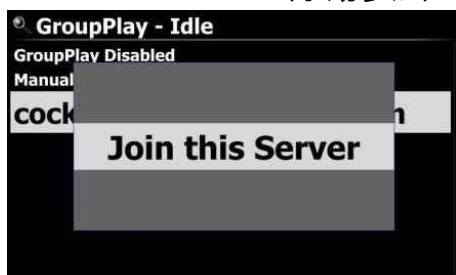


18-4-2 Auto Join (自動参加)



Auto Join または Manual Join を切り替えることができます。
クライアントデバイスが自動参加に設定されている場合、サーバーデバイスが再生を開始すると自動的にグループプレイに接続されます。

18-4-3 Manual Join (手動参加)



クライアントデバイスで「手動参加」を設定するとデバイスを手動で追加する方式に変わります。

クライアントデバイスが手動参加に設定されている場合、サーバーデバイス起動後にクライアントデバイスを手動で追加します。

Group Play に手動で追加するには

- ①再生中のサーバーデバイスを選択します。
- ②「Join this Server」をクリックするとクライアントデバイスとして再生を開始します。

18-4-4. 再生画面

Group Play で曲を再生すると、下図のようにサーバーとクライアントの再生画面が表示されます。



(サーバーデバイス画面)

(クライアントデバイス画面)

18-5. MusicX NEO での設定

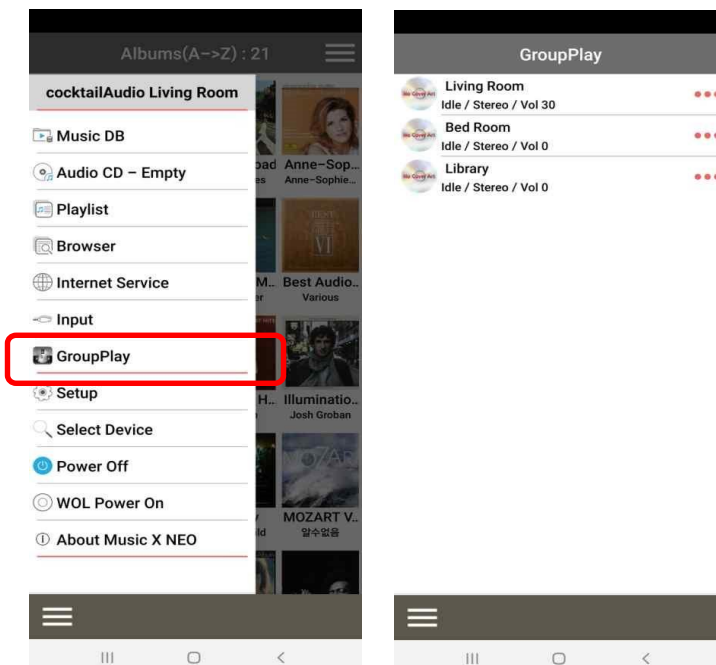
Group Play をより簡単、詳細に使用するために、MusicX NEO を使用することをお勧めします。

18-5-1. Group Play で利用できるデバイスを探すには

MusicX NEO の Group Play を選択すると利用可能なすべてのデバイスを確認できます。

例えば、下画面のようにリビングルーム、ベッドルーム、ライブラリの 3 台のカクテルオーディオにホスト名(デバイス名)を付けて説明します。3 台のカクテルオーディオを以下のように設定します。

- Living Room : 'Group Play Enabled' として設定
- Bed Room : 'Group Play Enabled' そして 'Auto Join' として設定
- Library : 'Group Play Enabled' そして 'Manual Join' として設定



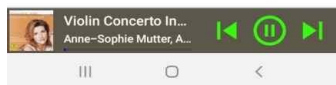
18-5-2. サーバーデバイスとして曲の再生を開始の設定をする

リビングルームのカクテルオーディオ(現在サーバーデバイスとして使用することにする)

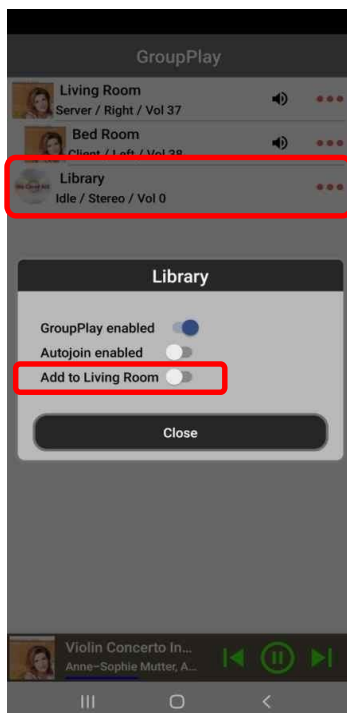
で音楽を再生すると3つのデバイスは次のように機能します。



- Living Room : サーバーデバイスになります。
- Bed Room: このデバイスは「Auto Join」として設定しているため、クライアントデバイスになり、Group Play に自動的に参加し再生を開始します。
- Library : 「Manual Join」として設定されているため、まだ Idle(待機)状態で再生をしません。

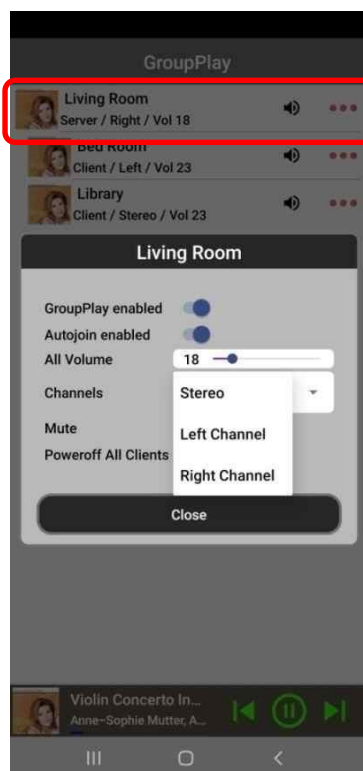


18-5-3. Group Play にクライアントデバイスを手動で追加する



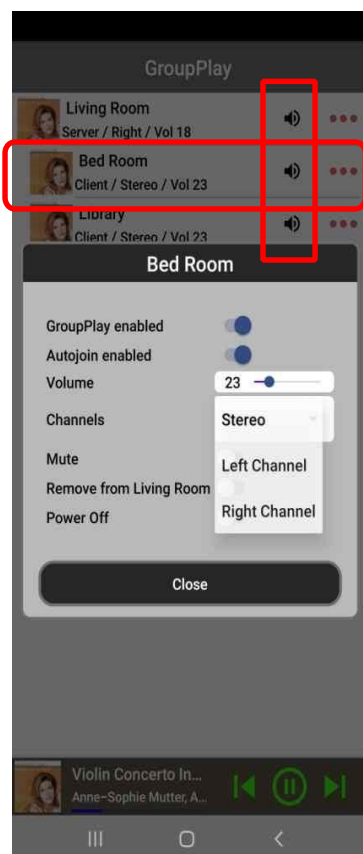
- ① 上記のデバイスリストの画面で、赤く囲った場所をタップします。
すると左図のような設定画面が表示されます。
- ② 'Add to Living Room'(Living Roomに追加)を選択すると
クライアントデバイスとしてGroup Playに参加することができます。

18-5-4. コントロール機能



サーバーデバイス(この場合 Living Room)

- ① 赤く囲った部分をタップするとコントロール機能が表示されます。
- ② サーバーデバイスをタップした場合、クライアントデバイスを含むすべてのデバイスの音量を同時に制御でき、サーバーデバイスのチャンネルをステレオ、左チャンネル、右チャンネルと設定できます。例えば左チャンネルに変更するとステレオのL側のみ同期再生します。



クライアントデバイス(この場合 Bed Room)

- ① 赤く四角囲った部分をタップするとコントロール機能表示されます。
- ② クライアントデバイスをタップした場合はクライアントデバイスの音量を調節でき、ステレオ、左チャンネル、右チャンネルなど、クライアントデバイスのチャンネル設定できます。また、ミュート機能や、クライアントデバイスの電源を切ることもできます。
- ③ 赤く囲ったスピーカーアイコンをタップするとミュートにすることができます。

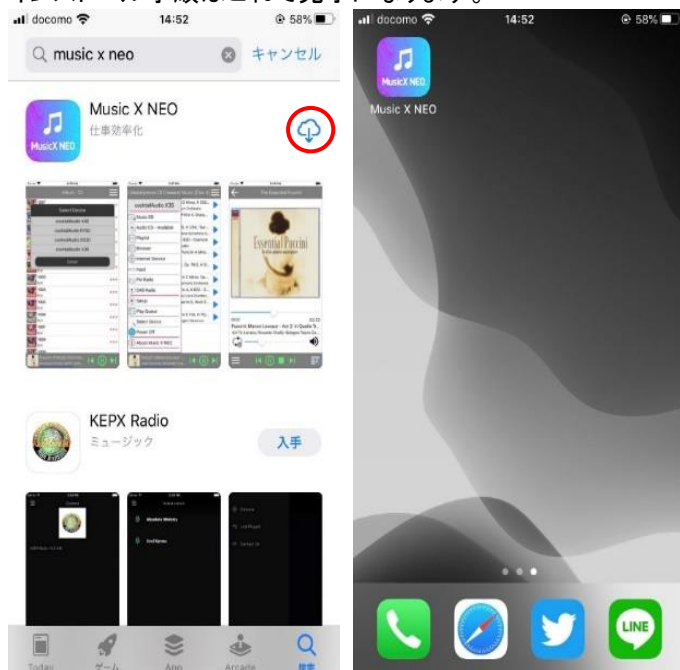
19. MusicX NEO

カクテルオーディオと接続したいスマートフォンが同一ネットワークにつながっていることを確認します。導入したいお手持のスマートフォンを開きApp StoreやGoogle Playを利用しMusic X NEOをインストールします。

下図はApp Storeでの画面です。MusicX NEOと検索欄に入力し検索し右の赤丸部分の雲の画面もしくはダウンロードやインストールをタップしインストールします。

インストールが完了すると下右図ホーム画面にMusic X NEOが現れます。

インストール手順はこれで完了になります。



※ホームページのダウンロードサポート

操作方法については下図を参照しながらカクテルオーディオのダウンロードサポートから MusicX NEO をダウンロードし確認をお願いします。その他リリースノートや Gracenote 購入手順なども掲載しています。

<http://triode.co.jp/brand/coctailaudio/index.html>



[マルチメディアプレーヤー X45 \(2018年3月版\)](#)

[マルチメディアプレーヤー X45Pro \(2018年7月版\)](#)

[デジタルミュージックサーバー&トランスポート X50D \(2018年12月版\)](#)

[デジタルミュージックサーバー&トランスポート X50Pro \(2018年12月版\)](#)

<製品マニュアル>

[Gracenote購入手順](#)

[リモートコントロールアプリMusicX NEO \(Ver.1.0 2020年2月版\)](#)

[リモートコントロールアプリMusicX NEO リリースノート Android用 \(V1.0.13 2020年7月版\)](#)

[リモートコントロールアプリMusicX NEO リリースノート iOS用 \(V1.0.12 2020年4月版\)](#)

[マルチメディアプレーヤーX35 \(Ver.1.4 2019年9月版\)](#)

[マルチメディアプレーヤーX45 \(Ver.1.2 2019年9月版\)](#)

[マルチメディアプレーヤーX45Pro \(Ver.1.1 2019年9月版\)](#)

[デジタルミュージックサーバー&トランスポート X50D \(Ver.1.5 2018年12月版\)](#)

[デジタルミュージックサーバー&トランスポート X50Pro \(Ver.1.0 2018年12月版\)](#)

[マルチメディアプレーヤー CA-X40 \(2016年3月版\)](#)



20. 仕様

型番	X45Pro			Remarks
CPU・メモリー	CPU: Quad Core ARM Cortex A9 running at 1.0GHz			
	Main Memory: DDR-1066 1GByte			
	NAND Flash 8GByte			
CD部	Type	Front Loading		
	対応メディア	CD, CD-DA, CD-R, CD-RW, DVD-R/RW		
表示部	7.0" TFT LCD(1,024 x 600pixels)(* able to connect to ext. screen via HDMI out)			
インターフェース	Key & Jog(Volume/Scroll), IR Remote Control, Customized Remote App for iOS and Android devices, Web Interface			
アナログ出力 (SABRE ES9038PRO DAC)	Balanced (PRE-OUT)	XLR, Dynamic Range: 137dB (Max6.5Vrms, Stereo) THD +N: 0.0003%		
	Unbalanced (PRE-OUT)	RCA, Dynamic Range: 137dB (Max 2Vrms, Stereo) THD+N: 0.0003%		
	Headphone Out	6.35mm Jack, 100mW+100mW@1Khz, 600ohm, 0.00 6% THD		
デジタル出力 (可変/固定)	COAXIAL x 1	S/PDIF 75ohm RCA, Sample rate: up to 24bit/192k Hz		
	TOSLINK x 1	S/PDIF, Sample rate: up to 24bit/192KHz		
	AES/EBU/XRL x 1	110ohm, Sample rate: up to 24bit/192KHz		
	USB Audio x 1	USB Audio Class2.0 Output		
	HDMI Out x 1	HDMI Audio Out(*Shared with HDMI Out for external screen)		
アナログ入力	LINE In x 1	L&R RCA at the rear, default 2Vrms(controllable 1~4Vrms)		
	Aux In x 1	3.5mm Phone Jack on the front, default 1Vrms(controllable 0.5~2Vrms)		
	Phono In x 1	MM Input, default 7.5mVrms(controllable 3.75~15mVrms)		
デジタル入力	COAXIAL x 1	Sample Rate: up to 24bit/192kHz		
	TOSLINK x 1	Sample Rate: up to 24bit/192kHz		
	AES/EBU XLR x 1	Sample Rate: up to 24bit/192kHz		
USB音声入力 (USB DAC)	USB B type connector, USB Audio Class 2.0 input (support up to PCM 768kHz/32Bit, DSD Native 512, and MQA file)			
対応ストレージ	Hard Disk	2.5" SATA, up to 2TB	* Bigger capacity of storage will be supported by firmware update when available in the market	
		3.5" SATA, up to 8 TB		
	SSD	2.5" SATA, up to 2TB		
チューナー	FM Radio/ DAB+	Selectable for FM Radio or DAB/DAB+		
その他の接続	USB Host	USB3.0(5V/1A) x 2 at rear USB2.0(5V/1A) x 1 at front		
	Network	Wired, Giga Fast Ethernet(10/100/1000Mbs)		

	HDMI Out	Connect to external screen(* Shared with HDMI Audio Out)	
対応コーデック/ フォーマット	MQA, PCM 768KHz/64Bit, DSD(DSD64,DSD128,DSD256, *DSD512), DXD(24Bit/352.8KHz),HD WAV(24Bit/192kHz), HD FLAC(24Bit/192kHz), APE/CUE, WAV, FLAC, ALAC, AIFF, AIF, AAC, M4A, MP3, WMA, CAF, Ogg Vorbis, PCM, M3U, PLS, etc (*Note:DSD512 is supported by Analog Out only)		
ネットワークプロ トコル	UPnP(DLNA) Server/Client/Media Renderer, Samba Server/Client, FTP Server, Web Server, etc		
インターネットサ ービス	Internet Radio	Airable	
	Online Music Services	TIDAL, TIDAL MQA, Deezer, Qobuz, Napster Spotify Connect (Note: Amazon Music will be Available via firmware update)	
サポート言語	English, German, French, Spanish, Italian, Polish, Dutch, Russian, Traditional Chinese, Korean,(To be added by request)		
12V トリガー 出力	Max 200mA, 12V		
電源、消費電力	AC100V , 50 /60Hz , 25W		
外形寸法	440mm(W) x 329mm(D) x 130mm(H)		
質量	13.2kg		

※ 仕様は予告なく変更することがあります。

21.トラブルシューティング

1. 電源が入らない

- 1-1. 電源ケーブルが接続されていることを確認してください。
- 1-2. 本体背面パネルの主電源スイッチ(緑色か青色に光ります)が入っていることを確認してください。

2. リモコンに反応しない

- 2-1. リモコンの電池を確認してください。
- 2-2. 他のリモコン、赤外線機器からの干渉がないか確認してください。
- 2-3. リモコンと本体の距離を近づけてください。

3. PC上のネットワーク共有フォルダに表示されない

- 3-1. 本体とPC間のネットワーク接続環境を確認してください。
 - 3-2. ネットワーク環境によって、ネットワークに接続する際に時間遅延がある場合があります。。
 - 3-3. 再起動し、再度ネットワークの設定を構成し直してください。
- ※P29 4-5ネットワークサービスを参照してください。

4. ファイル再生してもスピーカーから音が出ない

- 4-1. MUTEがONになっていないか確認してください。
- 4-2. それぞれの機器の接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 4-3. 音量ボリュームの位置を確認してください。
- 4-4. SETUP(設定)→オーディオからアナログ(デジタル)出力ボリュームを確認してください。
- 4-5. 内部から焦げたような異臭がした場合、直ちに電源を切り販売店または弊社にご連絡ください。

5. ディスクを読み取ることができない

- 5-1. ディスクに傷や汚れがないか確認してください。
- 5-2. **オートリッピングがONになっている場合タグ情報を読み込まないと自動で排出します。**

6. ディスクが音飛びする

- 6-1. ディスクに傷や汚れがないか確認してください。
- 6-2. 水平で、振動の影響を受けない安定した場所に設置されていることを確認してください。

7. 操作方法についてよくある質問

- 7-1. Q. MusicDBをソート順にしたい→A. リモコンからSortボタンを押すたびにA→Z、Z→Aと変わります。
- 7-2. Q. Amazon Musicにログインできない
A. Amazonでログインする必要があるため1度MusicX NEOから ログインする必要があります。
- 7-3. Q. 無線接続できない
A. 無線LANは内蔵していません。USBタイプの無線LAN(推奨:IO data WN-G300UA) 使用し設定→ネットワークから設定します。
- 7-4. Q. HDD SSD USBが認識しない、読み込みづらい
A. 設定→システム→ストレージからストレージのフォーマット(NTFS)をしてください
※記録しているデータがすべて消去されてしまうので注意してください。

8. その他質問

公式ホームページ(<http://triode.co.jp/question>)のよくある質問にもその他質問が掲載されています。